

令和 8 年度 国語 2 年 I 課程 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
140		2年 2名	
年間目標		(知及技) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 (思判表力) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 (学・人) 言葉が持つ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	
学期	時数	題材名	
一学期	50	見えないだけ	
		1 広がる学びへ	アイスプラネット
		魅力的な提案をしよう	
		枕草子	
		文法 1 自立語	
		2 多様な視点から	クマゼミの増加の原因を探る
		情報整理のレッスン 試行の視覚化	
		情報を整理して伝えよう	
		熟語の構成	
		3 言葉と向き合う	短歌に親しむ
		言葉 1 類義語・対義語・多義語	
		いつも本はそばに 読書を楽しむ / 季節のしおり 夏	
二学期	58	4 人間のきずな	ヒューマノイド
		字のない葉書	
		聞き上手になろう / 質問で思いや考えを引き出す	
		言葉 2・漢字 2 敬語 同じ訓、音をもつ漢字	
		5 論理を捉えて	モアイは語るー地球の未来
		適切な根拠を選んで書こう	
		聴きひたる 大阿蘇 / 季節のしおり 秋	
		6 いにしえの心を訪ねる	音読を楽しむ 平家物語
		扇の的ー「平家物語」から	
		仁和寺にある法師ー「徒然草」から	
		漢詩の風景	
		7 価値を語る	君は「最後の晚餐」をしっているか
		立場を尊重して話し合おう / 季節のしおり 冬	
		いつも本はそばに 「自分らしさ」を認め合う社会へ / 本の世界を広げよう	

三 学 期	3 2	8表現を見つめる	走れメロス
			付属語、話し言葉と書き言葉
			送り仮名
			国語の学びを振り返ろう
			鍵

単位数 ／配当時数		生徒		担当者	
105		2年Ⅰ課程 2名			
年間目標		(知及技) 我が国の歴史と文化を理解するとともに、諸史料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身につける。 (思判表力) 社会的事象の意味や意義を多面的に考察し、思考したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (学・人) よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元名	学習内容	単元の評価規準	
1 学期	39	【歴史分野】 第4章 近世の日本と世界	1 節 結びつく世界との出会い 2 節 天下統一への歩み 3 節 幕藩体制の確立と鎖国	(知・技) ヨーロッパ人来航の背景とその影響などを基に、江戸幕府の成立や幕藩体制の確立を諸資料から歴史に関する様々な情報について調べまとめ、理解している。 (思・判・表) 交易の広がりとその影響などに着目して、世界の交易の空間的な広がりが生み出され、それを背景として日本とヨーロッパ諸国の接触がおこったことや、日本の政治や文化に与えた影響などについて多面的に考察し、表現している。 (主・学) 世界の動きと関連付けながら、中世から近世への過渡期にある日本について、そこで見られる課題を主体的に捉えようとしている。	
		第5章 日本の近代化と国際社会	1 節 近代世界の確立とアジア 2 節 開国と幕府政治の終わり 3 節 明治維新と立憲国家への歩み	(知・技) 16～17世紀の西欧の絶対王政、市民革命や産業革命と資本主義の成立などの背景とその影響などを基に、諸資料から調べまとめ、理解している。 (思・判・表) 開国が政治や人びとの生活に与えた影響について多面的に考察し、表現している。 (主・学) 欧米諸国のアジア進出が江戸幕府の成立と滅亡、さらに明治政府の成立をもたらしたことについて、主体的に追求しようとしている。	
2 学期	45	第6章 二度の世界大戦と日本	1 節 第一次世界大戦と民族独立の動き 2 節 大正デモクラシー 3 節 恐慌から戦争へ 4 節 第二次世界大戦と日本の敗戦	(知・技) 第一次世界大戦をもたらした植民地政策、勢力圏をめぐる列強諸国の対立や民族問題を背景として起こったことを理解している。 (思・判・表) 世界の動きと我が国との関連などに着目して、第一次世界大戦による世界と我が国の社会の変化や影響について多面的に考察し、表現している。 (主・学) 第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動きについて、そこでみられる課題を主体的に追求しようとしている。	
		【地理的分野】 第3編 日本のさまざまな地域	第1章 地域調査の方法 第2章 日本の特色と地域区分	(知・技) 観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解している。 (思・判・表) 地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現しようとしている。 (主・学) 地域調査の手法について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求しようとしている。	
3 学期	21	第3章 日本の諸地域	第3章 日本の諸地域 1 九州地方 2 中国・四国地方 3 近畿地方 4 中部地方 5 関東地方	(知・技) いくつかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 (思・判・表) 日本の諸地域において、それぞれの考察の仕方の中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結びつき、人びとの対応などに着目して、その課題を多面的に考察し、表現しようとしている。 (主・学) 日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求しようとしている。	
		第4章 地域のあり方	6 東北地方 7 北海道地方 8 地域の課題を調べる	(知・技) いくつかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 (思・判・表) 日本の諸地域において、それぞれの考察の仕方の中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結びつき、人びとの対応などに着目して、その課題を多面的に考察し、表現しようとしている。 (主・学) 日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求しようとしている。	
留意点		【留意点】 ・弱視児の生徒の見え方へ配慮する。プリント作成時の見やすさ、読みやすさなど。教科書の読みについての配慮。付箋紙などの活用により、自主学習がスムーズにいくように促す。 ・地域の公共施設や商業施設の利用、首里城見学などの校外学習を実施しながら学習を深める。 ・税金に関する講座等に参加する。 ・年間を通して、時事ニュースを話題にあげ、社会の動向に視野を向けられるような教材を準備する。			

令和8年度 数学科 I 課程 年間指導計画

配当時数	生徒について		担当者	
105	2年Ⅰ課程 2名			
年間目標	(知識及び技能)数量や図形などの基本的な概念の定着を図り、実生活で活用できる力を身につける。 (思考力、判断力、表現力等)具体的な事象を調べたり、観察、操作などの体験的な活動を通して、論理的に考察し表現する力を養う。 (学びに向かう力・人間性等)問題解決に必要な事柄を収集し、考えたり判断したりしようとする態度や習慣を身につける。			
学期	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
Ⅰ学期 30時間	(知及技)単項式や多項式などの意味や、数量の関係を文字を用いた式で一般的に説明することの必要性和意味を理解し、知識を身に付けている。 (思判表力)文字を用いた式についての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象を数学的な推論の方法を用いて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。 (学・人)様々な事象を文字を用いた式で捉えたり、それらの性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考え表現することに関心をもち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとしている。	(知・技)単項式と多項式の乗法及び単項式でわる除法の計算ができる。 (思・判・表)単項式と多項式の乗法及び単項式でわる除法の計算の方法を、数の計算や既習の文字式の計算と関連付けて考えることができる。 (主学)単項式と多項式の乗法及び単項式でわる除法に関心をもち、それらの計算をしようとしている。	1章 式の計算 ①文字式のしくみ ②式の利用	文字式について、単項式・多項式および式の次数の意味を理解することができる。 数量や数量の関係を文字式を用いて表すことができる。
	(知及技)連立2元1次方程式の必要性和意味及びその解の意味などを理解し、知識を身に付けている。 (思判表力)連立2元1次方程式を解いたり、数量の関係を連立2元1次方程式で表したりするなど、技能を身に付けている。 (学・人)様々な事象を連立2元1次方程式で捉えたり、それらの性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考え表現することに関心をもち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとしている。	(知・技)連立方程式の解を求めることができる。 (思・判・表)変数について求めるなど、解を求める方法を考えることができる。 (主学)2つの変数に関心をもち、その必要性和意味及びその解の意味などを理解し、知識を身に付けている。	2章 連立方程式 ①連立方程式とその解 ②連立方程式の利用	2元1次方程式とその解の意味を理解することができる。 連立方程式を利用して問題を解く手

	もち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとしている。	意味、方程式を使った表し方などを考えようとしている。		順を理解することができる。
2 学 期 45 時 間	(知及技)事象の中には 1 次関数として捉えられるものがあることや、1 次関数の表、式、グラフの関連などを理解し、知識を身に付けている。 (思判表力)1 次関数についての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象を数学的な推論の方法を用いて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。 (学・人)様々な事象を 1 次関数として捉えたり、表、式、グラフなどで表したりするなど、数学的に考え表現することに関心をもち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとしている。	(知・技)関数 $y=ax+b$ の関係を式で表すことができる。 (思・判・表)具体的な事象の中にある 2 つの数量の関係を、変化や対応の様子に着目して調べ、関数 $y=ax+b$ として捉えられる 2 つの数量を見いだすことができる。 (主学)関数 $y=ax+b$ に関心をもち、具体的な事象の中から関数 $y= ax+b$ として捉えられる 2 つの数量を見いだしたり、その関係を式で表したりしようとしている。	3章 1次関数 ①1次関数 ②方程式と1次関数 ③1次関数の利用	具体的な事象の考察をとおして1次関数の意味を理解することができる。 2元1次方程式と1次関数の関係を予想することができる。
	(知及技)平行線の性質、三角形の角についての性質、三角形の合同条件、図形の証明の必要性和意味及びその方法などを理解し、知識を身に付けている。 (思判表力)平行線の性質、三角形の角についての性質、三角形の合同条件などについての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象を数学的な推論の方法を用いて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。 (学・人)様々な事象を平行線の性質、三角形の角についての性質、三角形の合同条件などで捉えたり、平面図形の基本的な性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に	(知・技)平行線と交わる直線、合同な 2 つの図形の辺や角の関係を記号を用いて表したり、その意味を読み取ったりすることができる。 (思・判・表)平行線と交わる直線との関係や合同な図形の性質を見いだすことができる。 (主学)平行線の特徴や合同な図形の性質に関心をもち、それらについて調べたり、それらを用いて考えたりしようと	4章 図形の性質の調べ方 ①平行線と多角形 ②図形の合同	平行線と合同な図形の性質を理解することができる。 合同な図形の性質を理解することができる。

	考え表現することに関心をもち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとしている。 (知及技)二等辺三角形の性質、平行四辺形の性質や平行四辺形になるための条件、直角三角形の合同条件、四角形の包摂関係などを理解し、知識を身に付けている。 (思判表力)平行線の性質、三角形の合同条件、三角形や四角形の性質などについての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象を数学的な推論の方法を用いて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。 (学・人)様々な事象を、平行線の性質、三角形の合同条件、三角形や四角形の性質などで捉えたり、平面図形の基本的な性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考え表現することに関心をもち、意欲的に数学の問題に活用して考えたり判断したりしようとしている。	している。 (知・技)二等辺三角形や直角三角形、四角形では平行四辺形の種類など、特別な四角形に対する性質などを理解し、その意味を読み取ったりすることができる。 (思・判・表)三角形と四角形の関係や等積変形の特徴等、三角形や四角形の性質を見いだすことができる。 (主学)三角形や四角形に関心をもち、それらの関係や性質を見いだしたり、その証明にどのような図形の性質が用いられているのかを考えたりしようとしている。	5章 三角形・四角形 ①三角形 ②四角形 ③平行線と面積	定義の必要性和意味を理解することができる。 平行線の性質や三角形の合同条件を用いて平行四辺形の性質を説明することができる。 四角形に対角線をひき、面積が等しい三角形を見つけることができる。
3 学 期 30 時 間	(知及技)確率の必要性和意味を理解し、知識を身に付けている。 (思判表力)確率などについての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象を数学的な推論の方法を用いて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。 (学・人)不確定な事象について、その起こる程度を調べ、確率を用いて不確定な事象を捉え説明したりするなど、数学的に考え表現することに関心をもち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考え判断したりしようとしている。	(知・技)確率を求めるために、数え上げたり、計算で総数を求め、確率を求めることができる。 (思・判・表)具体的な事象を基にして確率の必要性和意味について考え、説明することができる。 (主学)確率に関心をもち、その必要性和意味を考えようとしている。	6章 確率 ①確率	不確定な事象についての多数回の実験結果を基にして、確率の意味を理解することができる。

令和 8 年度 理科 I 課程 A 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
140		2年 2名	
年間目標		(知及技) 自然の事物現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (学・人) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	
学期	時数	題材名	
1学期	50	単元1 化学変化と原子・分子	
		物質の成り立ち	
		物質どうしの化学変化	
		酸素がかかわる化学変化	
		化学変化と物質の質量	
		単元2 生物のからだのつくりとはたらき	
2学期	58	生物と細胞	
		植物のからだのつくりとはたらき	
		動物のからだのつくりとはたらき	
		刺激と反応	
		単元3 天気とその変化	
		気象の観測	
3学期	32	雲のできかたと前線	
		大気の動きと日本の天気 ※ 校外学習 ほしぞら公民館	
		単元4 電気の世界	
		静電気と電流	
		電流の性質	
		電流と磁界	

令和 8 年度 英語 I 課程 A 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
122.5		2 年 2 名 (I 課程 A 2 名)	
年間目標	(知及技) 初歩的な英語を用いて、「聞くこと、話すこと (やり取り・発表)、読むこと、書くこと」ができるようにする。 (思判表力) 生徒の能力を考慮した学習内容・進度を設定し、個に応じた指導を行う。 (学・人) 外国語の文化の理解を深め、生徒が主体的に英語でコミュニケーションを図る態度を養う。		
学期	時数	題材名	
I 学期	39	Review Lesson Ms. King's Trip with Her Friend	
		Lesson 1 Assistance Dogs	
		Activities Plus 1	
		Tips for Speaking ①	
		Tips for Reading ①	
		Lesson 2 Energy Sources for Our Future	
		Tips for Listening ①	
		Lesson 3 Design Makes Change	
		Activities Plus 2	
		Tips for Writing ①	
		Project 1 Ideas for Change	
		Useful Expressions ①	
		Reading 1 Six Amazing Things about Penguins	
2 学期	52	Lesson 4 Workplace Experience	
		Tips for Speaking ②	
		Lesson 5 How to Celebrate Halloween	
		Activities Plus 3	
		Tips for Reading ②	
		Tips for Speaking ③	
		Lesson 6 Castles and Canyons	
		対で覚えたい形容詞	

令和 8 年度 英語 I 課程 A 年間指導計画

		Tips for Writing ②
		Tips for Speaking ④
		Lesson 7 The Gift of Giving
		Activities Plus 4
		Tips for Listening ②
		Project 2 My Dream Travel
		Reading 2 The Gift of Tezuka Osamu
		Useful Expressions ②
3 学 期	31.5	Lesson 8 Rakugo in English
		Tips for Reading ③
		Lesson 9 Gestures and Sign Language
		Activities Plus 5
		Tips for Writing ③
		Project 3 Let's Introduce Japanese Culture
		Reading 3 How William Hoy Changed Baseball
		Further Reading Somebody Loves You, Mr. Hatch

令和 8 年度 音楽Ⅰ課程 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
3 5		2 年 2 名	
年間目標		(知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (学・人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。	
学期	時数	題材名	
Ⅰ学期	1 5	オリエンテーション(Ⅰ)	
		歌唱：・作者の思いを歌声にのせて合唱しよう【生命が羽ばたくとき】 ・曲の特徴を生かして歌おう 【You Can Fly!】	
		器楽：沖特音研において演奏する曲と楽器を選ぼう【生徒選曲】	
		創作：・旋律に合うリズムパターンをつくろう【リズムパターンをつくろう】	
		鑑賞：・曲の形式を捉え、パイプオルガンによる表現を鑑賞しよう 【小フーガ ト短調】 ・曲の構成を聴き取り、オーケストラによる表現を鑑賞しよう 【交響曲第 5 番 ハ短調】	
2 学期	1 5	歌唱：・曲の形式を生かして歌おう【浜辺の歌、早春賦、花の街】 ・パートの役割を生かして合わせて歌おう【翼をください】	
		器楽：箏の基本的な奏法を身に付けて表現を工夫しよう→箏【荒城の月】 ・沖特音研本番に向けて練習しよう【生徒選曲】 ・ミュージックコンサートに向けて練習しよう【生徒選曲】 ・沖特音研発表会の打ち上げを計画して実施しよう！ →本番に向けて功をねぎらい音研について振り返る	
		創作：・五つの音とリズムを組み合わせて旋律をつくろう 【平調子の特徴を生かして音楽をつくろう】	
		鑑賞：・曲の特徴と構成のおもしろさを味わいながら鑑賞しよう 【ボレロ、組曲「惑星」から「火星」】 ・雅楽の多様な表現を鑑賞しよう【雅楽「越天楽」】	
		表現・鑑賞：他校の演奏を鑑賞し、表現の工夫や音楽の魅力について考える。 【開邦高校音楽交流】	
3 学期	5	歌唱：・曲想を味わいながら合わせて歌おう 【「そよぐ風の中で」「この星のどこかで」「卒業式にむけて」】	
		鑑賞：・能の多様な表現を鑑賞しよう【能「敦盛」キリから】 ・郷土のさまざまな芸能を味わいながら鑑賞しよう 【「郷土の音楽や芸能」】	
		器楽：・サミングや息のコントロールを身に付けて表現を工夫しよう ▶リコーダー【「レヴェル・プレイン」「カノン 2 優しき流れ」】	

令和 8 年度 I 課程 年間指導計画

教科名		学年・課程	年間総時数	担当者
美術		2年 I 課程	35時間	
年間目標		(知及技) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を 創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (思判表力) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方 や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (学・人) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊か にし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。		
学期	月	時数	単元名	
一学期 ⑪	4	1	オリエンテーション 美術とは何だったかの確認	
	5 6 7	6	土をつくる	
		4	土器作り	
二学期 ⑮	9 10 11 12	4	デジタル世界での造形活動 基礎	
		11	デジタル世界での造形活動	
三学期 ⑨	1 2 3	3	筒を使った立体造形	
		6	卒業式壁画	

令和 8 年度 保健体育年間指導計画（体育分野）

中学部 2 年 I 課程 作成者：

総授業時数 70 時間

年間目標		・運動の実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにため、体力の必要性を理解すると共に、基本的な技能を身につけるようにする。（知識・技能） ・運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断したりするとともに、自己の考えたことを他者に伝える力を養う。（思考・判断・表現力等） ・公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、他害の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くす態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）				
月	単元名 及び 学習内容	時 数	指導目標	評価の観点		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
通 年	体づくり運動 ・ラジオ体操、 ストレッチ 体操等 ・体ほぐしの運動 ・体の動きを高める運動 ・クロックポジション ・ボディイメージ	7	・ねらいに応じた運動を組み合わせ体ほぐしに取り組む。（知・技） ・仲間と積極的に関わり、互いの意見を尊重しながら合理的な運動の実践ができる。（思・判・表） ・課題解決に向けて、仲間と協力できる。（学・人）	・体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解している。	・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・体づくり運動の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・仲間の補助をしたり助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。
4	器械運動 ・マット運動	6	・前後転系の基本の動きを身につける。（知・技） ・自己の課題を発見したり、他者の課題について考えたりして課題の解決に取り組む。（思・判・表） ・個々の能力に応じた回転系、巧技系の技に挑戦できる。（学・人）	・マット運動では、回転系の基本的な技の名称を覚えることができる。回転系、巧技系の基本的な技ができる。	・技の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	・器械運動に積極的に取り組むとともに、よい演技を認めようとする、仲間の学習を援助しようとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めている。健康・安全に気を配っている。
5	陸上①	6	・ストライドやピッチ、	・陸上競技の特性	・動きなどの自	・陸上競技に積

6	・短距離走 ・長距離走 ・ボール投げ		腕ふりを意識して活動できる。(知・技) ・自己の記録や課題を意識し、練習方法を工夫することができる。 (思・判・表) ・自己の体力を知り、意欲的に練習に取り組むことができる。(学・人) ・違いを認め、仲間と協力し、課題解決に取り組むことができる。 (学・人)	や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ・長距離走では、ペースを守って走ることができる。	己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。健康・安全に気を配っている。
7	水泳 ・バタ足 ・ドル平 ・クロール ・平泳ぎ	1 4	・水の特性を理解する。 (知・技) ・4泳法の名称と技術を知る。(知・技) ・息継ぎの技術を身につける。(知・技) ・自己の課題に応じた、練習方法を選択して、意欲的に練習する。(思・判・表)(学・人) ・健康、安全に気をつけ、水泳の心得を守る。 (学・人)	・水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 平泳ぎ ・蹴り終わりで長く伸びるキックをすることができる。 ・肩より前で、両手で逆ハート型を描くように水をかくことができる。 ・プルのかき終わりに合わせて顔を水面上に出して息を吸うことができる。	・提供された練習方法から、自己の課題に応じて、泳法の習得に適した練習方法を選んでいる。 ・仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。	・水泳の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・用具等の準備や後片付けなどの分担した役割を果たそうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。 ・水の安全に関する事故防止の心得を遵守するなど、健康・安全に留意している。
9 10	武道 ・空手	1 0	・伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解することができる。(知・技) ・クロックポジションを意識して自己の体を操作する。(知・技)	・空手の歴史や特性や伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。	・空手道を実践するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間	・空手道に自主的に取り組むとともに相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。 ・一人一人の違い

11			。自己の課題を発見し練習を工夫する。 (思・判・表) ・仲間との話し合いを通じて、課題を見つけ、解決する。(思・判・表) ・一人一人の違いを認め、意欲的に活動する。 (学・人)		の考えたことを他者に伝えている。	いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 健康・安全に気を配っている。
12	陸上② ・直線走 ・円周走 ・走り幅跳び	1 1	・自己の歩、走の動きのくせを知る。(知・技) ・体重移動や踏切の技術を身につける。(知・技) ・健康やけが防止のための、準備運動や補助運動について、考え、主体的に活動する。(思・判・表) ・勝敗を受け止め、ルールやマナーを守る。 (学・人)	・音源を聞いてまっすぐ走ることができている。 ・ロープの張りを感じ、全力で走ることができている。 ・スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶことができている。	・選択した運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいく。 ・健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。	・勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。 ・仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たそうとしている。 ・健康・安全を確保している。
1 2 3	球技 ・フロアバレーボール ・STT ・バスケットボール	1 6	・役割に応じたボールの操作や連携した動きができる。(知・技) ・チームや自己の課題を発見し、仲間と工夫して練習に取り組むことができる。(思・判・表) ・フェアプレイを大切にして自主的に練習に取り組むことができる。 (学・人) ・仲間と課題や練習法について考えることができる。(学・人)	・ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができている。 ・連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くことができている。	・自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 ・チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返っている。	・球技の学習に自主的に取り組もうとしている。 ・互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。 ・健康・安全を確保している。

令和8年度 保健 年間指導計画

配当時数	生徒について	担当者	教科書／副教材
17.5	2年Ⅰ課程 2名		学研

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけるようにする。 (思判表力)健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (学・人)・生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	3.5	(知及技)生活習慣病を引き起こす要因と予防の仕方について理解することができる。 (思判表力)生活習慣病やがんの予防の観点から、自分の生活を振り返ることができる。 (学人)生活習慣病とその予防についての学習に自主的に取り組むことができる。	(知・技)生活習慣病とは、不適切な生活習慣がその発症や進行に関係する病気であることを理解している。 (思・判・表)早いうちから生活習慣を見直し、生活習慣病の予防や改善に取り組むことが大切であることを理解している。 (主学)生活習慣の改善などの実践への意欲を持っている。	健康な生活と病気の予防	・生活習慣病とその予防 ・がんとその予防
	4	(知及技)喫煙・飲酒・薬物乱用を始めるきっかけと防止対策について理解することができる。 (知及技)薬物乱用の心身への害と社会への悪影響について理解する。 (思判表力)(学人)喫煙・飲酒・薬物乱用防止についてまとめたり他者に伝えたりすることができる。 (思判表力)(学人)喫煙・飲酒・薬物乱用防止についてまとめたり他者に伝えたりすることができる。(学人)喫煙や飲酒の害、20歳未満の喫煙・飲酒の害についてまとめたり他者に伝えたりすることができる。	(知・技)喫煙・飲酒の急性影響・慢性影響、20歳未満の喫煙・飲酒の害、周りの人への悪影響について理解している。 (思・判・表)(主学)喫煙・飲酒・薬物乱用の防止には、対処能力や社会的環境への対策が重要であることを理解している。 (思・判・表)(主学)誘われたときにどうするかなど、喫煙・飲酒・薬物乱用の防止に向けた意識を高めているとともに、断り方を理由を挙げて具体的に考えているとともに、それらを表現している。	健康な生活と病気の予防	・薬物乱用と健康 ・喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ
1・2学期	4	(知及技)傷害は、どんなことが原因で起こり、どうすれば防止できるかについて理解することができる。 (思判表力)(学人)具体的な場面で、どんな危険が潜んでいるか考えることができる。 (知及技)中学生の交通事故の特徴と交通事故の原因について理解することができる。 (思判表力)(学人)交通事故の発生要因を事例を通して考える。	(知・技)傷害は、人的要因、環境要因及びそれらの相互の関わりによって発生することを理解している。 (思・判・表)中学生の傷害の現状を知り、その原因と防止の学習に取り組もうとしている。 (思・判・表)交通事故の原因には人的要因、環境要因、車両要因があることを理解するとともに、事例を基に事故の発生要因について考えたり話し合ったりしている。 (主学)中学生の交通事故の特徴について関心を持っている。	傷害の防止	・傷害の原因と防止 ・交通事故の現状と原因
	2	(知及技)交通事故などによる傷害を防止するためには、人的要因や環境要因に関わる危険を予測し、それぞれの要因に対して適切な対策を行うことができる。 (思判表力)人的要因に対しては、心身の状態や周囲の状況を把握し、判断して、安全に行動すること、環境要因に対しては、環境を安全にするための整備、改善をすることがあることなどについて理解できる。 (学・人)傷害の防止の学習に自主的に取り組むことができる。	(知・技)交通事故による傷害を防止するには、車両の特性を知り、交通法規を守り、心身の状態を把握し、車両、道路、気象条件などの周囲の状況に応じて、安全に行動することが必要であることを理解している。 (思・判・表)交通事故の発生要因とその防止について、危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。 (主学)応急手当の意義や目的、手順についての学習に自主的に取り組もうとしている。	傷害の防止	・交通事故の防止

2 学 期	4	(知及技) 犯罪被害の要因は、人的要因や環境要因などが関わり合っており、人的要因に対しては、危険を予測し、判断して、犯罪を避ける行動をとること、環境要因に対しては、周囲の人の関心を高めることなどの対策があることについて理解することができる。 (思判表力) 犯罪被害とその防止について、危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現することができる。 (学・人) 犯罪被害の防止についての学習に自主的に取り組むことができる。	(知・技) 犯罪被害の要因は、人的要因や環境要因などが関わり合っており、人的要因に対しては、危険を予測し、判断して、犯罪を避ける行動をとること、環境要因に対しては、周囲の人の関心を高めることなどの対策があることについて理解している。 (思・判・表) 犯罪被害とその防止について、危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。 (思・判・表) 犯罪被害とその防止について、危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。 (主学) 犯罪被害の防止についての学習に自主的に取り組もうとしている。	傷害の防止	・犯罪被害の防止 ・応急手当の意義と基本
留意点 引継ぎ等					

令和 8 年度 技術・家庭(技術分野) I 課程 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
35		2年 2名	
年間目標	(知及技)生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術について基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけ、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。 (思判表力)生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、試作等を通して具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。 (学・人)よりよい社会の実現や持続可能な社会の構築に向けて適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。		
学期	時数	題材名	
2 学期	11	生物を育てる技術について知ろう	
		植物を育てる技術について知ろう	
		動物を育てる技術について知ろう	
		水産生物を育てる技術を知ろう	
		生物の育成計画を立てよう	
		植物や環境を観察して育成しよう	
		生物育成に関する技術を未来に生かそう	
3 学期	24	エネルギー変換について知ろう	
		電気を作る仕組みを知ろう	
		電気を供給する仕組みを知ろう	
		電気回路について知ろう	
		電気機器を安全に使用しよう	
		機械の運動を伝える仕組みを知ろう	
		回転運動を伝える仕組みを知ろう	
		往復運動の仕組みを調べよう	
		機械の保守点検をしよう	
		エネルギー変換に関する技術を未来に生かそう	

令和8年度 技術・家庭（家庭分野） I 課程 年間指導計画

配當時数		生徒について	担当者
35		2年 2名	
年間目標	（知及技）家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 （思判表力）家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。 （学・人）自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。		
学期	時数	題材名	
1学期	24	どうして衣服を着るのだろう	
		衣服は何でできているのだろう	
		衣服の手入れ	
		洗濯の準備	
		洗濯機で洗濯してみよう	
		補修や収納・保管	
		新たに衣服が必要になったとき	
		既制服の選び方	
		自分らしい着方	
		和服の文化に触れてみよう	
		被服実習（巾着作り）	
2学期	11	人間にとっての住まい	
		生活に必要な住空間	
		自然とともにある住生活	
		安全で健康的な住生活	
		持続可能な住生活	

令和8年度 道徳 I 課程 年間指導計画

単位数1/35

教科書:中学道徳 とびだそう未来へ

配当時数		生徒について			担当者
35		2年Ⅰ課程 2名			
年間目標	・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己をみつめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 ・障害による学習上または生活上の困難を認識するとともに、それを改善・克服して、強く生きようとする意欲を高め、明るい生活態度を養い、健全な人生観を培う。				
月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当時数	ねらい	評価のポイント	他教科・特別活動などの関連
4月	1 まるごと好きです 「人との上手なつき合い方」 【B 相互理解, 寛容】	1	「まるごと好きになる」手法について考えることを通して、人との上手なつき合い方を身につけようとする実践的態度を育てる。	【生徒の評価】 「人とのつき合い方」について自分なりに考えているか、話し合いを通して考えを多面的・多角的に広げているか。 【授業の評価】 「人と上手につき合う方法」についての話し合い活動を通して、自分ごととして、これからとるべき態度について考えを深めさせることができたか。	学級活動
	③ 2 先輩 「自律的な行動」 【A 自主, 自律, 自由と責任】	1	「自律的な行動とはどういうものか」について考えることを通して、しっかりと学校生活を送ろうとする態度を育てる。	【生徒の評価】 「自律的な行動」について自分なりに考えているか、他の人の意見を聞いて、考えを多面的・多角的に広げているか。 【授業の評価】 「自律的な行動」について多面的・多角的に考えさせ、しっかりと学校生活を送ろうとする態度を育てられたか。	部活動
5月	3 留學で考えさせられたお金 「自制心をもつ」 【A 節度, 節制】	1	お金の意義や価値について考えるとともに、望ましい生活習慣を身につけ、節度を守り節制に心がけようとする心情を育てる。	【生徒の評価】 お金とは何か、お金はなぜ必要なかと、お金の価値について考えを深めているか。 【授業の評価】 「活きたお金の使い方」についての話し合い活動を通して考えを深め、無駄づかいをせずに過ごそうとする心情を育てることができたか。	技術・家庭（家庭分野） 社会（公民的分野）
	③ 4 まだ食べられるのに 「持続可能な社会の実現」 【C 社会参画, 公共の精神】	1	まだ食べられる食品が大量に廃棄されている現状について話し合うことを通して、「食」という身近なところからよりよい社会づくりに関わっていこうとする態度を育てる。	【生徒の評価】 身近な「食」という視点から持続可能な社会づくりに関わっていくにはどうしたらよいか、自分なりに考えているか。 【授業の評価】 食品ロスの現状についての話し合い活動を通して、持続可能な社会づくりのために自分にできることについて考えさせることができたか。	技術・家庭（家庭分野） 社会（公民的分野）
5月 ③	5 短所を武器とせよ 「自信をもって前向きに」 【A 希望と勇気, 克己と強い意志】	1	短所の見方・考え方について話し合うことを通して、自分の短所に対する見方・考え方を変えて困難を乗り越えていこうとする態度を育てる。	【生徒の評価】 短所の見方・考え方についての話し合いを通して、自分の短所に対する見方・考え方を変えていこうとする意欲を高めているか。 【授業の評価】 短所の見方・考え方についての話し合い活動を通して、自分の短所を前向きに捉え直し、困難を乗り越えようとする意欲を高めさせることができたか。	キャリア教育
6月 ④	6 わたしのせいじゃない 「公正な社会のために」 【C 公正, 公平, 社会正義】	1	「わたしのせいじゃない」とは言えない問題について話し合うことを通して、社会をよりよくするために主体的に関わっていこうとする態度を育てる。	【生徒の評価】 「公正とは何か」について自分なりに考えているか、話し合いを通して考えを多面的・多角的に広げているか。 【授業の評価】 「わたしのせいじゃない」とは言えない問題についての話し合いを通して、傍観者の責任、自分と社会との関わりや、これからとるべき態度について考えを深めさせることができたか。	社会（公民的分野） 人権教育
	7 たったひとつのたからもの 「精いっぱい生きる」 【D 生命の尊さ】	1	秋雪くんの生きる姿を見て周りの人がどう思ったかを捉えることを通して、精いっぱい生きていこうとする心情を育てる。	【生徒の評価】 精いっぱい生きることについて自分なりに考えているか、他の人の意見を聞いて考えを深めているか。 【授業の評価】 秋雪くんと母親の思いについて考えることを通して、精いっぱい生きていこうとする気持ちを育めたか。	理科 保健体育

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配 当 時 数	ねらい	評価のポイント	他教科・特別活動 などの関連
7 月	8 伝えるということ 「郷土のために」 【C 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度】	1	郷土の伝統と文化を継承してきた先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、すすんで郷土の発展に努めようとする態度を育てる。	【生徒の評価】 郷土のために自分ができることは何かを考え、郷土の発展のために自分が寄与しようという意欲を高めているか。 【授業の評価】 伝統を守るとはどういうことか話し合うことを通して、すすんで郷土の発展に努めようとする実践意欲と態度を育てることができたか。	社会（地理的分野） 総合的な学習の時間
	9 釧路湿原を守れ 「環境保護と開発」 【D 自然愛護】	1	環境を開発から守った人々の思いについて話し合うことを通して、環境保護に対する考えを深め、環境保護のためにできる行動をしていこうとする態度を育てる。	【生徒の評価】 環境保護と開発の二つの視点による話し合いを通して、環境保護に対する考え方を多面的・多角的に広げているか。 【授業の評価】 環境保護と開発や、自分の生活と環境との関わりについての話し合いを通して、環境保護のために自分がとるべき態度について考えを深めさせることができたか。	社会（公民的分野） 総合的な学習の時間
	⑩ 一枚のはがき 「礼儀正しく生活する」 【B 礼儀】	1	礼儀を欠いていた筆者の心情を捉えることを通して、礼儀正しく生活していこうとする心情を育てる。	【生徒の評価】 「礼儀正しく生活するための心がまえ」について自分なりに考えているか、他の人の意見を聞いて考えを多面的・多角的に広げているか。 【授業の評価】 「礼儀正しく生活するための心がまえ」について、他の人の考えを聞くことによって自分の考えを深めさせることができたか。	
	11 清掃はやさしさ 「仕事への向き合い方」 【C 勤労】	1	勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、自分の仕事に誇りをもち勤労を通じて社会に貢献しようとする心情を育てる。	【生徒の評価】 自分の役割や仕事に対して、どのように向き合っていこうか考えを深めているか。 【授業の評価】 将来の生き方について考えを深め、自分の仕事に誇りをもち勤労を通じて社会に貢献しようとする心情を育てることができたか。	社会（公民的分野） 総合的な学習の時間 ボランティア活動
9 月	⑬ 暖かい気持ちはあるのに…… 「思いやりを形に」 【B 思いやり、感謝】	1	温かい社会の一員として自分ができることは何か話し合うことを通して、思いやりの心について考えを深め、他者をいたわる実践意欲と態度を育てる。	【生徒の評価】 「思いやりのある行動」とそれを支える道徳的価値について多面的・多角的に捉え、温かい社会にするために大切なことについて考えを深めているか。 【授業の評価】 思いやりの心を形にしていこうとする意欲を高め、温かい社会にするために大切なことについて考えを深めさせることができたか。	社会（公民的分野）
9 月 ⑬	13 たすきとポンポン 「互いのよさをいかす」 【B 友情、信頼】	1	望ましい人間関係を築き上げていくために、性別による違いを理解したうえでお互いを尊重しようとする態度を育てる。	【生徒の評価】 性別による違いについて考え、話し合いをしながら、お互いを尊重する態度が大事であることについて考えを深めているか。 【授業の評価】 由紀がどうするべきかを徹底的に話し合い、性別とお互いの尊重について考えを深めさせることができたか。	保健体育 技術・家庭（家庭分野） 学校行事
10 月 ⑭	14 怒りの救助活動 「公德を大切にできる心」 【C 遵法精神、公德心】	1	「やってもらってあたりまえ」と思っていることについて考えることを通して、周りから受ける恩を感じ、守るべき正しい道としての公德を大切にしようとする心情を育てる。	【生徒の評価】 社会生活の中で守るべき正しい道としての公德について、考えを深めているか。 【授業の評価】 遵法精神は公德心に支えられてこそ意義深いものになるということを理解させることができたか。	
	15 SNSとどうつき合う？ 「安全で節度ある生活」 【A 節度、節制】	1	生活をふり返り、節度を守り節制に心がけ、安全で調和のある生活をするようとする態度を育てる。	【生徒の評価】 「私」の言動や行動を見つめ、それに対して共感したり批判したり、自分なりに考え、どこでどうまちがえたのか、話し合いを通して考えを広げているか。 【授業の評価】 「私」の立場に立つて考えることや友達との話し合いを通して、節度・節制に心がけ、安全で調和のある生活をしていこうとする態度を育てることができたか。	情報教育

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配 当 時 数	ねらい	評価のポイント	他教科・特別活動な どとの関連
	16 夜の果物屋 「周りの支えや善意に気づき感謝する」 【B 思いやり、感謝】	1	少女の気づきに共感し、自分を支えている善意に目を向け、そのことに感謝し応えようとする心情を育てる。	【生徒の評価】 友達体験談や少女の思いに関する話し合いを通して、今後、どのように感謝を伝えていきたいか自分なりに考えているか。 【授業の評価】 感謝のあり方や表し方について話し合う活動を通して、自分を支えてくれている多くの人の善意に目を向けさせ、これからのべき態度について考えを深めさせることができたか。	ボランティア活動
10月④	17 六千人の命のビザ 「真の国際人とは」 【C 国際理解、国際貢献】	1	杉原千畝の決断を通して、国際的視野に立つて世界の平和と人類の発展に寄与する大切さに気づき、千畝の生き方を通して学んだことを自分の人生にいかしていこうとする実践意欲を育てる。	【生徒の評価】 「千畝の決断を支えた思い」について自分なりに考え、未来の自分の生き方について考えを深めているか。 【授業の評価】 千畝の生き方を通して学んだことを自分の人生にいかしていこうとする意欲を育てることができたか。	社会（歴史的分野）
	18 違反摘発 「法やきまりの意義」 【C 遵法精神、公德心】	1	法やきまりの意義について考えることを通して、公德心によって支えられた遵法精神を育てる。	【生徒の評価】 法やきまりはただ守るためだけにあるのではなく、それによって自分たちも守られているということについて自分なりに考えているか。 【授業の評価】 法やきまりの意義について、多面的・多角的に考えさせることができたか。	社会（公民的分野）
11月④	19 五万回斬られた男・福本清三 「充実した生き方」 【A 向上心、個性の伸長】	1	「五万回斬られた男」と称される福本清三さんの生き方について考えることを通して、自分自身が納得できる深い喜びを伴った意味ある人生を生きるための心得を模索しようとする心情を育てる。	【生徒の評価】 「生きがいのある充実した人生」について自分なりに考え、そうした生き方を志そうとする意欲を高めているか。 【授業の評価】 「生きがいのある充実した人生」について無名・有名の観点から考えを深めさせることができたか。	学級活動
	20 最優秀 「誰に対しても公平に接する」 【C 公正、公平、社会正義】	1	嫌がらせに気づけなかった「私」の心情を捉えることを通して、いじめや差別のない社会をつくろうとする心情を育てる。	【生徒の評価】 「いじめや差別のない社会をつくるために必要なこと」について自分なりに考えているか、他の人の意見を聞いて自分の考えを多面的・多角的に広げているか。 【授業の評価】 「いじめや差別のない社会をつくるために必要なこと」について考えさせ、そういう社会をつくろうとする心情を育てられたか。	音楽 学校行事
	21 国境なき医師団・貫戸朋子 「命を大切にするととは」 【D 生命の尊さ】	1	紛争という極限状況における貫戸朋子さんの判断についての議論を通して、命を大切にするととはどういうことなのかを考えていこうとする態度を育てる。	【生徒の評価】 生死をめぐる貫戸さんの判断についての話し合いを通して、命を大切にするととはどういうことなのかについて自分の考えを多面的・多角的に広げているか。 【授業の評価】 生死をめぐる貫戸さんの判断についての話し合いを通して、「命の大切さ」について考えていこうとする意識を高めさせることができたか。	社会（歴史的分野）
12月⑤	22 狂言師・野村萬斎物語 「伝統の継承、新しい文化の創造」 【C 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度】	1	野村萬斎さんの狂言に対する思いを読み取らせることを通して、「伝統の継承や新しい文化の創造」のために寄与しようとする心情を育てる。	【生徒の評価】 「伝統の継承や新しい文化の創造に必要なこと」について自分なりに考えているか、話し合いを通して自分の考えを多面的・多角的に広げているか。 【授業の評価】 「伝統の継承や新しい文化の創造に必要なこと」についての話し合い活動を通して、そのために寄与しようとする心情を育てることができたか。	国語 社会（歴史的分野）
	23 飛鳥へ、そしてまだ見ぬ子へ 「家族の愛情」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	井村さんの手紙を読み、無私の愛情をもって育ててくれた父母や祖父母を敬愛し、家族を大切にしようとする心情を育てる。	【生徒の評価】 最後まで病氣と闘い続ける井村さんを支えたものとはなんであつたかを自分なりに考えているか。 【授業の評価】 家族の幸せについて考えを深め、家族を大切にしようとする心情を育てることができたか。	技術・家庭（家庭分野）

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配 当 時 数	ねらい	評価のポイント	他教科・特別活動な どとの関連
1 月 ③	24 復旧にとどまらず、復興を～後藤新平～ 「よりよい社会のために」 【C 社会参画、公共の精神】	1	「私たちの学校や住んでいる地域をよくするためにできそうなこと」についての議論を通して、これからの生活や社会をよりよくするために主体的に関わっていかうとする態度を育てる。	【生徒の評価】 「私たちの学校や住んでいる地域をよくするためにできそうなこと」について自分なりに考えているか、話し合いを通して考えを多面的・多角的に広げているか。 【授業の評価】 「私たちの学校や住んでいる地域をよくするためにできそうなこと」についての話し合い活動を通して、自分と社会との関わりや、これからとるべき態度について考えを深めさせることができたか。	ボランティア活動 生徒会活動
1 月 ③	25 語りかける目 「気高く生きる」 【D よりよく生きる喜び】	1	人間には弱さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだそうとする心情を育てる。	【生徒の評価】 少女の目が語りかけ、今も語り続けていることは何か、自分なりに考えているか。 【授業の評価】 少女の目が語りかけ、今も語り続けていることは何かを考え、人間として生きることについて考えを深めさせることができたか。	社会（地理的分野） 防災教育
	26 本当の友達って 「本当の友情とは」 【B 友情、信頼】	1	本当の友情とは何かを考え、心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めようとする心情を育てる。	【生徒の評価】 本当の友達とはどういう存在なのかについて考えを深めているか。 【授業の評価】 本当の友情について深く考え、心から信頼できる友達と人間関係を深め、互いに高め合いながら成長していこうとする心情を育てることができたか。	技術・家庭（技術分野） 保健体育 情報教育
2 月 ④	27 海と空～樺野の人々～ 「国際社会の一員」 【C 国際理解、国際貢献】	1	世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って、同じ人間として尊重し合おうとする意欲を育てる。	【生徒の評価】 「他国の人々と助け合うときに大切なことは何か」を考えることを通して、国際社会の一員としてこれからどのように歩んでいきたいか自分なりに考えているか。 【授業の評価】 真の国際人としての生き方について考えを深め、同じ人間として尊重し合おうとする意欲を育むことができたか。	社会（歴史的分野）
	28 三年生を送る会 「先輩への敬愛」 【C よりよい学校生活、集団生活の充実】	1	三年生に感謝の気持ちをこめて送り出す行事に臨む姿勢を考えることで、教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合い、集団生活の充実に努めようとする心情を育てる。	【生徒の評価】 学校行事において、学校の一員としての自覚をもち、自分の役割について考えを深めているか。 【授業の評価】 学校の伝統を引き継ぎ、先輩がたに感謝の気持ちを伝えることで集団生活の充実に努めようとする心情を育てることができたか。	学校行事
3 月 ②	29 風に立つライオン 「真理を追い求め、新たな一歩を」 【A 真理の探究、創造】	1	「風に向かって立つライオン」をイメージすることで、志をもって、新しいものを生み出そうとする意欲を育てる。	【生徒の評価】 「志」と「夢」の違いを把握したうえで、志をもって、新しいものを生み出そうとする意欲を高めているか。 【授業の評価】 「志」と「夢」の違いについて考えるための手がかりを与えることができたか。	社会（公民的分野）
	30 ハッチを開けて、知らない世界へ 「本物に触れる」 【D 感動、畏敬の念】	1	体験したからこそ感じる宇宙や地球とのつながりについての話し合いを通して、人間の力を越えたものに対する畏敬の念を育てる。	【生徒の評価】 宇宙や地球という人間の力を越えたものに対する考えを、多面的・多角的に広げているか。 【授業の評価】 宇宙や地球という存在をどのように感じるかという話し合いを通して、人間の力を越えたものに対する考えを深めさせることができたか。	理科
補 充	31 へこたれない心 「希望と勇気をもつ」 【A 希望と勇気、克己と強い意志】	1	長嶋茂雄さんの生き方を学ぶことを通して、いつでも前向きに生きようとする強い意志を自分の人生に取り込もうとする意欲を育てる。	【生徒の評価】 長嶋さんの生き方に学び、自分の人生に取り込もうとする意欲を高めているか。 【授業の評価】 長嶋さんの生き方に一貫して流れているものに気づかせることができたか。	

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	評価のポイント	他教科・特別活動などとの関連
教 材	32 地下鉄で 「思いやって行動する大切さ」 【B 思いやり, 感謝】	1	同世代の子たちの行動について考えることを通して、思いやりの気持ちをもって他者に接していくことが、社会をよりよくしていく一端を担っていることに気づかせ、思いやりを行動に表そうとする実践意欲と態度を育てる。	【生徒の評価】 役割演技を通して、それぞれの立場や気持ちを自分なりに考えているか、自身の行動を見つめふり返り、今後どうしていきたいかを考えて深めているか。 【授業の評価】 「思いやりは大切だ」という考えに終始するのではなく、思いを行動に表すことが必要であることに気づかせることができたか。	
	33 モノづくりのまち、東大阪の会社見学 「世のため、人のために」 【C 社会参画、公共の精神】	1	日本製品の高品質を支えているものについて考えることで、日本人の高い社会貢献の意識と公共の精神を自分自身の中へ取り込もうとする意欲を育てる。	【生徒の評価】 日本のモノづくりを支えてきた精神土壌を受け継ごうとする意欲を高めているか。 【授業の評価】 日本のモノづくり、日本製品の高品質を支えてきたのは、「世のため、人のために」という社会貢献の精神性にあったことに気づかせることができたか。	社会（公民的分野） 総合的な学習の時間
	34 サッカーの種をまく 「郷土のよさや強み」 【C 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度】	1	郷土が育んだ伝統や文化について知り、地域の一員としての自覚と誇りをもって、伝統や文化の継承に努めようとする態度を育てる。	【生徒の評価】 郷土のよさや強み、伝統や文化について理解を深め、それを守っていこうとする意欲を高めているか。 【授業の評価】 教材の理解が、表面的なスポーツのよさで終わってしまわないように、自分ごととして捉え、自分の住む地域の魅力を探そうとする態度を養えたか。	保健体育 社会（地理的分野）
	35 ドイツ・ヴリーツェンに眠る日本人医師～肥沼信次の生涯～ 「世界の中の日本人として」 【C 国際理解、国際貢献】	1	戦後、ドイツに残って診療活動をし、最期は自らも感染し客死した肥沼信次の生き方について学ぶことで、国際貢献のあり方について考えようとする態度を育てる。	【生徒の評価】 肥沼の生き方を学ぶことを通して、芯のある生き方について考えを深めているか。 【授業の評価】 肥沼の生き方を学ぶことで、国際貢献のあり方について考えさせることができたか。	社会（歴史的分野）

配当時数		生徒について	担当者
35		2年 I 課程 2 名	
年間目標		(知及技)探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身につけ、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。 (思判表力) 実社会や実生活と自己との関わりから知を見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (学・人) 探究的に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。	
学期	時数	学習内容	学習目標及び評価の観点
1	13	オリエンテーション 進路学習① (希望進路調査)	自分の興味・関心や進路の選択肢を踏まえ、将来の進路について考えることができる。(思)
		進路学習② (キャリアパスポート)	自分の成長や課題を振り返り、将来の進路に生かそうとすることができる。(主)
		校外就業体験学習に向けて	・2学期校外就業体験に向けて、自分の興味のある仕事について調べることができる。(思)
		専攻科体験授業	・専攻科体験授業を通して、進路選択の幅を広げる。(知)
		平和学習	・平和講話等を通して、平和について考えることができる。(思)
		キャリア探究① (社会の仕組みを知る)	私たちの生活と関わる金融機関や公共機関の役割や、収入・支出の仕組みについて知ろう。(知)
2	14	学習環境を整えよう	・2学期を迎えて学習環境を整える。ロッカーや本棚の整理整頓について考える。(主)
		文化祭に向けて	・文化祭での自分の役割確認や目標設定を行う。(主)
		校外就業体験	・校外就業体験を通して、正しい職業観・勤労観を身につける。(知)
		進路学習③ (進路講話)	・講話を通して、自己の進路実現に向けて考えることができる。(思)
		交流学習1 (南風原中学校)	・他の中学校との交流を通して、お互いを理解する機会とする。(思)
		ウォークラリーに向けて	・ねらいを理解し、目的達成のため、調べ学習を行う。(思)
		交流学習2 (居住地交流) :	・他の中学校との交流を通して、お互いを理解する機会とする。(思)
		交流学習3 (開邦中学校)	・他の中学校との交流を通して、お互いを理解する機会とする。(思)
		キャリア探究② (働くことと生活を結ぶ)	働くことの意義や収入の仕組みを理解し、収入と生活の関係について考える。(知) (思)
		キャリア探究③ (自立に向けた生活設計)	将来の生活に必要なことを理解し、進学後の生活を想定して考える。(知) (思)
		2学期の行事のまとめ(キャリアパスポート)	・行事における自分の役割達成を振り返る。(主)
3	8	新学期の学習環境を整えよう (清掃活動)	・3学期に向けて、学習環境を整える。(主)
		進路学習④ (次年度に向けて)	・次年度に向けての心構えと、これからの学習について考える。時間を有効に使えたか確認する。(思)
		進路学習 (キャリアパスポートをまとめよう)	・1年間の学習を振り返り、中学生としての自覚と役割を考える機会とする。(思)
		1年間の反省とまとめ	・今年度努力したことを確認し、次年度の目標を考える。(主)

配当時数		生徒について	担当者
35		2年 I 課程 2 名	
年間目標		(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身につけるようにする。 (思判表力) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学・人) 自主的・実践的な集団活動を通して身につけたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。	
学期	時数	学習内容	学習目標及び評価の観点
1	13	学級開き	1年間の学級目標を同級生とともに考え、設定する。(思)
		係活動を決めよう	話し合いを通して係活動を決定し、学級の一員として役割と責任を果たそうとする態度を育てる。(思) (主)
		春の遠足	新しい先生、友達と親睦をはかることができる。(主)
		生徒会活動①(歓迎会)	生徒会の一員としての自覚をもち、歓迎する会の実施に向けて、話し合い活動を通して内容を考え、協力して準備に取り組むことができる。(思・判・表) (主) (主) (思・判・表)
		生徒会活動②(生徒総会)	生徒総会に参加し、議題について理解を深め、自分の考えをもつことができる。(思・判・表)
		火災避難訓練	避難訓練時の注意点を確認し、出火場所や避難場所の確認をし、教師とともに安全に避難することができる。(知・技)
		交流及び共同学習①(沖縄ワールド)	伝統的なおりもの体験を通して、技能や文化への理解を深め、仲間と協力して作品を完成させる達成感を味わう(知・技) (主)
		生徒会活動③(合同レクを考えよう)	生徒会の一員としての自覚をもち、合同レクリエーションの目的や内容について話し合い活動を通して考え、協力して準備・運営に取り組むことができる。(思・判・表) (主)
		1学期を振り返ろう	1学期の学校生活を振り返り、よりよい生活につなげるために、夏休みの過ごし方について考える。(思・判・表) (主)
2	14	文化祭に向けて	文化祭の目的を知り、活動に自主的に参加する(思・判・表)
		校外学習(買い物学習)・調理実習	調理実習や買い物学習の内容について話し合い活動に参加し、協力して計画・実施に取り組むことができる。(知・技) (思・判・表) (主)
		保健講話	健康で安全な生活を送るために、自己の生活を見直し、感染防止に主体的に取り組もうとする態度を育てる。(主)
		総合防災避難訓練	地震・津波、火災等それぞれの災害時の避難の違いや注意点などに気づくことができる。(思・判・表)
		生徒会活動④(合同レクを考えよう)	生徒会の一員としての自覚をもち、合同レクリエーションの目的や内容について話し合い活動を通して考え、協力して準備・運営に取り組むことができる。(思・判・表) (主)
		2学期を振り返ろう	2学期の学校生活を振り返り、よりよい生活につなげるために、長期休みの過ごし方について考える。(思・判・表) (主)
3	8	生徒会活動⑤(生徒会長選挙)	生徒会選挙に参加し、候補者の考えや公約を理解した上で、自分の考えをもち、責任ある判断をすることができる。(思・判・表) (知)
		生徒会活動⑥(生徒会長認証式)	認証式に参加し、生徒会活動における自分の役割や責任について理解し、意識することができる。(思・判・表) (主)
		校外学習(買い物学習)・調理実習	調理実習や買い物学習の内容について話し合い活動に参加し、協力して計画・実施に取り組むことができる。(知・技) (思・判・表) (主)
		卒業式リハーサル/卒業式	卒業式に参加し、在校生としての自覚をもち、卒業生への感謝の気持ちを意識しながら式に取り組むことができる。(主)

令和8年度 国語3年 I 課程 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
105		3年 3名	
年間目標		(知及技) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 (思判表力) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 (学・人) 言葉が持つ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	
学期	時数	題材名	
一学期	39	世界はうつくしいと	
		1 深まる学びへ	握手
		意見を聞き、適切さを判断する	
		説得力のある構成を考えようスピーチで心を動かす	
		論語	
		2 視野を広げて	作られた「物語」を超えて
		思考のレッスン 具体化・抽象化	
		論理の展開を意識して書こう	
		熟語の読み方	
		3 言葉とともに	俳句の可能性
		言葉の釣り糸を垂らす	
		情報×SDGS	実用的な文章を読もう
		いつも本はそばに	読書を楽しむ / 季節のしおり 夏
二学期	45	4 状況の中で	挨拶一原爆の写真によせて
		故郷	
		論理の展開を整える	
		言葉3・漢字2 慣用句・ことわざ・故事成語	
		5 自らの考えを	複数の意見を読んで、考えよう
		考えを効果的に伝えよう	
		聴きひたる 初恋/季節のしおり 秋	
		6 いにしえの心を受け継ぐ音読を楽しむ	古今和歌集
		君待つと一万葉・古今・新古今	
		夏草―「おくのほそ道」から	
		つながる古典、古典名作選	
		7 価値を生み出す	それでも、言葉を
		話し合いを効果的に進めよう/季節のしおり 冬	
		いつも本はそばに	本は世界への扉 天、共に在り/本の世界を広げよう

三 学 期	21	8 未来へ向かって	温かいスープ、アラスカとの出会い
			律儀な桜、わたしを束ねないで
			三年間の歩みを振り返ろう
			漢字に親しもう
			国語の力試し

令和8年度 社会科3年 I 課程 A・B 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
122.5		3年 3名	
年間目標		(知及技) 我が国の地理や歴史を理解するとともに、諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身につける。 (思判表力) 社会的事象の意味や意義を多面的に考察し、思考したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (学・人) よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。	
学期	時数	題材名	
1学期	42	(歴史分野)	
		第6章 二度の世界大戦と日本	第一次世界大戦と民族独立の動き
			世界恐慌から戦争へ
			第二次世界大戦と日本の敗戦
			沖縄戦と戦後復興
		第7章 現代の日本と世界	日本の民主化と冷戦
			世界の多様化と日本
			冷戦の終結とこれからの日本
		(公民分野)	
		第1章 私たちの暮らしと現代社会	私たちが生きる現代社会
			現代につながる伝統と文化
			わたしたちがつくるこれからの社会
2学期	56.5	第2章 個人を尊重する日本国憲法	日本国憲法の成り立ちと国民主権
			憲法が保障する基本的人権
			私たちと平和主義
		第3章 私たちの暮らしと民主政治	民主政治と日本の政治
			三権分立のしくみと私たちの政治参加
			地方政治と住民の参加
		第4章 私たちの暮らしと経済	消費生活と経済活動
			企業の生産のしくみと労働
			市場のしくみとはたらき
			金融のしくみと財政の役割 ※税金の種類と特徴(租税教室)
3学期	24	第5章 私たちの暮らしと経済	暮らしを支える社会保障
			これからの日本経済の課題
		第6章 国際社会に生きる私たち	国際社会の平和をめざして
			国際社会が抱える課題と私たち
			持続可能な未来の社会へ

留意点	・弱視児の生徒の見え方へ配慮する。プリント作成時の見やすさ、読みやすさなど。教科書の読みについての配慮。付箋紙などの活用により、自主学習がスムーズにいくように促す。 ・点字使用生徒に対する配慮。教科書の見出しや、単元ページの確認の方法などを確認して授業を進める。点字の読みスピードの違いがあるため、進め方についての調整・配慮を行う。 ・地域の公共施設や商業施設の利用、首里城見学などの校外学習を実施しながら学習を深める。 ・税金に関する講座等に参加する。 ・年間を通して、時事ニュースを話題にあげ、社会の動向に視野を向けられるような教材を準備する。
-----	--

令和8年度 数学科 I 課程 年間指導計画

配当時数		生徒について		担当者	
140		3年Ⅰ課程 3名			
年間目標		(知識及び技能)数量や図形などの基本的な概念の定着を図り、実生活で活用できる力を身につける。 (思考力、判断力、表現力等)具体的な事象を調べたり、観察、操作などの体験的な活動を通して、論理的に考察し表現する力を養う。 (学びに向かう力・人間性等)問題解決に必要な事柄を収集し、考えたり判断したりしようとする態度や習慣を身につける。			
学期	単元・題材の目標		単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
Ⅰ 学 期 45 時 間	(知及技) 単項式と多項式の乗法、多項式を単項式でわる除法の計算ができる。 (思判表力) 因数分解の公式を理解し、それらを利用することができる。 (学・人)式の計算を利用して、数や図形の性質を考えることができるようになる。		(知・技)単項式と多項式の乗法を理解することができる。 (思・判・表) 因数分解の公式を理解し、それらを利用することができる。 (主学)式の計算について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	Ⅰ章式の計算 ①多項式の計算 ②因数分解 ③式の利用	・単項式と多項式の乗法を理解する。 ・因数、素因数、素因数分解の意味を理解する。
	(知及技) 正の数の平方根の必要性和その意味を理解する。 (思判表力) 平方根の大小を判定することができるようになる。 (学・人) 平方根について学んだことを生活や学習に生かすことができる。		(知・技) 平方根の近似値を、逐次近似的に求めることができる。 (思・判・表) 逐次近似的に求めるなど、平方根の近似値を求める方法を考えることができる。 (主学)数の平方根に関心を持ち、その必要性和意味、根号を使った表し方などを考えようとしている。	2章平方根 ①平方根 ②混合を含む式の計算	・逐次近似的に平方根の近似値を求める。 ・平方根の積と商のきまりを理解する。
	(知及技) 2次方程式とその解の意味を理解する (思判表力) 2次方程式を		(知・技)2次方程式をつくること ができる。 (思・判・表)2次方程式を	3章2次方程式 ①2次方程式の解き方	・2次方程式及びその解の意味を理解する。

	能率的に解く方法を考察することができる。 (学・人) 2次方程式を利用して、問題を解くことができる。 (知・技) 関数 $y=ax^2$ の意味を理解する。 (思・判・表力) 与えられた条件から関数 $y=ax^2$ の式を求めることができる。 (学・人) 関数 $y=ax^2$ の表、式、グラフを相互に関連づける。	数が満たすべき条件と捉え、条件が成り立つ変数の値を求める方法を考えることができる。 (主学) 2次方程式とその解に関心をもち、その必要性和意味を考えたり、様々な数を代入するなどして解を求めたりしようとしている。 (知・技) 関数 $y=ax^2$ の関係を式で表すことができる。 (思・判・表) 具体的な事象から関数 $y=ax^2$ の関係を見いだすことができる。 (主学) 関数 $y=ax^2$ に関心をもち、具体的な事象の中から関数 $y=ax^2$ として捉えられる2つの数量を見いだしたり、その関係を式で表したりしようとしている。	② 2次方程式の利用 4章 関数 $y=ax^2$ ① 関数 $y=ax^2$ ② いろいろな関数	・2次方程式を利用して、数や図形などに関する問題を解決する。 ・具体的な事象の変化や対応を調べることを通して、2乗に比例する関数 $y=ax^2$ について理解する。 ・身のまわりから、いろいろな関数関係を見いだし、問題の解決に利用する。
2学期 50時間	(知・技) 平面図形の相似の意味や相似比の意味を理解する。 (思・判・表力) 三角形の相似条件などをもとに、図形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。 (学・人) 相似について学んだことを生活や学習に生かすことができる。 (知・技) 円周角の定理の意味を理解する。	(知・技) 相似な2つの図形の辺や角の関係を記号を用いて表したり、その意味を読み取ったりすることができる。 (思・判・表) 相似な図形の性質を見いだすことができる。 (主学) 相似な図形の性質に関心をもち、それらについて調べたり、それらを用いて考えたりしようとしている。 (知・技) 円周角と中心角の関係や、等しい弧に対する円周角の性質などを記号を用いて表したり、その意味を読み取ったりすることができる。	5章 相似な図形 ① 相似な図形 ② 平行線と相似 ③ 相似と計量 6章 円 ① 円周角と中心角	・図形の相似の意味を理解する。 ・平行線と線分の比の関係を理解する。 ・図形の相似比と面積比の関係を理解する。 ・円周角と中心角の関係を見だし、既習の三角形の性質などを基にしてそれが証明できることを理解する。

	(思判表力)円周角の定理を利用して図形の角の大きさを求めることができる。 (学・人)円周角と中心角の関係を見いだすことができる。 (知及技)三平方の定理の意味を理解する。 (思判表力)三平方の定理を利用して直角三角形の辺の長さを求めることができるようになる。 (学・人)三平方の定理を具体的な場面で利用することができる。	(思・判・表)円周角と中心角の関係や、等しい弧に対する円周角の性質を見いだすことができる。 (主学)円周角や中心角に関心を持ち、それらの関係や性質を見いだしたり、その証明にどのような図形の性質が用いられているのかを考えたりしようとしている。 (知・技)三平方の定理を記号を用いて表したり、その意味を読み取ったりすることができる。 (思・判・表)直角三角形の3辺の長さの間に成り立つ関係に着目し、三平方の定理を見いだすことができる。 (主学)三平方の定理について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	②円周角の定理の利用 7章 三平方の定理 ①三平方の定理 ②三平方の定理の利用	・三平方の定理を見だし、それが証明できることを理解する。
3 学 期 45 時 間	(知及技)全数調査と標本調査の違いを理解する。 (思判表力)標本平均から母集団の平均を推定することができるようになる。標本調査を利用して、母集団の傾向を推定することができるようになる。 (学・人)具体的な場面で標本調査を行うための適切な計画を立て、それにもとづいて標本調査を行うことができるようになる。	(知・技)問題を解決するために、標本を無作為に抽出し、整理することができる。 (思・判・表)具体的な事象を基にして標本調査の必要性和意味について考え、説明することができる。 (主学)標本調査に関心を持ち、その必要性和意味を考えようとしている。	8章 標本調査 ①本調査	・標本調査の必要性和意味を理解する。

令和 8 年度 理科 I 課程 A/B 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
140		3年 3名	
年間目標		(知及技) 自然の事物現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (学・人) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	
学期	時数	題材名	
1学期	50	単元1 化学変化とイオン	
		水溶液とイオン	
		酸・アルカリとイオン	
		化学変化と電池	
		単元2 生命の連続性	
		生物の成長と生殖	
2学期	58	生物の多様性と進化	
		単元3 運動とエネルギー	
		物体の運動	
		力のはたらき	
		エネルギーと仕事	
		大気の動きと日本の天気	
		単元4 地球と宇宙	
3学期	32	地球の運動と天体の動き ※校外学習 ほしぞら公民館	
		月と金星の見え方	
		宇宙の広がり	
		単元5 地球と私たちの未来のために	
		自然の中の生物	
		自然環境の調査と保全	
		科学技術と人間	
		持続可能な社会のために	

令和 8 年度 英語 I 課程 A・B 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
140		3 年 3 名 (I 課程 A 2 名、I 課程 B 1 名)	
年間目標	(知及技) 身近な話題や社会的な話題について、既習の表現や語句を活用しながら、「聞くこと、話すこと (やり取り・発表)、読むこと、書くこと」ができる。 (思判表力) 生徒の実態や能力を踏まえ、学習内容や進度を工夫し、自分の考えや気持ちを整理して英語で表現できる。 (学・人) 外国語やその文化への理解を深め、生徒が主体的に英語でコミュニケーションを図り、自分の思いや考えを伝えようとする態度を養う。		
学期	時数	題材名	
I 学期	IA 45 ・ IB 35	Review Lesson	
		Washoku, or Japanese Cuisine	
		Lesson 1	
		Aya's Homestay in Vancouver	
		Activities Plus 1	
		Tips for Speaking ①	
		Useful Expressions ①	
		Lesson 2	
		The Eagles of Hokkaido	
		Tips for Listening ①	
		Useful Expressions ②	
		Tips for Reading ①	
		Lesson 3	
		Space Tourism	
		Activities Plus 2	
		Tips for Listening②	
		Project 1	
		The Best Product Ever	
		Reading 1	
		Lighting Up a Corner	
		Grammar Exercises (I 課程 A のみ)	
		Lesson 4	

令和 8 年度 英語 I 課程 A・B 年間指導計画

	IA 59 ・ IB 52	People Who Support Success
		Tips for Writing ①
		Lesson 5
		Be Yourself
		Activities Plus 3
		Tips for Listening ③
		Tips for Reading ②
		Tips for Writing ②
		Useful Expressions ③
		Lesson 6
		Why Do We Have to Work?
		Tips for Speaking ②
		Project 2
		If I Were You, ...
		Tips for Reading ③
		Lesson 7
		Debating Doggy Bags
		Activities Plus 4
		Grammar Exercises (I 課程 A のみ)
3 学 期	IA 36 ・ IB 36	Project 3
		Let's Try Debating
		Reading 2
		My Prayer for Peace
		Further Reading 1
		Yes, Virginia, There Is a Santa Claus
		Further Reading 2
		Counting on Katherine Johnson
		Further Reading 3
		Speaking Out for a
		Further Reading 4
		John Mung

令和8年度 音楽Ⅰ課程 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
52.5		3年 3名	
年間目標		(知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (学・人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。	
学期	時数	題材名	
Ⅰ学期	15	オリエンテーション	
		歌唱: 曲の形式を活かして歌おう【花】【荒城の月】	
		器楽: 沖特音研に向けて、演奏する曲や楽器を決めて取り組む【生徒が選曲した曲、楽器を練習する】	
		創作: 言葉の特徴を捉えて表現しよう【言葉のリズムや抑揚を活かして表現してみよう】	
		鑑賞: ・曲想を感じ取り、音楽の背景を理解して鑑賞しよう【ブルタバ(モルダウ)】 交響詩【フィンランディア】	
Ⅱ学期	27.5	歌唱: 曲の特徴を捉えて、ふさわしい声で歌おう【帰れソレントへ】【Top of the world】	
		器楽: 沖特音研の本番に向けて中学部全員で合奏しよう【生徒選曲】 文化祭に向けて練習しよう【生徒選曲】 ・沖特音研発表会の打ち上げを計画して実施しよう! →本番に向けて功をねぎらい音研について振り返る	
		創作: 言葉の特徴を捉えて旋律をつくろう【CMソングをつくろう】	
		鑑賞: オペラの豊かな表現を鑑賞しよう【オペラ「アイダ」から第2幕第2場】	
		表現・鑑賞: 他校の演奏を鑑賞し、表現の工夫や音楽の魅力について考える。【開邦高校音楽交流】	
Ⅲ学期	10	歌唱: 曲想を感じ取り、曲の特徴を生かして合わせて歌おう【卒業式におけて】	
		鑑賞: 歌舞伎の豊かな表現を鑑賞しよう【歌舞伎「勧進帳」 長唄「勧進帳」】	

令和 8 年度 I 課程 年間指導計画

教科名		学年・課程	年間総時数	担当者
美術		3年 I 課程	35時間	
年間目標		(知及技) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を 創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (思判表力) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方 や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (学・人) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊か にし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。		
学期	月	時数	単元名	
一学期 ⑪	4	1	オリエンテーション 美術とは何だったかの確認	
	5 6 7	6	土をつくる	
		4	土器作り	
二学期 ⑮	9 10 11 12	4	文化祭ポスター	
		11	箱の中の世界 立体造形	
三学期 ⑨	1 2 3	3	筒を使った立体造形	
		6	卒業式壁画	

令和 8 年度 保健体育年間指導計画（体育分野）

中学部 3 年 I 課程 II 課程 A 作成者：

総授業時数 70 時間

年間目標		・運動の実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにため、体力の必要性を理解すると共に、基本的な技能を身につけるようにする。（知識・技能） ・運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断したりするとともに、自己の考えたことを他者に伝える力を養う。（思考・判断・表現力等） ・公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、他害の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くす態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）				
月	単元名 及び 学習内容	時 数	指導目標	評価の観点		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
通 年	体づくり運動 ・ラジオ体操、 ストレッチ 体操等 ・体ほぐしの運動 ・体の動きを高める運動 ・クロックポジション ・ボディイメージ	7	・ねらいに応じた運動を組み合わせ体ほぐしに取り組む。（知・技） ・仲間と積極的に関わり、互いの意見を尊重しながら合理的な運動の実践ができる。（思・判・表） ・課題解決に向けて、仲間と協力できる。（学・人）	・体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解している。	・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・体づくり運動の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・仲間の補助をしたり助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。
4	器械運動 ・マット運動	6	・前後転系の基本の動きを身につける。（知・技） ・自己の課題を発見したり、他者の課題について考えたりして課題の解決に取り組む。（思・判・表） ・個々の能力に応じた回転系、巧技系の技に挑戦できる。（学・人）	・マット運動では、回転系の基本的な技の名称を覚えることができる。回転系、巧技系の基本的な技ができる。	・技の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	・器械運動に積極的に取り組むとともに、よい演技を認めようとする、仲間の学習を援助しようとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めている。健康・安全に気を配っている。
5	陸上①	6	・ストライドやピッチ、	・陸上競技の特性	・動きなどの自	・陸上競技に積

6	・短距離走 ・長距離走 ・ボール投げ		腕ふりを意識して活動できる。(知・技) ・自己の記録や課題を意識し、練習方法を工夫することができる。 (思・判・表) ・自己の体力を知り、意欲的に練習に取り組むことができる。(学・人) ・違いを認め、仲間と協力し、課題解決に取り組むことができる。 (学・人)	や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ・長距離走では、ペースを守って走ることができる。	己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。健康・安全に気を配っている。
7	水泳 ・バタ足 ・ドル平 ・クロール ・平泳ぎ	1 4	・水の特性を理解する。 (知・技) ・4泳法の名称と技術を知る。(知・技) ・息継ぎの技術を身につける。(知・技) ・自己の課題に応じた、練習方法を選択して、意欲的に練習する。(思・判・表)(学・人) ・健康、安全に気をつけ、水泳の心得を守る。 (学・人)	・水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 平泳ぎ ・蹴り終わりで長く伸びるキックをすることができる。 ・肩より前で、両手で逆ハート型を描くように水をかくことができる。 ・プルのかき終わりに合わせて顔を水面上に出して息を吸うことができる。	・提供された練習方法から、自己の課題に応じて、泳法の習得に適した練習方法を選んでいる。 ・仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。	・水泳の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・用具等の準備や後片付けなどの分担した役割を果たそうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。 ・水の安全に関する事故防止の心得を遵守するなど、健康・安全に留意している。
9 10	武道 ・空手	1 0	・伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解することができる。(知・技) ・クロックポジションを意識して自己の体を操作する。(知・技)	・空手の歴史や特性や伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。	・空手道を実践するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間	・空手道に自主的に取り組むとともに相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。 ・一人一人の違い

11			。自己の課題を発見し練習を工夫する。 (思・判・表) ・仲間との話し合いを通じて、課題を見つけ、解決する。(思・判・表) ・一人一人の違いを認め、意欲的に活動する。 (学・人)		の考えたことを他者に伝えている。	いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 健康・安全に気を配っている。
12	陸上② ・直線走 ・円周走 ・走り幅跳び	1 1	・自己の歩、走の動きのくせを知る。(知・技) ・体重移動や踏切の技術を身につける。(知・技) ・健康やけが防止のための、準備運動や補助運動について、考え、主体的に活動する。(思・判・表) ・勝敗を受け止め、ルールやマナーを守る。 (学・人)	・音源を聞いてまっすぐ走ることができている。 ・ロープの張りを感じ、全力で走ることができている。 ・スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶことができている。	・選択した運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいく。 ・健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。	・勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。 ・仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たそうとしている。 ・健康・安全を確保している。
1 2 3	球技 ・フロアバレーボール ・STT ・バスケットボール	1 6	・役割に応じたボールの操作や連携した動きができる。(知・技) ・チームや自己の課題を発見し、仲間と工夫して練習に取り組むことができる。(思・判・表) ・フェアプレイを大切にして自主的に練習に取り組むことができる。 (学・人) ・仲間と課題や練習法について考えることができる。(学・人)	・ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができている。 ・連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くことができている。	・自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 ・チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返っている。	・球技の学習に自主的に取り組もうとしている。 ・互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。 ・健康・安全を確保している。

令和8年度 保健 年間指導計画

配当時数	生徒について	担当者	教科書／副教材
17.5	3年Ⅰ課程 3名		学研

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけるようにする。 (思判表力)健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (学・人)・生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	3	(知及技) 交通事故などによる傷害を防止するためには、人的要因や環境要因に関わる危険を予測し、それぞれの要因に対して適切な対策を行うことが必要であることを理解できる。 (思判表力) 人的要因に対しては、心身の状態や周囲の状況を把握し、判断して、安全に行動すること、環境要因に対しては、環境を安全にするための整備、改善をすることがあることなどについて理解できる。 (学・人)傷害の防止の学習に自主的に取り組むことができる。	(知・技) 交通事故による傷害を防止するには、車両の特性を知り、交通法規を守り、心身の状態を把握し、車両、道路、気象条件などの周囲の状況に応じて、安全に行動することが必要であることを理解している。 (思・判・表)交通事故の発生要因とその防止について、危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。 (主学)応急手当の意義や目的、手順についての学習に自主的に取り組もうとしている。	傷害の防止	・交通事故の防止 ・犯罪被害の防止 ・応急手当の意義と基本
	2	(知及技) 傷害が発生した際に、その場に居合わせた人が行う応急手当としては、傷害を受けた人の反応の確認等状況の把握と同時に、周囲の人への連絡、傷害の状態に応じた手当が基本であり、迅速かつ適切な手当は傷害の悪化を防止できることを理解できる。 (思判表力)反応がないときの応急手当の方法について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現できる。 (学・人)応急手当の意義と基本についての学習に自主的に取り組むことができる。	(知・技) 傷害が発生した際に、その場に居合わせた人が応急手当をすることで、傷害の悪化を防止し得ること、心肺停止に陥った人に遭遇したときの応急手当としては、心肺蘇生法があることを理解している。 (思・判・表)反応がないときの応急手当の方法について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 (主学)応急手当の意義や目的、手順についての学習に自主的に取り組もうとしている。	傷害の防止	・自然災害に備えて ・応急手当の意義と基本
1 学期	2	(知及技) 感染症は、病原体が環境を通じて主体へ感染することで起こる病気であり、適切な対策を講ずることにより感染のリスクを軽減することができることを理解することができる。 (思判表力)感染症の原因について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現することができる。 (学・人)感染症とその予防についての学習に自主的に取り組むことができる。	(知・技) 感染症を予防するには、発生源をなくす、感染経路を遮断する、予防接種で免疫を付けるなど体の抵抗力を高めることが有効であることを理解している。 (思・判・表)感染症の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 (主学)感染症の予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。	健康な生活と病気の予防	感染症とその予防 性感染症とその予防
	2	(知及技) 健康の保持増進や病気の予防には、健康的な生活行動など個人が行う取り組みとともに、社会の取り組みが有効であることを理解することができる。 (思判表力)個人の健康を守る社会の取り組みについて、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断し表現することができる。 (学・人)健康を守る社会の取り組みについての学習に自主的に取り組むことができる。	(知・技) 健康の保持増進や病気の予防には、個人が行う取り組みとともに、社会の取り組みが有効であり、地域の保健所、保健センターなどでは住民の健康診断や健康相談などが行われていることを理解している。 (思・判・表)個人の健康を守る社会の取り組みについて、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 (主学)個人の健康を守る社会の取り組みについての学習に自主的に取り組もうとしている。	健康な生活と病気の予防	健康を守る社会の取り組み 医療機関の利用と医薬品の使用

2 学 期	2	(知及技) 身体には、環境の変化に対応した調節機能があり、一定の範囲内で環境の変化に適応する能力があることを理解することができる。 (思判表力) (学・人) 環境への適応能力についての学習に自主的に取り組むことができる。	(知・技) 体には環境に対する適応能力があること、環境の変化が適応能力の限界を超えると健康に重大な影響が出ることから、気象情報の適切な利用が有効であることを理解している。 (思・判・表) 環境への適応能力について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 (主学) 環境への適応能力についての学習に自主的に取り組もうとしている。	健康と環境	環境の変化と適応能力活動に適した環境
	2.5	(知及技) 水は生命の維持や健康にとって重要であること、飲料水には水質基準があり、浄水場で浄化し検査していることを理解することができる。 (思判表力) (学・人) 健康や生活における水の役割や飲料水の条件について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現することができる。 (主学) 健康や生活における水の役割や飲料水の条件についての学習に自主的に取り組もうとしている。	(知・技) 水は生命の維持や健康にとって重要であること、飲料水には水質基準があり、浄水場で浄化し検査していることを理解している。 (思・判・表) 健康や生活における水の役割や飲料水の条件について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 (主学) 健康や生活における水の役割や飲料水の条件についての学習に自主的に取り組もうとしている。	健康と環境	室内の空気の条件水の役割と飲料水の確保
	2	(知及技) 水は生命の維持や健康にとって重要であること、飲料水には水質基準があり、浄水場で浄化し検査していることを理解することができる。 (思判表力) 生活に伴って生じた廃棄物の衛生的な処理の必要性について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断、表現をすることができる。 (学人) 生活に伴って生じた廃棄物の衛生的な処理の必要性についての学習に自主的に取り組むことができる。	(知・技) 水は、人間の生命の維持や健康な生活と密接な関わりがあり重要な役割を果たしていること理解している。 (思・判・表) 生活に伴って生じた廃棄物の衛生的な処理の必要性について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 (主学) 生活に伴って生じた廃棄物の衛生的な処理の必要性についての学習に自主的に取り組もうとしている。	健康と環境	生活排水の処理ごみの処理
2 学 期	2	(知及技) 大気汚染や水質汚濁など、自然環境が汚染されることにより、健康に悪影響を及ぼすことがあることを理解する。 (思判表力) 環境汚染の健康への影響とその対策について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断、表現をすることができる。 (学人) 環境汚染の健康への影響とその対策についての学習に自主的に取り組むことができる。	(知・技) 大気汚染や水質汚濁など、自然環境が汚染されることにより、健康に悪影響をおよぼすことがあることを理解している。また、こみの減量や分別などの個人の取り組みを、一人ひとりが実践していくことが大切であることを理解している。 (思・判・表) 環境汚染の健康への影響とその対策について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 (主学) 環境汚染の健康への影響とその対策についての学習に自主的に取り組もうとしている。	健康と環境	環境の汚染と保全
留意点 引継ぎ等					

令和 8 年度 技術・家庭(技術分野) I 課程 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
17.5		3 年 3 名	
年間目標	(知及技) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術について基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけ、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。 (思判表力) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、試作等を通して具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。 (学・人) よりよい社会の実現や持続可能な社会の構築に向けて適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。		
学期	時数	題材名	
1・2 学期	17.5	生活や社会と情報の技術	
		情報の伝達	
		情報セキュリティと情報モラル	
		コンピュータとプログラム	
		双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決	
		計測・制御のプログラミングによる問題解決	
		これからの情報の技術	

令和8年度 技術・家庭（家庭分野） I 課程 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
17.5		3年 3名	
年間目標	（知及技）家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 （思判表力）家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。 （学・人）自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。		
学期	時数	題材名	
1学期	12.5	消費者生活のしくみ	
		家庭生活における収入と支出	
		いろいろな購入方法	
		購入前に知っておくこと	
		いろいろな支払い方法	
		なくならない消費者被害	
		消費者を支えるもの	
		消費者の権利と責任	
2学期	5	調理の計画	
		おいしさと調理	
		地域の食文化	
		日本各地の郷土料理	
		献立作り、調理実習	

令和8年度 道徳 I 課程 年間指導計画

単位数1／35

教科書:中学道徳 とびだそう未来へ

配当時数	生徒について	担当者
35	3年Ⅰ課程AB Ⅱ課程A 4名	
年間目標	・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己をみつめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 ・障害による学習上または生活上の困難を認識するとともに、それを改善・克服して、強く生きようとする意欲を高め、明るい生活態度を養い、健全な人生観を培う。	

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・特別活動 などとの関連
4月③	1 自分の思い・相手の思い 「寛容の心をもって、異質な他者とも共生しよう」 【B 相互理解、寛容】	1	絵本『キラキラ』を通して、冷静さを失うと思いきみから判断して取り返しがつかないことをしてしまうおそれがあることに気づき、相互理解を進めて相手を受け入れていこうとする道徳的判断力を高める。	1 自分自身の思いと相手の思いを考える。 ○自分の先入観や思いこみが強すぎて、相手の思いに気づけなかったことはないだろうか。 2 「自分の思い・相手の思い」p.8を読み、考える。 3 「自分の思い・相手の思い」p.9～13を読み、考える。 ●キルのとった行動をどう思うだろうか。なぜこのようなことが起こってしまったのだろうか。 ●自分の思いこみが強すぎて失敗しないためには、どんなことが大切だろう。 4 相互に尊重することの大切さについて考える。 ●お互いの考えや立場を尊重することは、自分や相手にどのような価値をもたらすだろう。	【多面的・多角的に考える】 キルがとった行動に対するその行動の是非や難しさを踏まえ、なぜキリとキラキラでは相互理解ができたのかと、その理由を多面的・多角的に考えている。 【自分ごととして考える】 自分の経験を通して、相互理解が十分でなかったできごとなどを振り返りながら、本時の学びと関連づけている。	美術
	2 藤井聡太の学び方 「自ら進化できる人」 【A 向上心、個性の伸長】	1	杉本さんの藤井さんへの接し方や藤井さんの学び姿勢を考えることを通して、自ら考え学ぶことができる人が進化できる人であることに気づき、自ら進化できる人になるために身につけたい力は何かを考え、実行しようとする実践意欲と態度を育てる。	1 杉本さんと藤井さんの関係性について知る。 ○自ら進化できる人になるために大切なことはなんだろう。 2 「藤井聡太の学び方」を読み、自ら進化できる人とはどのような人かを考える。 ●杉本さんはなぜ、藤井さんに将棋を教えなかったのだろうか。 ●藤井さんのように自ら進化できる人と、そうでない人の違いはなんだろう。 3 自分がこれから身につけたい力は何かを考える。 ●自ら進化できる人になるために、あなたがこれから身につけていきたい力は何だろう。	【多面的・多角的に考える】 他者の意見を聞き、自ら進化できる人とそうでない人の特徴や違いについて新たな考えを見つけている。 【自分ごととして考える】 杉本さんの接し方や藤井さんの学び方を知り、自ら進化できる人になりたいという気持ちをもつとともに、そのために自分に必要な力は何かを考えている。	特別活動
5月③	3 僕は友達を裏切ったのか？ 「真の友情」 【B 友情、信頼】	1	部活動について「僕」と友達の間で起きたことの意味を考えることを通して、個性や価値観の相違を超えた友情の尊さについて考え、よりよい友情を培っていこうとする態度を育てる。	1 友達について考えていることを出し合う。 ○「友達っていいな」と思うのは、どんな時だろう。 2 「僕は友達を裏切ったのか？」を読み、個性の相違を超えての友情の尊さについて話し合う。 ●「僕」は友達から何を与えてもらったのだろう。 ●「僕」は友達を裏切ったのだろうか。みんなで話し合ってみよう。 3 真の友情を培うために自分には何が必要か、考えをまとめる。 ●真の友情をつちかうために必要なものはなんだろう。キーワードを考えよう。	【多面的・多角的に考える】 友情について、登場人物の心情を理解しながら、同じ行動でも、見方や基準によって判断が分かれることがあり、それを認めることの大切さを考えている。 【自分ごととして考える】 真の友情を培っていくうえで自分にとって何が必要なのか、何を補っていかねばならないかを、自らの経験と重ねて考えを深めていくことで自分ごととして捉えている。	特別活動
	4 いのちの花プロジェクト 「生命の尊厳」 【D 生命の尊さ】	1	殺処分された動物の生命について考えることを通して、生命の尊厳に気づき、生命あるものは互いに支え合って生き、生かされていることに感謝の念をもとうとする態度を育てる。	1 ペット（愛玩動物・犬）の現状を知って考える。 ○命の重さについて考えてみよう。 2 「いのちの花プロジェクト」（序盤）を読み、ペットとの関わり方を考える。 ●飼い主の責任にはどんなものがあるだろう。 3 「いのちの花プロジェクト」（中盤）を読み、ペットとの関わり方から生命の尊さを考える。 ●あなたは、この活動についてどう思うだろうか。 4 「いのちの花プロジェクト」（終盤）を読み、ペットの命の連続性や公平性について考えを深める。 5 命の重さについて考える。 ●あなたは、動物たちの命の重さはどう向き合っていこうと思うだろうか。	【多面的・多角的に考える】 殺処分される愛玩動物の問題を通して、生命の尊さ、命の有限性、連続性などの視点を踏まえ、あらゆる命の価値について考えを深めている。 【自分ごととして考える】 自分自身が愛玩動物といかに関わるかを考えることから、命あるものは互いに支え合って生き、生かされていることに感謝の思いをもち、生命を敬おうとする思いを深めている。	総合的な学習

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・特別活動などとの関連
6月④	5 卒業文集最後の二行 「いじめを許さない心」 【C 公正、公平、社会正義】	1	いじめの加害者が抱える自責の念や、被害者の気持ちについて考えることを通して、差別や偏見のない社会を実現していくこととする態度を育てる。	1 「いじめ」について感じていることを出し合う。 ○差別や偏見をなくすために、私たちが考えるべきことはなんだろう。 2 「卒業文集最後の二行」を読み、筆者の「取り返しのつかない心の傷」について話し合う。 ●このできごとが「私」にとって「取り返しのつかない心の傷」になっている理由について考えよう。 ●丁子さんの作文の最後の二行を読んで、あなたはどうか感じただろうか。 ●「全ての人に公平に接すること」をはばんでいるものがあるとしたら、それはなんだろう。話し合ってみよう。 3 差別や偏見をなくすために私たちが努力すべきことを考える。	【多面的・多角的に考える】 クラスメイトの考えや「私」の後悔を、自分の考えと比較しながら、差別や偏見のない社会の実現について考えを深めている。 【自分ごととして考える】 現在も「私」を苛む心の葛藤を捉え、何十年たっても傷が癒えないこと、それは丁子さんのほうがより深刻であることを理解し、いじめについて自らの経験と重ねて考えを深めている。	
	6 あなたは顔で差別をしますか 「互いの個性や立場の尊重」 【B 相互理解、寛容】	1	藤井さんの体験について考えることを通して、それぞれの個性や立場を尊重し、寛容な心をもって相互に理解し、謙虚に他に学び、自らを高めていくこととする態度を育てる。	1 不確かな情報をもとに行動してしまった経験を出し合う。 ○外見だけで人を判断してしまったことはないだろうか。 2 「あなたは顔で差別をしますか」を読み、寛容な心をもつためには何が大切かを考える。 ●藤井さんは自分のどんなところを変えたのだろう。それによってどんな変化が起きたのだろう。 ●藤井さんの生き方から、あなたはどんなことを学んだらうか。 3 他の道徳的価値との関わりを確かめ、学びを深める。 ●差別や偏見のない社会を築いていくためには、どんなことが大切なのだろう。	【多面的・多角的に考える】 相互理解や寛容の心が、差別や偏見のない社会を築くために大切なことだと考える藤井さんの生き方から、差別や偏見をなくすために必要な「知ることの大切さ」などを様々な視点から考えている。 【自分ごととして考える】 差別や偏見のない社会を築くためには、相互理解や寛容の精神が大切だということを、自らの経験を振り返って深く考えている。	社会
	7 昨日より今日、今日よりも明日 「新しいものを生み出すのに大切な心とは」 【A 真理の探究、創造】	1	岸田周三さんの料理を創造する態度を通して、真理を探究して新しいものを生み出し続けるのに大切なことを多面的・多角的に深く考え、粘り強く探究していくこととする態度を育てる。	1 「新しいもの」に感心した経験を出し合う。 ○「よくこのようなものが作れたなあ。」と感心するものはあるだろうか。それを創造した人は、どうやって作り出したのだろう。 2 「昨日より今日、今日よりも明日」を読み、話し合う。 ●岸田さんがバルボさんから学んだことはなんだろう。それはなぜ岸田さんの心に響いたのだろう。 ●岸田さんの考えの中であなたの心にいちばん響いた考えはなんだろう。それはなぜだろうか。 3 創造的な生き方について考える。 ●自分が何かを創造しようとする側に立った時、あなたは何を大切にしたいと思うだろうか。	【多面的・多角的に考える】 岸田氏がバルボ氏から学んだことを、多面的・多角的に捉え、それぞれの学びの関係性について考え、岸田氏に与えた影響や、岸田氏の成長について思いをめぐらせ深く考えている。 【自分ごととして考える】 岸田氏の料理を創造する姿勢を通して、生徒自身の心に響いたことを考え、その理由に自らの経験や生き方が関係していることを自覚し、それを言語化することで、道徳的価値の理解を深めている。	技術・家庭、特別活動
	8 昇き綱 「地域社会の一員として」 【C 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度】	1	「僕」が抱く博多祇園山笠への思いについて考えることを通して、郷土の伝統や地域社会の一員としての自覚の大切さに気づき、郷土を愛し、すすんで郷土の発展に努めようとする態度を育てる。	1 郷土の伝統行事に関わった体験を出し合う。 ○郷土の伝統や文化に触れたり関わったりしたことはあるだろうか。 2 「昇き綱」を読み、地域の伝統や文化のよさや意義について話し合う。 ●「僕」は、博多祇園山笠のどんなところに魅力を感じているのだろうか。 ●あなたがこれから大切にしたい、守っていききたい郷土の伝統や文化のよさはなんだろう。 3 郷土の伝統や文化を、次の世代へ引き継ぐ地域社会の一員としてどうありたいかを考える。 ●地域社会の一員として郷土の伝統や文化とどのように向き合っていきたいか、自分の考えをまとめよう。	【多面的・多角的に考える】 郷土の伝統や文化のよさについて、多面的・多角的に考え、自分たちの地域の伝統や文化への関わり方をそれぞれの立場で考え、多様な関わり方があることを学び合っている。 【自分ごととして考える】 地域社会と自分との関わりの中で、郷土や伝統文化の大切さについて考え、自分が関わっている地域の伝統や文化についての思いを振り返り深めている。	社会、総合的な学習
7月②	9 父のひと言 「責任を全うする」 【A 自主、自律、自由と責任】	1	父が筆者に発した言葉の意味を考えることを通して、責任をもつことの大切さを自覚し、自分の責任を全うしようとする態度を育てる。	1 自分のもっている「役割」を出し合う。 ○自分の役割をきちんと果たしてよかったと思った経験はあるだろうか。 2 「父のひと言」の前半（教科書p.56～57）を読み、「私」の悩んでいる状況を理解する。 3 「父のひと言」の後半（教科書p.58～61）を読み、父がかけた言葉について話し合う。 ●「……おまえのカワソウが寂しがっているぞ……。」という父の言葉は、「私」の生き方にどんな影響を与えただろう。 ●最後まで責任をもって行いたいと思ったことはあるだろうか。なぜそう思ったのだろう。 4 責任を果たすことについての考えをまとめる。 ●責任を果たすことについて、今日の授業で新たに学んだことを出し合おう。	【多面的・多角的に考える】 責任をもつことの大切さについて、様々な道徳的価値とのつながりを踏まえながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 責任をもつことの大切さについて、自分との関わりの中で考えを深めている。	総合的な学習
	10 無限の道 「芸から学んだ人生」 【C 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度】	1	より高い芸を追求する筆者の悩みや葛藤を考える活動を通し、日本の伝統文化を継承・発展させていくことの厳しさを理解するとともに、日本人として日本の伝統文化を大切にしようとする意欲を育てる。	1 日本の伝統文化について知っていることを確認する。 ○あなたが大切にしたい日本の伝統文化はなんだろう。 2 「無限の道」を読み、話し合う。 ●死んだつもりで「生きる」ことを決めた「私」を、あなたは思うだろうか。 ●「何かに向けて精進しているかた」「足踏みしているようなあせりを感じている人」に、「私」はどんなことを伝えたいのだろう。 3 日本の伝統文化と自己の関わりをまとめる。 ●昔から受け継がれてきた日本の伝統や文化と、あなたはどうか関わられるだろう。	【多面的・多角的に考える】 他の人の考えや筆者の生き方を自分の考えと比較しながら、伝統文化を大切に継承していく生き方の苦しさや大切さについて深めている。 【自分ごととして考える】 筆者の葛藤を共感的に捉えながら、今後の伝統文化をどのように見えていくのかを自分の言葉で表現している。	国語
	11 テーブルの卵焼き 「家族の絆」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	大野さんの歌から自分と母親との関係を見つめ直す春菜の姿を通して、父母や祖父母に対する敬愛の念を深め、家族を大切にしようとする態度を育てる。	1 自分と家族との関係を振り返る。 ○家族の大切さを感じるのには、どんな時だろう。 2 「テーブルの卵焼き」を読み、家族の大切さについて話し合う。 ●大野さんがなくなったらお母さんにいちばん伝えたいことはなんだろう。 ●春菜はどうして、「朝の卵焼きが、まだ残っていますように。」と祈ったのだろう。 ●家族の一員として、あなたはこれから、どんな気持ちで家族と向き合うことが大切だろう。 3 家族を大切にすることについて、本時の学習を通して考えたことをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 自分と家族とのよりよい関係について、春菜の思いや大野さんのメッセージ、クラスメイトの考えなどから考えを深めている。 【自分ごととして考える】 家族を大切にして生活することについて、春菜の心情を共感的に捉え、自らの経験と重ねて考えを深めている。	技術・家庭、特別活動

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・特別活動などとの関連
9月③	12 歩きスマホをどうするか 「調和と安全」 【A 節度、節制】	1	歩きスマホの危険性やスマホ使用者の意識を考えたことを通して、スマートフォンとの望ましい付き合い方を考え、節度と節制を心がけ、安全に配慮した生活を送ろうとする心情を育てる。	1 歩きスマホの危険性を考える。 ○歩きスマホが原因となっているトラブルについて、知っていることはあるだろうか。 2 「歩きスマホをどうするか」を読み、この問題をどうすべきかについて話し合う。 ●危ないわかっているのに、歩きスマホをしてしまうのはなぜだろう。 ●歩きスマホをなくすことをはばんでいるものはなんだろう。 ●便利で快適な機器を活用しながら安全で調和のある生活を送るために、どのような心がけが大切だろう。 3 本時の学習を振り返って、自分自身の生き方を振り返る。	【多面的・多角的に考える】 歩きスマホの問題の本質は何かを考え、スマホの特性やマナーとの違いを考えながら、他者への影響や行為の結果を予測し、安全で調和のある生活を送る必要性について考えを深めている。 【自分ごととして考える】 歩きスマホを例に、望ましい生活習慣について自分なりに考え、自分自身の生活習慣と関連づけて安全で調和のある生活を送ることの意味を考えている。	技術・家庭
	13 二通の手紙 「法やきまりの意義」 【C 遵法精神、公德心】	1	規律ある安定した社会の実現を目指し、きまりや法の意義について深く考え、主体的に守ろうとする態度を育てる。	1 「きまり」についてもっているイメージを出し合う。 ○どんな場合でも、きまりは優先されるべきなのだろうか。 2 「二通の手紙」を読み、きまりや法について考える。 ●元さんが晴れ晴れとした顔で身のまわりを片づけ、職場を去っていったのはなぜだろう。 ●姉弟を入園させた元さんの判断を、あなたはもう思うだろうか。 ●きまりや法は、なんのためにあるのだろうか。 3 「きまり」について、自分の考えをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 きまりや法の意義について、話し合いを通して考えを深めている。 【自分ごととして考える】 元さんの言動を踏まえ、遵法について自らの経験と重ねて考えを深め、自分の言葉でまとめ、記述している。	社会、特別活動
10月④	14 僕い 「人間としての誇り」 【D よりよく生きる喜び】	1	加害者、被害者双方の悩み、苦しみ、良心を見つめる主人公の心情を考える活動を通し、人間には弱さや醜さもあるが、それを克服し気高く生きようとする心があることを理解し、人間としてよりよく生きていこうとする意欲を育てる。	1 人間としてよりよくあるとはどういうことかについて関心を高める。 ○人って優しいなと思った経験を思い出してみよう。 2 「僕い」を読み（聴き）、初発の感想を交流し合う。 3 ゆうちゃんと奥さん双方を見つめる僕の思いを通し、二人の心の葛藤を考える。 ●一通の手紙を抱きしめてしゃくりあげるゆうちゃんを、「僕」はどんな気持ちで見つめていたのだろうか。 ●被害者の奥さんの手紙を読んで、「僕」はどんな思いをもっただろう。 ●「人間って哀しいねだってみんなやさしい」とはどんな意味が話し合ってみよう。 4 授業を通して感じたこと、考えたことをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 罪と正面から向き合い贖罪のために生き続けるゆうちゃんと、理不尽に愛する人を奪われてなお、許しを与えた奥さん、それぞれの生き方の気高さを理解している。 【自分ごととして考える】 ゆうちゃんの誠実な生き方と、それによって時間をかけて心が変わっていく奥さん。二人の人間としてのあり方に、そういう人に自分もなりたいたい心が動かされている。	音楽
	15 美佐の進路 「理想の友情とは」 【B 友情、信頼】	1	進路選択に悩む美佐と、由紀、雅司3人のやりとりを通して、高め合う友情を築くために大切なことについて考え、互いを尊重し、励まし合おうとする実践意欲と態度を育てる。	1 理想の友情について考える。 ○理想の友情について考えてみよう。 2 「美佐の進路」を読み、登場人物の人間関係から美佐の悩みについて考える。 3 美佐の悩みを自分ごととして捉えながら、お互いを高め合う友情について深く考える。 ●由紀と雅司が、美佐に気をつかったのはなぜだろう。 ●お互いを高め合う友情を築くために大切なことはなんだろう。 4 改めて、理想の友情について考える。 ●あなたにとって、理想の友情とはどんなものだろう。	【多面的・多角的に考える】 美佐の進路選択の可能性を多面的に検討し、悩む美佐に寄り添う親友の心情を捉え、高め合う友情を築くために大切なことについて考えを深めている。 【自分ごととして考える】 進路選択に悩む美佐の気持ちを共感的に捉え、お互いを高め合える友情のよさに気づき、理想の友達関係を築こうとする意欲を高めている。	特別活動
	16 平和をつなぐ 「つながり合って生きる」 【C 社会参画、公共の精神】	1	平和活動を持続可能なものにしていくための努力について考え議論することを通して、平和な社会づくりに参画することについての考えを深め、日々の生活をよりよくしていくこととする実践意欲と態度を養う。	1 平和な社会の実現のために必要なことについて考える。 ○平和な社会を守るために、どんなことができるだろうか。 2 「平和をつなぐ」を読み、平和活動を継続することの難しさと大切さについて話し合う。 ●住岡さんの「正直迷いました。」という言葉について、どんな迷いがあったと考えられるだろう。 ●「平和をつなぐ」ための活動について、他にどんなやり方や考え方があろう。 3 自分がどのようにつながり合って生きていきたいか、考えをまとめる。 ●学校や家庭の中で日々の生活を継続させ、よりよくしていくために、大切なことはなんだろう。	【多面的・多角的に考える】 他の人と意見交流することを通して、平和な社会づくりに参画し、連帯することについての考えを深めている。 【自分ごととして考える】 平和な社会づくりに参画し、連帯することの大切さと難しさについて考えを深め、今後の日々の生活をよりよくしていくこととしている。	社会、総合的な学習
11月④	17 変わりゆく地球 「未来も地球とともに」 【D 自然愛護】	1	自然や地球のかけがえのなさに気づき、感じたことを伝え合う活動を通じて、自分の活動に新たな価値づけをしたり、クラスメイトの活動に学んだりしながら、自然愛護のためにできることを謙虚に継続していこうとする心情を育てる。	1 地球環境問題について、知っていることを出し合う。 ○あなたはどんな時に、地球のかけがえのなさを感じるだろうか。 2 「変わりゆく地球」を読み、写真から感じたことを考える。 ●地球の環境を取り巻く問題には、どのようなものがあるだろう。 3 教科書に自分の考えを書き、班で意見交換する。 ●将来の世代に、あなたはどんな地球を残したいだろうか。 ●地球とともに生きるために、あなたは何をしようと思うだろうか。 4 本時の学習で考えたことをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 意見を交流させる中で自分とは異なる視点や価値観に出会い、そうした考えをしっかりと受け止めて、地球環境問題についての理解を深めている。 【自分ごととして考える】 地球環境問題と自分とのつながりについて、クラスメイトの考えも参考にしながら具体的に捉え、地球とともに生きるために何をしようと思うか、考えを深めている。	社会、理科、総合的な学習
	18 校長先生の模擬面接 「礼儀の意義」 【B 礼儀】	1	校長先生との模擬面接での愛花のとまどいを通して、時と場に応じた適切な言動について考え、形の根底にある礼儀の意義を理解し、他者に主体的に関わっていくための判断力を育てる。	1 日常生活から、礼儀について想起させる。 ○お互いに気持ちよく過ごすために、ふだん心がけていることはあるだろうか。 2 「校長先生の模擬面接」を読み、礼儀のあり方について話し合う。 ●面接官が「おかけください。」と言わなかったら、どうすればよいだろう。 ●礼儀にとって大切なことはなんだろう。 ●ルールとマナーとエチケットの違いについて話し合ってみよう。 3 本時の学習で感じたことや考えたことをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 ルール、マナー、エチケットの相違点と共通点を話し合い、時と場に応じた礼儀の大切さについて、考えを広げている。 【自分ごととして考える】 時と場に応じた適切な言動について、自らの経験と重ねて考えを深めている。	国語、特別活動
	19 カーテンの向こう 「よりよく生きる」 【D よりよく生きる喜び】	1	ヤコブのとった行動について考えることを通して、人間には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを信じて、誇りある生き方をしようとする心情を育てる。	1 自分の生き方を考える。 ○あなたは、誇りをもてる生き方をしているだろうか。 2 「カーテンの向こう」を読み、「私」の生き方を考える。 ●カーテンの向こうを見た時の「私」は、どんな気持ちだっただろう。 ●あなたは、ヤコブがとった行動をどう思うだろうか。 ●窓ぎわのベッドに移った「私」は、このあとどうしただろう。 3 自分がこれから身につけたい力は何かを考える。	【多面的・多角的に考える】 ヤコブの行動について様々な意見を聞き、誇りをもてる生き方について自分自身の考えを深めている。 【自分ごととして考える】 ヤコブの生き方を捉え直して「私」の行動を考える中から、自分自身の誇りをもてる生き方について考えている。	

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・特別活 動などとの関連
	20 専門家であること 「ともに働く」 【C 勤労】	1	看護師である父の、仕事への取り組み方について考えるを通して、個の役割を果たすことが社会を支えることに気づき、勤労を通して社会に貢献しようとする実践意欲と態度を育てる。	1 クラスメイトの体験談を聞いて医療系職場について考える。 ○「協力」と「協働」の違いはどんなところだろう。 2 「専門家であることを読み、勤労について考える。 ●父が言った「決まった答えはないんだ。」とは、どんなことを意味しているのだろう。 ●異なる役割をもつ人々が協力して働くことのよさは、どんなことだろう。 ●将来、社会の一員として働く時に、あなたはどんなことを大切にしたいだろうか。 3 教師の説話を聞き、本時の学習で考えたことをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 本教材を通して考え合う中で、自他の職場体験学習を、改めてこれまでと違う視点で見つめ直し、過去の一面的な勤労観を脱して、多面的・多角的に考えている。 【自分ごととして考える】 本教材で描かれた場面を参考に、専門性の具体像をつかんでいる。また、そのことが自分の将来とのつながりを考える機会として捉えられている。	特別活動
	21 若者議会 「みんなの一員、社会の一員」 【C 社会参画、公共の精神】	1	若者議会の活動について知ることを通して、特別活動を社会参画の観点から見直し、社会参画や社会連帯についての考えを深め、すでに社会と関わり積極的な生き方を模索しようとする態度を育てる。	1 社会参画意識についての事前アンケートの結果を踏まえ、導入の問いについて考える。 ○社会参画と聞いて、どんなことを思い浮かべるだろうか。 2 「若者議会」を読み、社会参画の意義について話し合ってみよう。 ●これまでの生活で、「よりよい学校づくり、地域づくり」に参加した経験について話し合おう。 ●地域や国の問題を「自分ごととして捉える」とは、どういうことだろう。 ●よりよい社会をつくるために、大切なことはなんだろう。 3 本時の学習で考えたことをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 学校外の活動だけでなく、身近な委員会活動なども、社会参画の一つのかたちであることに気づいている。 【自分ごととして考える】 社会参画を、生徒会活動や学校行事、学級での自分の役割や係活動に置きかえて考え、積極的に参加することの大切さに気づいている。	社会
12月③	22 ひび割れ壺 「自分らしい生き方」 【A 向上心、個性の伸長】	1	ひび割れ壺と水くみ人とのやりとりから、自分の個性を生かして自分らしくよりよく生きるためにはどんなことが大切なのかを考え、実践しようとする意欲を育てる。	1 「個性」について考える。 ○自分らしく生きるとは、どういうことだろう。 2 「ひび割れ壺」を読み、自分らしく生きることにについて話し合おう。 ●最後の水くみ人の言葉から、気づいたこと、考えたことを出し合おう。 ●自分らしく生きるためには、どんなことが大切だろう。 ●あなたが考える「自分の長所・短所」を、もう一度見つめ直してみよう。 3 自分らしく生きるとはどういうことなのか、考えをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 自他の短所や欠点をリフレーミングする活動を通して、「自分らしさ」を見つめ直し、自分らしく生きることにについて考えを深めている。 【自分ごととして考える】 自分らしく生きるために大切にすべきことについて、ひび割れ壺の悩み気持ちを共感的に捉え、自らの経験と重ねて考えを深めている。	
	23 あふれる愛 「世界平和と人類の発展」 【C 国際理解、国際貢献】	1	マザー＝テレサの生き方を通して話し合うことで、人間の存在や価値についての理解を深め、国際的な視野に立って、世界の平和と人類の発展に貢献しようとする実践意欲と態度を育てる。	1 本時の学習テーマについて知る。 ○「あふれる愛」というタイトルから思いつくことを、できるだけたくさんあげてみよう。 2 「あふれる愛」を読み、世界の平和と人類の発展のためには何が大切なのかについて話し合おう。 ●マザー＝テレサが瀕死の人を病院に運んだり、「死を待つ人の家」をつくったのは、どんな思いからだろう。 ●マザー＝テレサの生き方からどんなことを学んだか、話し合ってみよう。 ●国際社会の一員として、他国を尊重し、人々の幸せや平和を実現するために、あなたにできることを考えてみよう。 3 自分は今後、どのように世界平和と人類の発展に関わっていききたいかを考える。	【多面的・多角的に考える】 他の人の意見を共感しながら聞き、他の人の意見と自分の意見を比較して、自分の意見との違いを理解しながら、マザー＝テレサの生き方から学んだことを広げ、深めている。 【自分ごととして考える】 マザー＝テレサの生き方から学んだことを、自分の今後のあり方や行いに結びつけて考えを深めている。	社会
1月③	24 抗議する選手たち 「差別や偏見を許さない心」 【C 公正、公平、社会正義】	1	人種差別に抗議する選手たちの行動から「意識する自分」になりたいと思うようになった主人公の心の変化を感じる活動を通して、自ら積極的に正しい行動を実践することの大切さに気づかせ、公正・公平にふるまおうとする態度を育てる。	1 正しいとわかっていても行動に移せなかったことを想起する。 ○正しいとわかっていて行動に移せないことがあるのはなぜだろう。 2 「抗議する選手たち」を読み、正しいと信じることを行動に移すことの社会的意義について考える。 ●「私」が、自分で答えを見つけるぞという気持ちを強くもつたのは、どうしてだろう。 ●「意思表示することは、基本的人権」とは、どういう意味だろう。 3 公平・公正に生きるために大切なことを考える。 ●「意識する自分」になるために大切なことはなんだろう。	【多面的・多角的に考える】 話し合いの中で、他の人の意見と自分の考えを比較しながら、自分の考えをより深めようとしている。 【自分ごととして考える】 教材を通して、日常生活での「正しいとわかっていても行動に移せない経験」を想起し、その原因と改善の方向性を探ろうとしている。	社会
	25 サルも人も愛した写真家 「自然との共存」 【D 自然愛護】	1	野生動物と人間の共存についての葛藤を通して、自然と人間、自己との関わりについて考えを深め、自然との調和の中で生かされていることを自覚し、共存していくこととする態度を育てる。	1 野生動物による被害について知っていることを出し合う。 ○自然を守り、自然と共存するとは、どういうことなのだろう。 2 「サルも人も愛した写真家」を読み、自然を守り、自然と共存することについて話し合おう。 ●サルによる被害に遭ったおばあさんから言われた言葉を、松岡さんはどう受け止めたのだろう。 ●あなたが松岡さんの立場なら、サルの駆除に協力するだろうか、しないだろうか、それはなぜだろう。 ●人間が生活していくことと、自然を守ることとの関わりについて考えよう。 3 自然と共存するあり方について考えをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 自分たちの生活を守ることも野生動物の命を守ることも大切であるということについて、松岡さんの心情を理解し、村人たちの背景も踏まえて考えを深めている。 【自分ごととして考える】 サルを愛し、自然との共存を願っている松岡さんの葛藤を共感的に捉え、自分だったらどうするかという視点で考えを深めている。	理科、総合的な学習
	26 家族の思いと意思表示カード 「かけがえのない生命の尊重」 【D 生命の尊さ】	1	意思表示カードに記された姉の思いと、家族の思いを通して、生命をどのように大切にするかを考え、かけがえのない生命を尊重しようとする心情を育てる。	1 臓器移植について考える。 ○臓器提供について、さまざまな考えがあるのはなぜだろう。 2 臓器提供意思表示カードについて考える。 ●父の考えと母の考えを、それぞれどう思うだろうか。 ●「命を大切にすること」とは、どういうことだろう。 ●あなたは、臓器提供意思表示カードにどんな意思を示そうと思うだろうか。 3 自分の命をどう生かすか考える。	【多面的・多角的に考える】 自分とは異なる人の意見に耳を傾け、その理由を理解することで、自分の死生観を問い直し、生命の尊さについての考えを深めている。 【自分ごととして考える】 自分だったら意思表示カードにどんな意思を示すかを考えることから、かけがえのない生命への思いを深めている。	社会
2月④	27 片足のアルペンスキーヤー・三澤拓 「目標に向かう強い意志」 【A 希望と勇気、克己と強い意志】	1	夢に挑戦し続けている三澤さんの生き方から、その原動力となっているものについて考え、目標を実現するために希望と勇気をもって実行し、困難に屈せず粘り強くやり抜こうとする実践意欲と態度を育てる。	1 将来の夢や目標について考える。 ○あなたは今、どんな夢や目標をもっているだろうか。 2 「片足のアルペンスキーヤー・三澤拓」を読み、夢や目標をもった生き方について話し合おう。 ●三澤さんが競技人生を続ける原動力となっているものはなんだろう。 ●三澤さんの生き方から学んだことを出し合おう。 3 自分自身の夢や目標を見つめ直し、それにどう向かっていくのかを考える。 ●自分の夢や目標を実現するためにこれから取り組みたいと思っていることをあげてみよう。	【多面的・多角的に考える】 夢の実現に向けて挑戦し続ける三澤さんの原動力となっているものについて、意見交流や話し合いを通して多面的・多角的に考えている。 【自分ごととして考える】 自分の夢や目標を実現するために、これから取り組みたいことについて考えを深めている。	保健体育
	28 足袋の季節 「思いやりの心、人間愛」 【B 思いやり、感謝】	1	おばあさんの思いやりに感謝し、自分の弱さを見つめ、たくましく生きる「私」の生き方考えることを通して、多くの人々の善意により今の自分があることに気づき、思いやりあふれる人間愛の精神を深めようとする態度を育む。	1 本時の学習テーマをつかむ。 ○「あのことがあるから今の自分がある」と思った経験はあるだろうか。 2 「足袋の季節」を読み、思いやりについて話し合おう。 ●「私」が「むしろ自分に腹が立った」のは、どうしてだろう。 ●「私」が「あのおばあさんが、私にくれた心を、今度は、私が誰かにさしあげなければ」と考えたのは、どんな気持ちからだろう。 ●人が人を感じる気持ちについて、自由に話し合ってみよう。 3 本時の学習を振り返り、自分自身の生き方を見つめる。	【多面的・多角的に考える】 「思いやり」について、その場で目に見えるものだけでなく様々な人たちの思いやりがあること、人は「思いやり」で支えられて生きていることなどを、多面的・多角的に考えている。 【自分ごととして考える】 「私」の葛藤を共感的に捉え、自らの経験と重ねて考えを深めている。	

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・特別活 動などとの関連
3月 ②	29 旅立ちの日に 「集団の一員として」 【C よりよい学校生活、集団 生活の充実】	1	卒業式に臨む姿勢を考えることを通して、自分たちの学校を改めて見つめ直し、学校の一員として自分にできることは何かを考えようとする態度を育てる。	1 これまで参加してきた卒業式を振り返る。 ○卒業式は、誰のために、なんのためにあるのだろう。 2 「旅立ちの日に」を読み、卒業式の意義について話し合う。 ●「なんとなく口だけは開けて」歌っていた「僕」は、どんなことを考えていたのだろう。 ●「僕も本気で歌うよ！」と大声で言った「僕」は、何に気づいたのだろう。 ●学校の一員として、あなたは誰に、何を伝え、何を残して卒業していきたいだろうか。 3 3年生として卒業式にどう臨みたいか、自分の考えをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 卒業式に関係する様々な人の立場に立つて考えることで、3年生として卒業式にどのように臨むとよいか、考えを深めている。 【自分ごととして考える】 卒業式は、誰のために、なんのためにあるのかについて、「僕」の葛藤を共感的に捉え、自らの経験と重ねて考えている。	特別活動
	30 もう一つの時間 「自然と自己との関わり」 【D 感動、畏敬の念】	1	筆者が自然と向き合う中で考えたことを通して、人間の力を越えたものに美しさや気高さを感じ、自然の中で生かされていることを自覚し、そのことに特別な喜びを感じる心を育み、自己のあり方や生き方を深めようとする心情を育てる。	1 2枚の写真から、教材への関心を高める。 ○自然の風景に心を動かされたり、自然の不思議さを感じたりしたことはあるだろうか。 2 「もう一つの時間」を読み、人間と自然の関わりについて考える。 ●「全てのものに平等に同じ時間が流れている不思議さ」とは、どういうことだろうか。 ●「僕」はなぜ、もう一つの時間が流れていることを意識できるかどうかは、天と地の差ほど大きいと考えるのだろうか。 3 星野さんのメッセージを通して考えたことを、自分なりにまとめる。 ●2枚の写真から、あなたが感じたことを書いてみよう。	【多面的・多角的に考える】 人間と自然、自分と自然との関わりについて筆者やクラスメイトの考えを共感的に捉え、多面的・多角的に考えを深めている。 【自分ごととして考える】 悠久の自然は人間の力が及ばない存在として認識し、人間としてどう生きるかについて、自らの感覚や経験と重ねて考えを深めている。	国語
補 充 教 材	31 駐車場係として 「自分にできること」 【A 自主、自律、自由と責任】	1	自分の役割を放棄して試合を見に行こうとした「僕」の心情と行動の是非を話し合うことを通して、自分の役割を忠実に果たすことの大切さに気づき、責任ある行動をとるための判断力を育てる。	1 裏方の役割を担った経験を出し合う。 ○自分の役割を最後までやりとおせなかった経験はないだろうか。 2 「駐車場係として」を読み、役割を誠実に果たすことの意義について話し合う。 ●キャプテンの試合を見ようとしてコートに向かった「僕」を、あなたはと思うだろうか。 ●「僕」が駐車場係の仕事に戻ったのは、どんな気持ちからだろう。 3 自分の行動を決める時に大切にすべきことを考える。 ●自分の行動を決める時に大切なことは何か、考えてみよう。	【多面的・多角的に考える】 自分の役割を誠実に果たすことの大切さについて、今自分がおかれている状況や他者への影響という視点から考えを深めている。 【自分ごととして考える】 自分の役割を誠実に果たすことについて、「僕」の葛藤を共感的に捉えながら、自らの経験と重ねて納得解を導き出している。	特別活動
	32 憧れの消防団 「社会連帯の自覚」 【C 社会参画、公共の精神】	1	「僕」と消防団との交流を通して、社会連帯の意義と価値についての理解を深め、社会をよりよくするために主体的に関わっていこうとする実践意欲を育てる。	1 ボランティア活動の経験について出し合う。 ○ボランティア活動をした時、どんな気持ちだっただろうか。 2 消防団について理解する。 3 「憧れの消防団」を読み、社会の一員としてどう行動すべきか話し合う。 ●「いつか僕もその一員になれたらと強く思う」主人公を、あなたは思うだろうか。 ●ボランティア活動で大切なことはなんだろうか。 ●社会の一員として生きるといことはどういうことだろうか。 4 本時の学習で感じたことや考えたことをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 社会連帯の意義や価値について、様々な立場や場面から多面的・多角的に考えを深めている。 【自分ごととして考える】 「僕」の心情を共感的に捉え、自分の体験と重ね合わせ、社会をよりよくするために自分なりの関わり方を見つけようと考えを深めている。	社会、総合的な学習
	33 世界に誇る「BONSAI」 「日本の伝統・文化の継承」 【C 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度】	1	盆栽師・加藤三郎の思いを通して、社会連帯の意義と価値についての理解を深め、社会をよりよくするために主体的に関わっていこうとする実践意欲を育てる。	1 日本の伝統文化で連想するものを出し合う。 ○日本の伝統文化には、どのようなものがあるだろうか。 2 「世界に誇る『BONSAI』」を読み、日本の伝統や文化について考える。 ●留吉は、戦争中、どんな思いで盆栽を守り続けたのだろうか。 ●（エゾマツ、おまえ、出世したなあ……。）には、三郎のどんな思いがこめられているだろうか。 ●日本の伝統文化を絶やさないためには、どんな思いが大切だろうか。 3 日本のよさについて、自分との関わりから考えを深める。	【多面的・多角的に考える】 盆栽を守り広めてきた先人の思いを捉え、時代の推移の中で伝統文化のよさについて考えを深めている。 【自分ごととして考える】 興味をもって教材に向かい、日本の伝統や文化のよさや、自分がこれからどう向き合っていくかについて考えを深めている。	総合的な学習
	34 琵琶湖とともに 「環境を守る」 【D 自然愛護】	1	汚染された琵琶湖をよみがえらせるために県民一人一人が果たした役割の大きさに気づき、環境を守るためにできることをしていきたいという実践意欲を養う。	1 ポスターをもとに、環境問題との向き合い方について話し合う。 ○身近な環境問題と向き合うために大切なことはなんだろうか。 2 「琵琶湖とともに」を読んで、環境を守るために大切なことを話し合う。 ●琵琶湖をよみがえらせることができたのはどうしてだろう。 ●琵琶湖はよみがえったのに、新たな取り組みをしているのはどうしてだろう。 3 身近な環境問題との向き合い方について話し合う。 ●身近な環境問題と向き合うために、滋賀県の取り組みから学べることはなんだろうか。	【多面的・多角的に考える】 自然環境を守るためには、一人一人の意識の高さや行動だけでなく、県などの自治体との協働も大切であることに気づき、目の前の環境問題だけでなく、持続可能な活動にいくことの必要性について考えている。 【自分ごととして考える】 滋賀県の取り組み（MLGs）を、地域の環境問題を見直すヒントにして、自分にできることから始めようとする意識が芽生えている。	社会、理科
	35 カムイモシリとアイヌモシリ 「自然への畏敬」 【D 感動、畏敬の念】	1	アイヌ民族における自然との関わり方について考え議論することを通して、自然の中で生きることへの考えを深め、自然への畏敬の念をもちながら自然と共存していこうとする実践意欲と態度を養う。	1 自分を取り巻く自然の捉え方について考えを出し合う。 ○あなたは、どんな時に、自然のありがたさや偉大さを感じるだろうか。 2 「カムイモシリとアイヌモシリ」を読み、アイヌの人々の自然の捉え方と関わり方から人間の力を越えたものについて話し合う。 ●アイヌの人たちは、自然をどのように捉えているだろうか。 ●アイヌの人たちが考える「人間と自然とのよい関係」から、どんなことを感じただろう。 3 自分が自然をどのように捉え関わっていきたいか、考えをまとめる。 ●あなたはこれから、自然とどのように向き合っていこうと思うだろうか。	【多面的・多角的に考える】 自然と人間の関係や自然とともに生きるための態度について、アイヌの人々の自然観と生き方を理解し、他の人の多様な意見と交流しながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 自然への畏敬の念をもって共存していくために大切にすべきことについて、自らの生活や将来の社会的活動に生かせるように、考えを深めている。	社会

配当時数		生徒について	担当者
35		3年 I 課程AB II 課程A 4名	
年間目標		(知及技)探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身につけ、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。 (思判表力) 実社会や実生活と自己との関わりから知を見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (学・人) 探究的に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。	
学期	時数	学習内容	学習目標及び評価の観点
1	13	進路学習①（希望進路調査）	・自分の進路について考えることができる。(思)
		進路学習②（キャリアパスポート）	・希望する進路を実現するための方法を考えることができる。(主)
		進路学習③（専攻科授業見学）	・自分の良さや興味に気づき、将来の進路にちて主体的に考える力を育てる。(思)
		進路学習④（専攻科授業見学振り返り）	・専攻科授業見学で学んだことを整理し、自分の考えをまとめることができる。(思)
		平和学習	・平和講話等を通して、平和について考えることができる。(思)
		キャリア探究①（社会の仕組みを知る）	将来の生活を見据え、金融機関や公共機関の役割及び収入・支出の仕組みについて知ろう(知・技)
2	14	文化祭に向けて	・文化祭での自分の役割確認や目標設定を行う。(主)
		校外学習に向けて	・実施計画を確認し、校外学習の行程等を確認する。(知)
		進路学習⑤（進路講話）	・講話を通して、自己の進路実現に向けて考えることができる。(思)
		交流学习 1（南風原中学校）	・他の中学校との交流を通して、お互いを理解する機会とする。(思)
		交流学习 2（開邦中学校）	・他の中学校との交流を通して、お互いを理解する機会とする。(思)
		ウォークラリーに向けて	・ねらいを理解し、目的達成のため、調べ学習を行う。(思)
		交流学习 2（居住地交流）	・他の中学校との交流を通して、お互いを理解する機会とする。(思)
		2学期の行事のまとめ(キャリアパスポート)	・行事における自分の役割達成を振り返る。(主)
		キャリア探究②（働くことと生活を結ぶ）	・働くことの意義や給与、税金、社会保険の基礎について理解し収入に応じた生活のあり方を考える。(知) (思)
3	8	進路学習⑥（中学部キャリアパスポートまとめ）	・次年度に向けての心構えと、これからの学習について考える。時間を有効に使えたか確認する。(思)
		進路学習⑦（進学後の生活シュミレーション）	・1年間の学習を振り返り、中学生としての自覚と役割を考える機会とする。(思)

令和8年度 特別活動 I 課程/II 課程A 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
35		3年 I 課程AB II 課程A 4名	
年間目標		(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身につけるようにする。 (思判表力) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようになる。 (学・人) 自主的・実践的な集団活動を通して身につけたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。	
学期	時数	学習内容	学習目標及び評価の観点
1	13	学級開き	・ 1 年間の学級目標を同級生とともに考え、設定する。(思)
		係活動を決めよう	・ 話し合いを通して係活動を決定し、学級の一員として役割と責任を果たそうとする態度を育てる。(思) (主)
		春の遠足	・ 新しい先生、友達と親睦をはかることができる。(主)
		生徒会活動① (歓迎会)	・ 生徒会の一員としての自覚を持ち、新入生や新任の先生を歓迎する会の実施に向けて、話し合い活動を通して内容を決定し、主体的に準備に取り組むことができる。(主) (思・判・表)
		生徒会活動② (生徒総会)	・ 生徒総会に参加し、役員としての役割を認識し、発表をすることができる。(思・判・表)
		火災避難訓練	・ 避難訓練時の注意点を確認し、出火場所や避難場所の確認をし、教師とともに安全に避難することができる。(知・技)
		交流及び共同学習① (沖縄ワールド)	・ 伝統的なおりの体験を通して、技能や文化への理解を深め、仲間と協力して作品を完成させる達成感を味わう(知・技) (主)
		生徒会活動③ (合同レクを考えよう)	生徒会の一員としての自覚をもち、合同レクリエーションの目的や内容を話し合い活動を通して企画し、協力して準備・運営に取り組む。(思・判・表) (主)
		1学期を振り返ろう	・ 1 学期の学校生活を振り返り、よりよい生活につなげるために、夏休みの過ごし方について考える。(思・判・表) (主)
2	14	文化祭に向けて	文化祭の目的を知り、活動に自主的に参加する(思・判・表)
		交流及び共同学習② (校外学習)	校外学習の行き先や内容、予算等について話し合い活動を通して自治的に決定し、協力して計画・実施する態度を育てる。(知・技) (思・判・表) (主)
		保健講話	健康で安全な生活を送るために、自己の生活を見直し、感染防止に主体的に取り組もうとする態度を育てる。(主)
		総合防災避難訓練	・ 地震・津波、火災等それぞれの災害時の避難の違いや注意点などに気づくことができる。(思・判・表)
		生徒会活動④ (合同レクを考えよう)	生徒会の一員としての自覚をもち、合同レクリエーションの目的や内容を話し合い活動を通して企画し、協力して準備・運営に取り組む。(思・判・表) (主)
		2学期を振り返ろう	・ 2 学期の学校生活を振り返り、よりよい生活につなげるために、長期休みの過ごし方について考える。(思・判・表) (主)
3	8	生徒会活動⑤ (生徒会長選挙)	・ 生徒会についてその活動や意義を理解し、役員としての活動を意識して行動できる。(知)
		生徒会活動⑥ (生徒会長認証式)	・ 生徒会役員の決定に対して、自己ができる係活動や役割を担うために協力することができる。(主)
		交流及び共同学習③ (校外学習)	校外学習の行き先や内容、予算等について話し合い活動を通して自治的に決定し、協力して計画・実施する態度を育てる。(知・技) (思・判・表) (主)
		卒業式リハーサル/卒業式	卒業生としての自覚をもち、これまで支えてくれた人々への感謝の気持ちを表しながら、卒業式に主体的に参加する。(主)

令和 8年度 中学部 3年（Ⅱ課程Aグループ） 国語科 年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	1名		国語6年 創造（光村図書）

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標	（知及技）日常生活や社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 （思判表力）順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。 （学・人）言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合ったりしようとする態度を養う。			
学期	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して実施	（学）詩のリズムを楽しむ。	（主）詩の朗読を楽しむ事ができる。	・ 詩の朗読	・ 詩を朗読したり、転写（写本）をしたりして、詩のリズムを楽しむ。
	（知）一年の行事を知り、季節感を身につける。	（知）興味をもって季節について学習をすることができる。	・ 季節を感じる	・ 季節の様々な節句や行事に関する話を聞いた り、触察したりして季節を感じる。 ・ 各季節の俳句を作る。
	（知）点字盤を使用して50音を正しく書き読み取る。	（知）指使いやマスあけを正確に理解する。	・ 点字（読む・書く）	・ 転写で、書く能力を高める。
	（知）小学3年生までの漢字の読み書きができる。	（知）小学3年生までの漢字を書くことができる。	・ 漢字（読む・書く）	・ ドリル学習で、漢字を覚える。
1学期（34）	（知）主述の関係や助詞の使い方を確認する。	（知）文の成分を認識し、正しく使うことができる。	・ 文の成分を理解する	・ クイズやドリル学習で、正しい言葉の使い方 に慣れる。 ・ 様子や気持ちを表す言葉がたくさんあることを 知り、他の言葉に置き換えたりする。
	（思）5W1Hを使って、短文や作文を書く。	（知）5W1Hを使って、短文や作文を書くことができる。	・ 作文を書く	・ 行事の感想や課題に沿った作文や短文を書く。
	（思）平和について考える。	（思）平和について考えることができる。	・ 平和学習	・ 学校行事とリンクさせて、平和学習に取り組 む。
2学期（45）	（知）敬語について学ぶ。	（知）敬語を正しく使うことができる。	・ 正しい言葉の使い方	・ 敬語の種類を確認し正しく使う。
	（知）日常生活で体験したことを話す能力を身につける。	（知）（思）体験したことなどをわかりやすく話すことができる。	・ 会話をしよう（話す） （コミュニケーション）	・ 学校の行事や家庭で経験したことについて話 す。 ・ ニュースやラジオなどで知ったことについて発 表する。
	（思）体験したことを自分から積極的に話せるようになる。	（思）自分の気持ちを言葉にして表現できる。	・ 話を聞こう	・ 絵本の読み聞かせを聞く。
	（学）絵本に親しみ、話の面白さに触れる。	（主）絵本に興味をもつことができ る。	・ 話を発表しよう （話す・聞く）	・ 話のあらすじや登場人物について話す。 ・ 話を聞いての感想を発表する。
	（学）校内意見発表会に参加する。	（知）（思）話の内容を簡単に言うことができる。 （主）発表し、話を聞くことができ る。	・ 校内意見発表会	・ 自分の意見をみんなの前で発表し、仲間の話を 聞く。
	（思）文化祭に主体的に取り組む。	（思）文化祭の感想を発表できる。	・ 文化祭に取り組む	・ 文化祭の取り組み経過を整理し、感想を話す。
3学期（26）	（知）郷土の言葉を知り、興味をもって生活の中で使う。	（知）興味をもって方言の学習をし、積極的に使うことができる。	・ 方言を使おう（言葉）	・ 身近な方言の学習、沖縄昔話の読み聞かせで方 言を聞き慣れる。
	（知）ことわざや慣用句を学ぶ。	（知）生活の中で使うことができ る。	・ 言葉の学習	・ いろいろなことわざや慣用句を覚える。
	（思）一年を振り返り、進級卒業に向け考える。	（知）一年を振り返り、新年度に向 けての作文を書くことができる。	・ 一年を振り返る	・ 一年の思いや進級・卒業に向けて思いを綴る。
留意点引継ぎ等	小学校6年生国語の教科書を中心に学習を進めていく。（別紙：小学校6年国語年間指導計画）			

令和8年度 社会科（Ⅱ課程A） 社会科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
70	3学年 1名		小学社会4年、5年、6年（教育出版） 社会☆☆☆☆☆ 社会☆☆☆☆☆

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 身近な地域の生活を守るための諸活動や歴史事象について知ることができる。 (思判表力) 我が国の主な都道府県や沖縄県の地名や産業などについて諸資料などから調べることができる。また、調べたことをまとめ記録し、発表することができる。 (学・人)学んだことを主体的に日常生活の事柄に関連付けることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技) 社会に関する基本的な制度について理解する。 (思判表力) 社会生活ときまりとの関連を考え、表現することができる。 (学・人) 生活の中でのニュースや話題になっていることと関連づけることができる	(知・技) 家庭、学校、地域で快適に暮らすための決まりにはどのようなものがあるか知る。 (思・判・表)家庭・学校などで責任をもって自分の役割を果たすことその他に、どのようなことができるか考えようとしている。 (主学)地域には、どのような決まりがあるか考えようとしている。	安全で快適な地域生活を目指して 役割と責任 社会生活に必要なきまり 憲法記念日について	・こども新聞、ipadなどを活用して、関連情報を調べる。
		(知及技) 県内の主な歴史を手掛かりに、先人の働きや出来事、文化遺産などを知ることができる。 (思判表力) 歴史的背景や現在に至る経緯などに着目し、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、それらの特色を知ることができる。 (学・人) 82年前の沖縄での様子を知ることができる。	(知・技) 沖縄戦と学童疎開について諸資料を通して知る。 (思・判・表) 対馬丸の本などから戦争はどのような出来事か考えようとしている。 (主学) 慰霊の日について考えようとしている。	平和学習 沖縄戦と学童疎開	・平和記念資料館などでの展示資料や、パンフレットやHP、本などの諸資料より調べる。 ・朝日中高生新聞などの新聞記事などの資料も参考に調べる。
		(知及技) 社会に関する基本的な制度について理解する。 (思判表力) 社会生活ときまりとの関連を考え、表現することができる。 (学・人) 生活の中でのニュースや話題になっていることと関連づけることができる。	(知・技) 社会参加に必要な法として道路交通法や民法などについて学習する。 (思・判・表) 社会生活にきまりがあるのはなぜか考え、その意義について考えようとしている。 (主学) ニュースを活用して政治と暮らしのかかわりについて考えようとしている。	社会参加に必要な法 身近な暮らしと政治 憲法とわたしたちの暮らし	・こども新聞、ipadなどを活用して憲法や政治参加に関する話題を調べる。
2 学期	28	(知及技) 各都道府県の地理的位置と人々の生活の様子を理解する。 (思判表力) 各県の地理的特徴を知り、その地域の特産物や人々の生活の様子を捉え、表現することができる。 (学・人) 生活の中でのニュースや話題になっていることと関連づけることができる。	(知・技) 地球儀や日本地図を活用して各県の地理的位置や日本の位置を捉える。 (思・判・表) 各県に関連する話題と結びつけて、ニュースなどの記事より調べまとめようとしている。 (主学) 日本の国とかかわりのある世界の国々から興味がある国を選び調べようとしている。	農家の仕事（特産品のあまおう） 品物の産地を調べよう	・拡大地図、立体地図、立体パズルなど活用し、日本からの距離などをイメージする。 ・都道府県の情報を、新聞記事、ipadなどを活用して収集する。
		(知及技) 世界の文化や風習の特徴の違いを知る。 (思判表力) 世界の各国の生活や慣習などに着目して、多様な文化について日本との違いを考えることができる。 (学・人) 生活の中でのニュースや話題になっていることと関連づけることができる。	(知・技) 韓国やサウジアラビアの国々の人々の暮らしを知り、その文化や風習の特徴を理解しようとしている。 (思・判・表) 世界各国と日本の文化や慣習の違いを比較し考えようとしている。 (主学) 世界各国の国から興味があるか国を選び調べようとしている。	日本と世界のつながり サウジアラビアの暮らし 韓国の暮らし 輸入品と輸出品	・都道府県の情報を、新聞記事、ipadなどを活用して収集する。 ・スーパーなど小売店のチラシから、外国産の商品を調べる。 ・商業施設の食料品売り場での様子を観察して、消費者の利用の様子と外国産の商品を探し、輸出入について学習する。
3 学期	18	(知及技) 家庭や学校、地域社会でのきまりは、社会生活を送るために必要であることを理解する。 (思判表力) 社会生活に必要なきまりの意識について考え、表現することができる。 (学・人) 生徒会活動の役割に気づくことができる。	(知・技) 選挙で代表を選ぶことの意味を理解している。 (思・判・表) 生徒会役員が学校行事などを進める意識や役割を考えようとしている。 (主学) 生徒会役員としての活動を通して、役割の大切さを感じることができる。	生徒会役員選挙 市町村選挙や市議会選挙など 国政選挙と私たちの暮らし	・那覇市役所の市長や市議員の仕事や役割について、那覇市の広報やHPなどから調べる。 ・実際に生徒会役員の経験を重ねることによって、地域で市長や市議員が果たす役割について考える。
		(知及技) 身近な公共施設や公共物の役割が分かる。 (思判表力) 社会生活ときまりとの関連を考え、表現することができる。 (学・人) 将来、どのような時に市役所を利用するのか知る。	(知・技) 税金の使い道は、どのように決まるのか理解している。 (思・判・表) 県や市町村の議会で話し合われることが私たちの生活でどのようなかかわりをもっているか考えようとしている。 (主学) 実際にどのような要件で市役所を訪ねるのか調べようとしている。	市役所の働きと役割 福祉サービスなどの利用 身の回りの税金	・市役所での業務について、地域の住民の利用について調べる。 ・福祉サービスや公共衛生など、身近な生活に結びついていることをHPなどから調べる。 ・家族や周りの人へ、実際にどのような時に市役所を訪れたか聞き取りで調べる。
留意点 引継ぎ等		・年間を通して、学習内容の話題と関連のあるニュース記事などを取り上げる。 ・季節の野菜や果物、米作りについての話題を取り上げる。 ・地域の公共施設や商業施設の利用、首里城見学などの校外学習を実施しながら学習を深める。 ・税金に関する講話等に参加する。（3学期） ・見え方の配慮と視覚補助具の活用など学習環境を月ごとに確認する。			

令和8年度 数学科 II A 課程 年間指導計画

配当時数		生徒について		担当者	
105		3年ⅡA 課程 1名			
年間目標		(知識及び技能)数量や図形などについて理解を深め、基礎的な計算や測定・測量についての知識や技能を身につける。 (思考力、判断力、表現力等)身の回りの事象や問題場面を解釈及び判断したり、考察したりする力を養う。 (学びに向かう力・人間性等)学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
学 期	単元・題材の目標		単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
I 学 期 35 時 間	(知及技) 単位量あたりの大きさの考えを用いて、異種の2つの量の割合として捉えられる数量を比べたり表したりすることができる。 (思判表力)面積と人数の関係によって混みぐあいを捉える場合のように、異種の2つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じた大きさの比べ方や表し方を考えている。時間と道のりの2つの量の関係に着目し、単位量あたりの考えをもとに速さの比べ方や表し方を考えている。 (学・人)混みぐあいや速さなどの比べ方や表し方について、数学的に表現・処理したことを振り返り多面的に検討してよりよい方法を見いだそうとしたり、生活や学習に活用しようとしていたりしている。		(知・技)速さなど単位量あたりの大きさの意味及び表し方について理解し、それを求めることができる。 (思・判・表)異種の2つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を考察し、それらを日常生活に生かしている。 (主学)異種の2つの量の割合として捉えられる数量について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。	・単位量あたりの大きさ	・単位量あたりの大きさ ・速さ ・学んだことを使おう

	(知及技)分数を小数で表したり、分数と小数の大小を比べたりすることができる。小数を分数で表したり、整数を分数で表したりすることができる。 (思判表力)整数の除法の結果は分数を用いて表せることを、分数の意味や表現をもとに図を用いるなどして考えている。 (学・人)分数の表現について多面的に捉えようとするとともに、その表現を振り返り、分数の意味についてまとめようとしている。	(知・技)整数の除法の結果は、分数を用いると常に1つの数として表すことができることを理解し、整数や小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりすることができる。 (思・判・表)分数と整数、小数の関係を考えたり、分数の表現に着目して分数の意味をまとめたりしている。 (主学)分数について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。	・わり算と分数	・商を表す分数 ・分数と小数、整数 ・分数倍
2 学 期 40 時 間	(知及技)ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることや、百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求めることができる。 (思判表力)日常の事象における数量の關係に着目し、図や式などを用いて、ある2つの数量の關係と別の2つの数量の關係との比べ方を考察し、それを日常生活に生かしている。 (学・人)割合について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え	(知・技)割合の意味と表し方、$\text{割合} = \text{比較量} \div \text{基準量}$の關係を理解している。百分率と「パーセント(%)」の意味を理解し、百分率を用いて表すことができる。 (思・判・表)割合を$(1 \pm a)$とみる問題の解決のしかたを図や式などを用いて考えている。日常生活の場面の問題解決に割合を活用し、判断の理由を言葉や式などを用いて考え表現している。 (主学)割合を用いて比べるような具体的な場面について、その意味や比べ方を粘り強く考えたり、生活や学習に活用	・割合	・割合の表し方 ・百分率

	検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。 (知及技)割合を表すグラフとして、円グラフや帯グラフの特徴を理解し、よみ取ることができる。 (思判表力)データからよみ取った結論について多面的に考察している。 (学・人)データを分析したりグラフに表したりすることについて、目的意識をもって主体的に考えたり、得られた結論について多面的に捉え考察したりしようとしている。 (知及技)底辺と高さについて知り、平行四辺形の面積の公式を理解し、用いることができる。 (思判表力)図形の面積の求め方を、既習の求積可能な図形の面積の求め方をもとに考えている。また、見いだした求積方法や式表現を振り返り、公式を導きだしている。 (学・人)平行四辺形などの面積の求め方について	しようとしていたりしている。 (知・技)円グラフや帯グラフの特徴について理解し、表したりよみ取ったりすることができる。また、データの収集や適切な手法の選択など統計的な問題解決の方法を知っている。 (思・判・表)目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察している。 (主学)データの収集とその分析について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。 (知・技)平行四辺形、三角形、台形、ひし形の面積の計算による求め方について理解し、それらの面積を公式を用いて求めることができる。 (思・判・表)図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方を見いだしているとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導いている。	・割合とグラフ ・四角形や三角形の面積	・割合とグラフ ・平行四辺形の面積 ・三角形の面積 ・高さと面積の関係 ・いろいろな図形の面積 ・およその面積
--	---	---	-----------------------------------	---

	粘り強く考えたり、その過程を振り返り見方や考え方のよさに気づき、ほかの図形の面積の求め方を考える場合にも活用しようとしていたりしている。	(主学) 四角形や三角形の面積について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。		
3 学 期 30 時 間	(知及技) 正多角形の意味や性質を理解している。円周率の意味や、円周率＝円周÷直径の関係、円周率は3.14 を用いることを理解している。 (思判表力円周と直径を測定する活動をとおして、どんな大きさの円でも円周と直径の割合は一定であることを見いだしている。) (学・人) 既習の図形の見方などをもとに、正多角形の性質や構成のしかたを主体的に考えようとしている。また、円周率について帰納的に考えて見いだしたりしたことを振り返り、数学のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。	(知・技) 円と関連させて正多角形の基本的な性質について理解し、正多角形を作図することができる。また、円周率の意味について理解し、円周の長さや直径の長さを求めることができる。 (思・判・表) 図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成のしかたを考察したり、図形の性質を見だし、その性質を筋道を立てて考え説明したりしている。 (主学) 正多角形と円について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。	・ 正多角形と円	・ 正多角形 ・ 円周の長さ

令和 8 年度 中学部 3年（Ⅱ 課程A）理科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	3年 1名		新しい理科6年(東京書籍)

目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 自然や生き物に興味を持ち五感を活用して積極的に観察し、発見したことを発表することができる。 (思判表力) 観察、実験から疑問を持つ力と予想を立てる力を養う。 (学・人) 学びを日常生活に関連付けたり、生活に活かしたりすることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通年	35	(知及技) 季節の変化による動植物の様子を観察することができる。 (思判表力) 自分の気づきを発表することができる。 (学・人) 気象情報を実生活の中で役立てることができる。	(知・技) ・生物の特徴をとらえることができる。 (思・判・表) ・じっくりと観察することができる。 (主学) ・日々の天気に興味を持つ。 ・気象情報を体調管理や服装などに反映させることができる。	・校内自然観察 ・季節の変化 ・お天気調べ ・こども新聞 ・校外学習	・継続観察を行い、季節による変化を感じる。 ・生物カードを作成する。 ・校庭に出て、昆虫や鳥の鳴き声を聞き、季節の変化を感じることができる。 ・季節を表す言葉(風の名前や季節や季語など)や暦を紹介する。 ・その日の天気、気温、湿度や気象情報を確認する。 ・ほしぞら公民館 見学
1学期	13	(知及技) 燃焼の仕組みについての理解を図り、実験などに関する技能を身に付ける。 (思判表力) 自分の気づきや疑問に思ったことを発表することができる。 (学・人) 燃焼について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	(知・技) ・物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができることを理解している。 (思・判・表) ・実験・観察において得られた結果をもとに考察し、表現することができる。 (主学) 燃焼の仕組みについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	・ものの燃え方と空気 ・動物のからだのはたらき ・植物のからだのはたらき	・ものが燃え続けるには。 ・空気の変化 ・食べ物のゆくえ ・吸う空気とはく空気 ・血液のはたらき ・人のからだのつくり ・植物の水の通り道 ・植物と日光のかかわり ・食べ物をとおしたいきもののかかわり ・空気をとおしたいきもののかかわり
2学期	14	(知及技) 月や太陽の見え方についての理解を図り、実験などに関する技能を身に付ける。 (思判表力) 自分の気づきや疑問におもったことを発表することができる。 (学・人) 月や太陽の見え方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	(知・技) ・月の輝いている側に太陽があること、また、月の形の見え方は、太陽と月との位置関係によって変わることを理解している。 (思・判・表) ・実験・観察において得られた結果をもとに考察し、表現することができる。 (主学) 月や太陽の見え方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	・月の形と太陽 ・大地のつくり ・変わり続ける大地 ・てこのはたらきとしくみ ・電気と私たちの暮らし	・月の形の見え方 ・大地をつくっている物 ・地層のつき方 ・地震や火山の噴火と大地の変化 ・私たちの暮らしと災害 ・てこのはたらき ・てこが水平につり合うとき ・てこを利用した道具 ・電気を作る ・電気の利用
3学期	8	(知及技) 水溶液の働きや違いについての理解を図り、実験などに関する技能を身に付ける。 (思判表力) 自分の気づきや疑問に思ったことを発表することができる。 (学・人) 水溶液の働きや違いについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	(知・技) ・水溶液には、酸性、アルカリ性及び中性のものがあることを理解している。 (思・判・表) ・実験・観察において得られた結果をもとに考察し、表現することができる。 (主学) 水溶液の働きや違いについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	・水溶液の性質とはたらき ・地球に生きる ・年間をふりかえろう	・水溶液にとけている物 ・水溶液のなにかま分け ・水溶液のはたらき ・人と環境のはたらき
留意点 引継ぎ等		※弱視生徒に対して、実験や観察では、拡大して観察できるように教具の工夫を図る。 ※観察は、時間を十分にとり丁寧に行うことができるように図る。 ※校外での学習は、事前学習で安全に対する意識を高める。緊急時は関係機関へ連絡など、適切な対応を行う。			

令和 8 年度 外国語 年間指導計画

年間総時数	学年・課程	担当者
70 時間	中学 3 年 II 課程 A I 名	

年間目標	〈知識及び技能〉英語を用いた活動を通して、身近な生活で見聞きする英語に興味や関心を持ち、英語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ。 〈思考力・判断力・表現力等〉身近で簡単な事柄について、英語で聞いたり話したりして表現力を身につける。 〈学びに向かう力 人間性等〉英語を通してその言葉の背景にある文化の多様性を知り、コミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。	
学期	時数	単 元
1 学期	4	Lesson 1: This is me. 自分について発表しよう。 Lesson 2: Welcome to Japan. 日本のよいところをしょうかいしよう。 Lesson 3: What time do you get up? 「理想の日曜日のスケジュール」を伝え合おう。 復習
	5	Let's Check ① Questions: 新しい先生や交換留学生との出会い Let's Talk! : 先生と話をしよう。
	2	Our World 世界の朝ご飯
2 学期	9	Lesson 4: My Summer Vacation 夏休みの思い出を発表しよう。
	9	Lesson 5: Where do you want to go? 行きたい国のみりよくを伝え合おう。
	9	Lesson 6: My Best Memory 小学校生活の思い出アルバムを作ろう。
	5	Let's Check ② Questions: 世界の国々について伝え合おう Let's Talk! : 先生と話をしよう。
	2	Our World 世界遺産
3 学期	9	Lesson 7: My Dream 将来の夢を発表しよう。
	9	Lesson 8: My Junior High School Life 中学校生活でしたいことやがんばりたいことを伝えよう。
	5	Let's Check ③ Questions: 卒業を前に Let's Talk! : 先生と話をしよう。
	2	Our World 世界で活やくしている人

沖縄盲学校独自の教材や教具と学習に必要な視覚支援機器【弱視版】

- ◆拡大教科書・・・ 使用教科書は22ポイントである。
- ◆拡大読書器・・・ 文字や図形、地図等を拡大したり白黒反転したりする。
- ◆弱視に使いやすい文具・・・ノートは行間やマス目が大きく、罫線自体が太い。市販のノートだと罫線が薄く見づらいときは、教師が印刷して使用する。

令和8年度 音楽 II 課程 A 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
70		3年 1名	
年間目標		(知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (学・人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていこう態度を養う。	
学期	時数	題材名	
1学期	25	オリエンテーション(1)	
		歌唱: 曲の形式を活かして歌おう【花】【荒城の月】(3)	
		器楽: 沖特音研に向けて、演奏する曲や楽器を決めて取り組む(10) 【生徒が選曲した曲、楽器を練習する】	
		創作: 言葉の特徴を捉えて表現しよう【言葉のリズムや抑揚を活かして表現してみよう】(3)	
		鑑賞: ・曲想を感じ取り、音楽の背景を理解して鑑賞しよう 【ブルタバ(モルダウ)】 交響詩【フィンランディア】	
2学期	25	歌唱: 曲の特徴を捉えて、ふさわしい声で歌おう【帰れソレントへ】【Top of the world】	
		器楽: 沖特音研の本番に向けて中学部全員で合奏しよう(10)【生徒選曲】 文化祭に向けて練習しよう(6)【生徒選曲】	
		創作: 言葉の特徴を捉えて旋律をつくろう(2)【CMソングをつくろう】	
		鑑賞: オペラの豊かな表現を鑑賞しよう【オペラ「アイダ」から第2幕第2場】	
		表現・鑑賞: 他校の演奏を鑑賞し、表現の工夫や音楽の魅力について考える。【開邦高校音楽交流】	
3学期	20	歌唱: 曲想を感じ取り、曲の特徴を生かして合わせて歌おう【卒業式にむけて】(8)	
		鑑賞: 歌舞伎の豊かな表現を鑑賞しよう【歌舞伎「勧進帳」 長唄「勧進帳」】	

令和8年度 中学部 3年（Ⅱ課程Aグループ） 美術 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
70	1名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) つくりたいものに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫する技能を身に付ける。 (思判表力) 表したいことについて考え、発想し構想するとともに、造形や作品などを鑑賞し、自分の見方や感じ方を深める。 (学・人) 美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、豊かな情操を培う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	22	(知及技) 立体造形の材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表すこと。 (思判表力) 経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をすること。 (学・人) 立体造形に興味を持ち、感性を豊かにし、豊かな情操を培う。	(知及技) 立体造形の材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表すことができたか。 (思判表力) 経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をすることができたか。 (学・人) 立体造形に興味を持ち、感性を豊かにし、豊かな情操を培うことができたか。	陶土を使った立体表現	日常生活の中で経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、描いたり、つくったり、それらを飾ったりする活動 1. 土を作る 2. 土で立体作品を作る（接着など） 3. テーマから主題を考え絵画表現を行う
2 学期	30	(知及技) 材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表すこと。 (思判表力) テーマに合わせて材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をすること。 (学・人) 美術表現に興味を持ち、感性を豊かにし、豊かな情操を培う。	(知及技) 材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表すことができたか。 (思判表力) テーマと用いる材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をすることができたか。 (学・人) 美術表現に興味を持ち、感性を豊かにし、豊かな情操を培うことができたか。	絵画表現 立体表現	文化祭のテーマと材料を基に行う表現活動 1. 誰に、何を伝えるのか 2. 色や形、バランスなどを考えて配置する 段ボールを使った立体表現 1. 自分の中でイメージを作る 2. 素材や箱のサイズから組み合わせる
3 学期	18	(知及技) 材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表すこと。 (思判表力) 経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をすること。 (学・人) 空間表現に興味を持ち、感性を豊かにし、豊かな情操を培う。	(知及技) 材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表すことができたか。 (思判表力) 経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をすることができたか。 (学・人) 空間表現に興味を持ち、感性を豊かにし、豊かな情操を培うことができたか。	卒業式装飾	日常生活の中で経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、描いたり、つくったり、それらを飾ったりする活動
留意点 引継ぎ等					

令和 8 年度 保健体育年間指導計画（体育分野）

中学部 3 年 I 課程 II 課程 A 作成者：

総授業時数 70 時間

年間目標		・運動の実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにため、体力の必要性を理解すると共に、基本的な技能を身につけるようにする。（知識・技能） ・運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断したりするとともに、自己の考えたことを他者に伝える力を養う。（思考・判断・表現力等） ・公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、他害の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くす態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）				
月	単元名 及び 学習内容	時 数	指導目標	評価の観点		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
通 年	体づくり運動 ・ラジオ体操、ストレッチ体操等 ・体ほぐしの運動 ・体の動きを高める運動 ・クロックポジション ・ボディイメージ	6	・ねらいに応じた運動を組み合わせ体ほぐしに取り組む。（知・技） ・仲間と積極的に関わり、互いの意見を尊重しながら合理的な運動の実践ができる。（思・判・表） ・課題解決に向けて、仲間と協力できる。（学・人）	・体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解している。	・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・体づくり運動の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・仲間の補助をしたり助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。
4 5	器械運動 ・マット運動	6	・前後転系の基本の動きを身につける。（知・技） ・自己の課題を発見したり、他者の課題について考えたりして課題の解決に取り組む。（思・判・表） ・個々の能力に応じた回転系、巧技系の技に挑戦できる。（学・人）	・マット運動では、回転系の基本的な技の名称を覚えることができる。回転系、巧技系の基本的な技ができる。	・技の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	・器械運動に積極的に取り組むとともに、よい演技を認めようとする、仲間の学習を援助しようとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めている。健康・安全に気を配っている。
	陸上①	5	・ストライドやピッチ、	・陸上競技の特性	・動きなどの自	・陸上競技に積

6	・短距離走 ・長距離走 ・ボール投げ		腕ふりを意識して活動できる。(知・技) ・自己の記録や課題を意識し、練習方法を工夫することができる。 (思・判・表) ・自己の体力を知り、意欲的に練習に取り組むことができる。(学・人) ・違いを認め、仲間と協力し、課題解決に取り組むことができる。 (学・人)	や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ・長距離走では、ペースを守って走ることができる。	己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。健康・安全に気を配っている。
7	水泳 ・バタ足 ・ドル平 ・クロール ・平泳ぎ	1 3	・水の特性を理解する。 (知・技) ・4泳法の名称と技術を知る。(知・技) ・息継ぎの技術を身につける。(知・技) ・自己の課題に応じた、練習方法を選択して、意欲的に練習する。(思・判・表)(学・人) ・健康、安全に気をつけ、水泳の心得を守る。 (学・人)	・水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 平泳ぎ ・蹴り終わりで長く伸びるキックをすることができる。 ・肩より前で、両手で逆ハート型を描くように水をかくことができる。 ・プルのかき終わりに合わせて顔を水面上に出して息を吸うことができる。	・提供された練習方法から、自己の課題に応じて、泳法の習得に適した練習方法を選んでいる。 ・仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。	・水泳の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・用具等の準備や後片付けなどの分担した役割を果たそうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。 ・水の安全に関する事故防止の心得を遵守するなど、健康・安全に留意している。
9	武道 ・空手	9	・伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解することができる。(知・技) ・クロックポジションを意識して自己の体を操作する。(知・技)	・空手の歴史や特性や伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。	・空手道を実践するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間	・空手道に自主的に取り組むとともに相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。 ・一人一人の違い
10						

11			。自己の課題を発見し練習を工夫する。 (思・判・表) ・仲間との話し合いを通じて、課題を見つけ、解決する。(思・判・表) ・一人一人の違いを認め、意欲的に活動する。 (学・人)		の考えたことを他者に伝えている。	いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 健康・安全に気を配っている。
12	陸上② ・直線走 ・円周走 ・走り幅跳び	9	・自己の歩、走の動きのくせを知る。(知・技) ・体重移動や踏切の技術を身につける。(知・技) ・健康やけが防止のための、準備運動や補助運動について、考え、主体的に活動する。(思・判・表) ・勝敗を受け止め、ルールやマナーを守る。 (学・人)	・音源を聞いてまっすぐ走ることができている。 ・ロープの張りを感じ、全力で走ることができている。 ・スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶことができている。	・選択した運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいく。 ・健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。	・勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。 ・仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たそうとしている。 ・健康・安全を確保している。
1 2 3	球技 ・フロアバレーボール ・STT ・バスケットボール	1 5	・役割に応じたボールの操作や連携した動きができる。(知・技) ・チームや自己の課題を発見し、仲間と工夫して練習に取り組むことができる。(思・判・表) ・フェアプレイを大切にして自主的に練習に取り組むことができる。 (学・人) ・仲間と課題や練習法について考えることができる。(学・人)	・ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができている。 ・連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くことができている。	・自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 ・チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返っている。	・球技の学習に自主的に取り組もうとしている。 ・互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。 ・健康・安全を確保している。

令和8年度 中学部3年（Ⅱ課程A） 職業家庭 年間指導計画

配当時間	児童生徒について	担当者	教科書/副教材
140	中学部3年 1名		開隆堂 たのしい職業科 わたしの夢につながる たのしい家庭科 わたしの暮らしに生かす

年間目標	・生活や職業に対する関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付ける様にする。・将来の家庭生活や職業生活に必要な事柄を見出して課題を設定し、それを解決できる力を養う。		
	知識及び技能	(1)生活や職業に関する関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に係る基礎的な知識や技能を身につけるようにする。	
	思考力、判断力、表現力等	(2)将来の家庭生活や職業生活に必要な事柄を見だして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、自分の考えを表現しなどして、課題を解決する力を養う。	
	学びに向かう力、人間性等	(3)よりよい家庭生活や将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。	

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価基準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1・2・3学期	2	職業家庭科の目標を知ること。(知及技)	職業家庭科のねらいについて理解している(知・技)	オリエンテーション	・職業・家庭科の時間のねらいを確認し、今年度の計画を立てる
	58	- 働くことの目的を知ること。(知及技) - 意欲や見通しを持って取り組み自分の役割について気付くこと(思判表力) - 作業や実習等で達成感を得ること。(学・人) - 職業生活に必要な知識や技能について知ること(知及技) - 職業生活を支える社会の仕組み等があることを知ること。(知及技) - 材料や育成する生物等の扱い方及び生産や生産活動等に関わる基礎的な技術について知ること。(知及技) - 作業課題がわかり、使用する道具等の扱い方に慣れること。(知及技) - 作業の持続性や巧緻性などを身に付けること。(知及技) - 職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について気付くこと(思判表力) - 作業にあたり安全や衛生について気付く、工夫すること。(思判表力) - 職業生活に必要な健康管理に気付くこと。(思判表力)	- 働くことの目的を知り、意欲を持って作業にとりくむことができる(学・人) - 実習等にかかる基礎的な技術を知り、使用する道具の扱いができる(知・技) - 実習等の中での安全性や衛生、健康管理について気づき行動できる。(思・判・表)(知・技) - 職業生活を支える社会の仕組みについて理解している。(知・技) - 材料や育成する生物等の扱い方や生産活動に関わる基礎的な技術について理解している(知・技) 【評価】聞き取り、提出物、観察	A:職業生活 校内就業体験 栽培 木工 リサイクル製品の製作 清掃	・スリッパ洗い、紙コースター作成、栽培学習(土作り)等)に取り組み、協力して仕事に取り組む。
					・土作り ・播種 ・日常の手入れ ・収穫
					・材料の加工 ・部品加工 ・組み立て ・仕上げ
					・材料の加工 ・部品加工 ・組み立て ・仕上げ
	6	- コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ること(知及技) - コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことを他者に伝えること。(思判表力)	- タブレットの起動終了、アプリの操作ができる。(知・技) - 操作方法やアプリの機能を伝えることができる(思・判・表) 【評価】聞き取り、提出物、観察	B:情報機器の活用	タブレット機器の基本操作等を行う。
1・2・3学期	6	- 職業や進路に関わることに興味を持ったり、調べたりする。(知及技) - 職業や職業生活、進路に関わることに気づき、他者に伝えること。(思判表力)	いろいろな職業について調べ、他者に伝えることができる(知・技)(思・判・表) 【評価】聞き取り、提出物、観察	C:産業現場等における実習	- 職業調べ - 自分の進路について考えよう
	20	- 自分の成長を振り返りながら、家庭生活の大切さを知ること。(学・人) - 家族とのやりとりを通して、家族を大切に作る気持ちを育み、よりよい関わり方について気付く、それらを他者へ伝えること。(思判表力) - 家庭における役割や地域との関わりについて関心を持ち、知ること。(知及技) - 家庭生活に必要な事や自分の果たす役割に気付く、それらを他者に伝えること。(思判表力) - 健康や様々な余暇の過ごし方について知り、実践しようとする。(知及技) - 望ましい生活環境や健康及び様々な余暇の過ごし方について気付く工夫すること。(思判表力) - 幼児の特徴や過ごし方について知ること。(知及技) - 幼児への適切な関わり方について気付く、それらを他者に伝えること。(思判表力)	- 自分の日課などについてスケジュール表を作ることができる。(学・人)(思・判・表) - 自分の成長を振り返り、家族との関わりについて気づくことができる。(思・判・表) - 健康や余暇の過ごし方について知り実践しようとする。(学・人)(知・技) - 家庭生活のなかでの家族との関わりや感謝について表現出来る。(思・判・表)(学・人) - 家庭や地域における役割について伝えることができる(思・判・表) - 幼児への関わりについてまとめ、他者へ伝えることができる(思判表) 【評価】聞き取り、提出物、観察	A:家族・家庭生活	- 学校の日、休日のスケジュール表をつくろう - 自分の成長を振り返ろう - 小さい子の特徴についてしろう - 健康的な生活や余暇の過ごし方についてしらべてみよう - 地域の行事を調べてみよう
	30	- 健康な生活と食事の役割について知ること。(知及技) - 適切や量の食事を楽しくとることの大切さに気付く、それらを他者に伝えること。(思判表力) - 簡単な調理の仕方や手順をしり、できるようにすること。(知及技) - 簡単な調理計画について考えること。(思判表力) - 場面に応じた日常着の手入れの仕方などについて知り、実践しようとする。(学・人) - 季節の変化に合わせた住まい方、整理・整頓や清掃の仕方に気付く、工夫すること。(思判表力) - 住まいの主な働きや、整理・整頓や清掃の仕方について知り、実践使用とすること(知及技) - 季節の変化に合わせた住まい方、整理・整頓や清掃の仕方に気付く、工夫すること。(学・人)	- 健康な生活と食事の役割について理解している。(知・技) - 簡単な調理の計画を考えることができる(思・判・表) - 簡単な調理の仕方や手順を知り、調理出来る。(知・技) - 日常の服の手入れが出来。(アイロンかけ等)(知・技) - 場に応じた日常着の手入れの仕方などについて理解し、実践出来る(学・人) - 簡単な布の小物をつくることができる。(知・技) 【評価】聞き取り、提出物、観察	B:衣食住の生活	- 健康な生活食事の役割について考えよう - 調理実習 - 簡単な調理 - 電子レンジ - お湯を注ぐ - 日常着の手入れ(衣替え、夏服、冬服、普段着、礼服など) - アイロンかけ - 服のたたみ方やハンガーの使用
	18	- 生活に必要な物の選び方、買い方、計画的な使い方について知り、実践しようとする。(知及技) - 生活に必要な物を選んだり、物を大切に使うこと(学・人) - 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて考え、工夫すること。(思判表力)	- 必要なものをリストアップし生活に必要な買い物がわかる(知・技)(学・人) - 生活に必要な買い物と、環境との関わりについて理解している。(知・技) 【評価】聞き取り、提出物、観察	C:消費生活・環境	- 日常生活の中で必要なものについて考えよう - じょうずな買い物をしよう ※金銭教育 - 環境への配慮について考えよう

令和8年度 中学部 1、2、3年（Ⅱ課程Bグループ） 国語科 年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	3名		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標	（知及技）日常生活に必要な身近な言葉を身につけるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができる。 （思判表力）言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。 （学・人）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。			
学期	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して実施	（学）詩のリズムを楽しむ。	（主）詩の朗読を楽しむ事ができる。	・詩の朗読	・詩を朗読したり、転写（写本）をしたりして、詩のリズムを楽しむ。
	（知）一年の行事を知り、季節感を身につける。	（知）興味をもって季節について学習をすることができる。	・季節を感じる	・季節の様々な節句や行事に関する話を聞いたり、触察したりして季節を感じる。 ・各季節の俳句を作る。
	（思）体験したことを自分から積極的に話せるようになる。	（思）自分の気持ちを言葉にして表現できる。	・朝の会 ・帰りの会	・朝の会で昨日の出来事や、帰りの会で今日の振り返りをする。
	（学）絵本に親しみ、話の面白さに触れる。	（主）絵本に興味をもつことができる。	・読み聞かせ	・絵本の読み聞かせを聞いて感想を伝えたり、簡単なフレーズを教師や友達と一緒に言ったりする。
1学期（2・3）	（知）主述の関係や助詞の使い方を確認する。	（知）文の成分を認識し、正しく使うことができる。	・文の成分を理解する	・クイズやドリル学習で、正しい言葉の使い方に慣れる。 ・様子や気持ちを表す言葉がたくさんあることを知り、他の言葉に置き換えたりする。
	（思）平和について考える。	（思）平和について考えることができる。	・平和学習	・学校行事とリンクさせて、平和学習に取り組む。
2学期（3・1）	（知）日常生活で体験したことを話す能力を身につける。	（知）（思）体験したことなどをわかりやすく話すことができる。	・会話をしよう（話す）（コミュニケーション）	・学校の行事や家庭で経験したことについて話す。 ・ニュースやラジオなどで知ったことについて発表する。
	（学）校内意見発表会に参加する。	（知）（思）話の内容を簡単に言うことができる。 （主）発表し、話を聞くことができる。	・校内意見発表会	・自分の意見をみんなの前で発表し、仲間の話を聞く。
	（思）文化祭に主体的に取り組む。	（思）文化祭の感想を発表できる。	・文化祭の取り組み	・文化祭の取り組み経過を整理し、感想を話す。
3学期（1・6）	（知）郷土の言葉を知り、興味をもって生活の中で使う。	（知）興味をもって方言の学習をし、積極的に使うことができる。	・方言を使おう（言葉）	・身近な方言の学習、沖縄昔話の読み聞かせで方言を聞き慣れる。
	（知）ことわざや慣用句を学ぶ。	（知）生活の中で使うことができる。	・言葉の学習	・いろいろなことわざや慣用句を覚える。
	（思）一年を振り返り、進級卒業に向け考える。	（思）一年を振り返り、新年度に向けての作文を書くことができる。	・一年を振り返る	・一年の思いや進級・卒業に向けて思いを綴る。
留意点引継ぎ等				

令和8年度 社会科（Ⅱ課程B） 社会科 年間指導計画

単位数 ／ 配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
70	1 学年 1 名、 2 学年1名、 3 学年1名		社会☆☆☆☆、社会☆☆☆☆☆（文部科学省） 小学校生活科、小学3年生社会

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動、地域の産業と消費生活の様子及び身近な地域の様子の移り変わり並びに社会生活に必要なきまり、公共施設の役割及び外国の様子について、具体的な活動を通して、自分との関わりが分かる。 (思判表力) 自分の生活や地域社会と関連づけて具体的に考えたことを表現する基礎的な力を養う。 (学・人) 身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技) 季節ごとの身近な伝統行事などについて知ることができる。 (思判表力) 身近な伝統行事や家族とのすごし方について知り、自分の役割について気づく。 (学・人) 進んで活動に参加したりする。	(知・技) 春の様子をどんな伝統行事で感じることができるか知る。 (思・判・表) 県内や県外の季節の話題を知り、自分の地域との違いを知ろうとしている。 (主学) 校舎内の行きたいところを自分で考えて、その場所まで行こうとする。	・春をみつけよう ・沖縄の春「シーミー」 ・ハーリーについて ・校内探検	・こども新聞、ipadなどを活用して、関連情報を調べる。 ・触察などの体験を通して季節を感じる。 ・季節の話題をニュースを聞いて知る。大宜味村のすいか祭りやこどもの日にちなんだ各地のイベントなど。5月8日はゴーヤーの日、5月10日は黒糖の日など。
		(知及技) 身近な地域の生活を守るための諸活動について知ることができる。 (思判表力) 具体的な活動や体験を通して、自分との関わりが分かり、考えたことを表現する基礎的な力を養う。 (学・人) 学んだことを主体的に日常生活の事柄に関連付けすることができる。	(知・技) お米はどのような状況で育つのか、農家のお仕事について知る。 (思・判・表) 季節の話題や行事について知り、感じたことを表現しようとしている。 (主学) 食糧の日はどのように過ごすかなど、家族との過ごし方を意識しようとする。	・ご飯とお米作り ・家族について ・平和について	・お米に関する話題や食育に関連した活動内容。石垣島などでの田植えや県外の田植えのニュースを聞いて情報を得る。 ・沖縄ワールドで、体験できることをHPより情報を得る。 ・家族、命の繋がりに関する絵本の読み聞かせを通して平和について意識を促す。
		(知及技) 県内の主な歴史を手掛かりに、先人の働きや出来事、文化遺産などを知ることができる。 (思判表力) 歴史的背景や現在に至る経緯などに着目し、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、それらの特色を知ることができる。 (学・人) 学んだことを主体的に日常生活の事柄に関連付けすることができる。	(知・技) 沖縄の伝統行事を食生活や地域のことばである「ウチナーグチ」と結びつけて知る。 (思・判・表) ごみの分別について、毎日の学校生活での活動と結びつけて考えようとしている。 (主学) 教室内でのごみは、ゴミ箱に捨てると意識している。	・昔の道具とくらし ・沖縄の伝統工芸品 ・ごみの分別について	・こども新聞、ipadなどを活用しながらの話題を採す活動。 ・沖縄ワールドで、体験できることをHPより情報を得る。
2 学期	28	(知及技) 九州地方の地理的位置と人々の生活の様子を理解する。 (思判表力) 各県の地理的特徴を知り、その地域の特産物や人々の生活の様子を捉え、表現することができる。 (学・人) 生活の中でのニュースや話題になっていることと関連づけることができる。	(知・技) 地球儀や日本地図を活用して沖縄県や日本からの距離や方向について知る。 (思・判・表) 九州の各県に関連する話題と結びつけて、ニュースなどの記事に触れ、自分なりの感想を持ち表現しようとしている。 (主学) 世界各国の話題から興味ある事柄を意識している。	・九州地方の特産物 ・沖縄県の特産物 ・旧盆とエイサー ・秋の美りと地域の行事	・各都道府県の情報を、こども新聞、ipadなどを活用して収集する。 ・居住地での特産物を調べる。 ・地域での綱引きやお祭りにはどのようなものがあるか調べる。
		(知及技) 地域の安全を守るため、関係機関が地域の人々の協力していることが分かる。 (思判表力) 地域における災害や事故に対する施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、そこに携わる人々の働きを知ることができる。 (学・人) 災害時に周りの指示に従い、安全に避難するためにはどういう行動をするか考えることができる。	(知・技) 自然災害が発生した際の校内での避難の仕方について知る。 (思・判・表) 校内やその地域での避難経路や避難の仕方について確認しようとしている。 (主学) 総合防災避難訓練時にどのような動きで避難したらよいか、行動しようとしている。	・自然災害に備えるまちづくり ・校内の防火設備 ・お米の美りについて	・学校周辺の地形の高低差について立体地図などを活用して確認し、さらに学校を基準に東西南北の方向を確認する。 ・校内の防災設備などを確認する。教室から一番近い消火器はどこか調べる。 ・ご飯を羽釜で炊く活動を通して、炊飯器などの道具との違いに気づくよう促す。 ・季節の野菜はスーパーや食料品売り場でどのように販売されているか調べる。
3 学期	18	(知及技) 県内の主な歴史を手掛かりに、先人の働きや出来事、文化遺産などを知ることができる。 (思判表力) 歴史的背景や現在に至る経緯などに着目し、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、それらの特色を知ることができる。 (学・人) 学んだことを主体的に日常生活の事柄に関連付けすることができる。	(知・技) 沖縄の旧暦に基づいた旧正月やムーチャー行事などについて知る。 (思・判・表) 毎日の日常生活での活動と結びつけて考えようとしている。 (主学) 昔の道具とくらしについて知り、自ら進んで体験しようとする。	・季節の行事：旧正月とムーチャー ・昔のくらし ・季節の野菜や花	・ムーチャー作りの材料などを確認し、作る目的なども絵本などから知る。 ・旧暦の行事は、各市町村でどのように実施されているか知る活動。 ・こども新聞、ipadなどを活用しながらの話題を採す活動。
		(知及技) 家庭や学校、地域社会でののきまりは、社会生活を送るために必要であることを理解する。 (思判表力) 社会生活に必要なきまりの意識について考え、表現することができる。 (学・人) 生徒会活動の役割に気づくことができる。	(知・技) 選挙で代表を選ぶことの大切さを知る。 (思・判・表) 生徒会役員が学校行事などを進めている役割について、意識したり振り返ろうとしている。 (主学) 生徒会役員としての活動を通して、役割の大切さを感じることができる。	・生徒会役員選挙 ・地域での選挙 ・学校内でのルール ・卒業・進級に向けて	・生徒会長選挙を通して、具体的に選挙活動に参加することと結び付けて学習をする。 ・1年間の季節と、月ごとの話題を振り返る。
留意点 引継ぎ等		・1年間通して、こども新聞などの情報に触れ、季節の話題・タイムリーな話題についての情報を取り上げる。 ・地域の公共施設や商業施設の利用、首里城見学などの校外学習を実施しながら、体験により学習を深める。			

令和8年度 数学科 II B 課程 年間指導計画

配当時数		対象生徒	担当者	教科書／副教材	
70		1、2、3年ⅡB 課程 3名			
年間目標		(知識及び技能)数量や図形などについて理解を深め、基礎的な計算や測定・測量についての知識や技能を身につける。(小1、小2段階) (思考力、判断力、表現力等)身の回りの事象や問題場面を解釈及び判断したり、考察したりする力を養う。(小1、小2段階) (学びに向かう力・人間性等)学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。(小1、小2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2 3	(知及技)身近な物の数え方を知る。 (思判表力) 具体物や数タイルを数える。 (学・人)数字に興味を持つ。	(知・技)具体物や数タイルを数えることができる。 (思・判・表)具体物や数タイルを数えることができる。 (主学)数字に興味を持つことができる。	・ 10までの数 ・ 数唱と位置関係	・身の回りで使用するいろいろな物に応じた数え方で1から10まで数える。 ・大小比較 ・数字に関する歌を聞き、手遊びやリズムを楽しむ。 ・音声電卓や iPad を活用する。
2 学期	3 2	(知及技)時間の単位を知る。 (思判表力)今日の日付が分かり、時の流れを理解する。 (学・人)季節についての話を聞く。 (知及技) 基本的な図形を知る。上下、前後、左右の位置に関する言葉を用いて、物の位置を表す。 (思判表力) 身近にある様々な形の中から、同じ形のもの弁別、集合作りをする。 (学・人) 身の回りにある物の形に関心を持つ。	(知・技)時間の単位がわかる。 (思・判・表) カレンダーを通して今日の日付を確認することができる。 (主学)季節の様々な行事に関する話を聞いたり、触察したりして季節を感じるができる。 (知・技) 基本的な図形を理解する。上下、前後、左右の位置に関する言葉を用いて、物の位置を表すことができる。 (思・判・表)具体物を考えながら分けたり集めたりすることができる。 (主学)身の回り物の形に関心を持つことができる。	・ 時刻や時間 ・ 形	・ カレンダーを通して今日の日付を確認する。 ・ 1日の時間の流れを確認する。 ・ 季節の様々な行事に関する話を聞いたり、触察したりして季節を感じる。 ・ 身近にある様々な形の中から、同じ形のもの弁別、集合作りをする。 ・ 上下、前後、左右の位置関係や前後から何番目かを意識した活動を行う。

3 学期	15	(知及技)長さや重さについて知る。 (思判表力)長さや重さを比較する。 (学・人)身の回りにある物の形に関心を持つ。 (思判表力)(学・人)1年間を振り返る。	(知・技)長さや重さを直接比べることができる。 (思・判・表)身の回りの物の大きさを単位として、その幾つかで大きさを比較することができる。 (主学)身の回り物の形に関心を持つことができる。 (思・判・表)(主学)1年間を振り返り、教師の言葉かけに反応することができる。	・量と測定 ・1年間を振り返る	・「長い」「短い」という言葉の持つ意味を理解し、身の周りのものの長さを比べて言葉で表現する。 ・「重い」「軽い」という言葉の持つ意味を理解し、身の周りのものの重さを比べて言葉で表現する。 ・1年間の思い出や進級に向けて思いを感じる。

令和 8 年度 中学部 II-B課程 理科 年間指導計画

単位数 ／ 配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	1～3年 II-B課程グループ		理科 ☆☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察・実験に関する初歩的な技能を身につけるようにする。 (思判表力) 観察、実験などを行い、疑問をもつ力と予想や仮説を立てる力を養う。 (学・人) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に日常生活や社会生活などに生かそうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通年	35	(知及技) 植物を育て、その成長の変化を観察することができる。 (思判表力) 身近な材料を使用した実験・観察に興味をもって参加できる。 (学・人) こども新聞の内容から自分の知っている言葉に反応することができる。	(知・技) 植物の成長の変化に気づくことができる。 (思・判・表) 身近な材料を使用した実験・観察で気づいたことを表現することができる。 (主学) こども新聞を教師と一緒に読むことができる。	【科学ニュースをようよう】 【理科用語を学ぼう】 【お天気調べ】 【お楽しみ実験】 【校外学習】 【SDGs】	・こども新聞等の科学記事を教師と一緒に読む ・理科用語の理解 ・植物の水やり、観察 ・天気と気温を調べる ・お楽しみ実験の計画 ・リサイクル活動 ・ほしぞら公民館
1学期	3	(知及技) 身近な植物や動物の名前や特徴を知ることができる。 (思判表力) 校内の自然の様子に興味をもち身近な自然の観察し、それを表現することができる。 (学・人) 観察の際の注意事項を踏まえ、教師と一緒にHに行動することができる。	(知・技) 生物は、色・形・大きさなど姿に違いがあることがわかる。 (思・判・表) 校内の自然の様子に興味をもち身近な自然の観察し、それを表現することができる。 (主学) 観察の際の注意事項を踏まえ、教師と一緒に安全に行動することができる。	身のまわりの自然観察 草花や 木の葉で遊ぶ	・観察の際の注意事項について、確認する ・校庭にある植物から春の生物を探す ・教師と一緒に見つけた草花で遊びをみつける
	4	(知及技) 植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解することができる。 (思判表力) 植物の成長の変化について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。 (学・人) 植物について、探したり育てたりする中で、植物の成長と季節の変化に着目して、それらに関係付けて調べる活動ができる。	(知・技) 植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解することができる。 (思・判・表) 植物の成長の変化について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。 (主学) 植物について、探したり育てたりする中で、植物の成長と季節の変化に着目して、それらに関係付けて調べる活動ができる。	季節と植物	・春と夏の植物について、比べる。 ・季節の違いによる生えている植物について学習する。 ・植物を育てよう。(季節の花、野菜)
	3	(知及技) 地面は太陽によってあたためられ、ひなたと日陰では地面の暖かさに違いがあることがわかる。 (思判表力) ひなたと日陰の様子について調べる中で、太陽と地面の様子の関係について気付くことができる。 (学・人) 太陽と地面の温度について学んだことを日常生活の中で体感することができる。	(知・技) 太陽の光によって、ひなたとひかげの違いがあることがわかる。 (思・判・表) ひなたとひかげの暖かさの違いについて、言葉や身体反応で表現することができる。 (主学) 観察の際には、自分から手を伸ばし、色々な物の暖かさの違いを確認することができる。	太陽と地面 太陽の光	・ひなたとひかげの気温の違いや、地面の熱さの違いを体感する。 ・太陽の光をさえぎると、ひかげになる。 ・私たちの生活と日なた・ひかげの利用・
2学期	5	(知及技) 物から音が出たり伝わったりするとき、物は震えていることに気づくことができる。 (思判表力) 音を出したときの震え方の様子について調べる中で、差異点や共通点に気づき、音の性質についての疑問をもち、表現することができる。 (学・人) 音の性質について学ぶ中で、日常生活で生かされていることを見つけようとする。	(知・技) 物から音が出たり伝わったりするとき、物は震えていることを体感することができる。 (思・判・表) 音を出したときの物が震えることに気づき、表現することができる。 (主学) 音の性質について学ぶ中で、日常生活で生かされていることを見つけようとする。	音の性質	・身の回りにある物を使って音を出したときの物の震え方や音の大きさを変えたときの現象の違いを体感する。 ・糸電話で糸の振動で音が伝わることを体験する。 ・太鼓、糸電話を用いる
	10	(知及技) 物は形が変わっても重さは変わらないと知ることができる。 (思判表力) 物の形や体積と重さとの関係について調べる中で、差異点や共通点に気づき、物の性質についての疑問をもち、表現することができる。 (学・人) 物と重さの関係について、学んだことを学習や生活に生かすことができる。	(知・技) 身のまわりにある物のしくみや働きに関心をもつことができる。 (思・判・表) 身近なもののしくみや働きがわかり、それを教師と一緒ににみんなに伝えようとする。	物と重さ	・荷物の入ったバックと、入っていないバックで重さを比べる。 ・ねんどを用いて形が変わっても重さは変わらないことを感じる ・おもちゃを使ったおもちゃ制作
3学期	5	(知及技) ゴムの力は、物を動かすことができると理解することができる。(思判表力) ゴムの力で物が動く様子について調べる中で、差異点や共通点に気づき、風やゴムの力の動きについての疑問をもち、表現することができる。 (学・人) ゴムの力で物が動く様子について調べる中で分かったことを日常生活に生かすことができる。	(知・技) ゴムの力を使って、物を動かすことができる。 (思・判・表) ゴムの力で物が動く様子について調べる中で、差異点や共通点に気づき、風やゴムの力の動きについての疑問をもち、表現することができる。 (主学) ゴムの力で物が動く様子について調べる中で分かったことを日常生活に生かすことができる。	ゴムの力の働き	・ゴムを伸ばした時に手に力を感じる ・家庭で輪ゴムが使われている場面を紹介する ・ゴムの力で物が動く様子について調べる ・ゴムをつかったおもちゃ制作 ・輪ゴム、工作材料を準備
	5	(知及技) 電気を通す物と通さない物があると知ることができる。 (思判表力) 乾電池と豆電球をつないだときの様子について調べる中で、差異点や共通点に気づき、電気の回路についての疑問をもち、表現することができる。 (学・人) 電気の力で物が動く様子について調べる中で分かったことを日常生活に生かすことができる。	(知・技) 電気を通す物と通さない物があることに気付くことができる。 (思・判・表) 乾電池と電子オルゴールをつないだときの様子について調べる中で気づいたことを教師と一緒に伝えようとする。 (主学) 電気の力で物が動く様子について調べる中で分かったことを日常生活に生かすことができる。	電気の通り道	・身のまわりにある物で電気を通す物と通さない物を探す ・乾電池をつないで音が鳴る方法を調べる ・乾電池をつかったおもちゃ制作
留意点 引継ぎ等		※弱視生徒に対して、実験や観察では、拡大して観察できるように教具の工夫を図る。 ※観察は、時間を十分にとり丁寧に行うことができるように図る。 ※校外での学習は、事前学習で安全に対する意識を高める。緊急時は関係機関へ連絡など、適切な対応を行う。			

令和8年度 中学部 英語科 年間指導計画

教科： 外国語 2 組 II 課程 B 担当者：				
◎年間目標				
〈知及技〉 英語を用いた活動を通して、身近な生活で見聞きする英語に興味や関心を持ち、英語の音声や基本的な表現に慣れ親しむことができる。 〈思判表力〉 身近で簡単な事柄について、英語で聞いたり話したりして、自分の気持ちなどを伝え合おうとすることができる。 〈学・人〉 英語を通してその言葉の背景にある文化の多様性を知り、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うことができる。 目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度				
学期	月	単元名	目標	単元・題材の評価基準
1 学期 22 時間	4 月 から 7 月	あいさつ 名前・職業 気持ち アルファベット 家族	・歌やチャンツを通して表現に親しむことができる。(知及技) ・表情やジェスチャーも交えながらコミュニケーションをしようとするすることができる。(思判表力) ・絵カードや模型を通して、英単語の意味やアルファベットの形や音にふれる。(主学)	・英語で挨拶をしたり、表情やジェスチャーをつけたりして、相手に体調や気持ちを伝えようとするすることができる。(知・技) ・身近な英語に関心を持つことができる。(主学) ・アルファベットの音や形、身の周りにある英語に関心を持ち、親しむことができる。(思・判・表) ・身近な英語表現で家族や職業など、語彙を増やすことができる。(知・技)
2 学期 28 時間	9 月 から 12 月	乗り物 ハロウィン 食べ物 クリスマス	・絵カードや模型を通して英単語に親しむことができる。(知及技) ・食べ物に関する英語を知り、それらを用いて表現を楽しむことができる。(思判表力) ・クリスマスについて知り、外国の文化を体験することができる。(主学)	・乗り物の言い方に慣れ親しむことができる。(知・技) ・いろいろな土地の食べ物の言い方に慣れ親しみ、相手が好きかどうか聞こうとすることができる。(思・判・表) ・ハロウィンやクリスマス等のテーマを通して、外国の文化・風習に触れることができる。(主学)
3 学期 20 時間	1 月 から 3 月	干支 動物 バレンタイン 1年間のまとめ	・新年の挨拶や干支に関するゲームなどを通して、基本的な単語や表現に慣れ親しむことができる。(知及技) ・バレンタインに関する歌やダンスなどを通して、自ら表現することを楽しむことができる。(思判表) ・学習した単語や表現に慣れ親しみ、それらを用いて自分なりの方法で伝えようとするすることができる。(主学)	・干支に関する英単語に慣れ親しむことができる。(知・技) ・バレンタインというテーマを通して、外国の文化・風習に触れることができる。(思・判・表) ・1年間で学習した内容を振り返ることができる。(主学)

令和8年度 音楽 II 課程 B 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
105		1、2、3年2組 (3名)	
年間目標		(知及技)音や音楽に注意を向けて気づき、関心を向け、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりにつながる技能を身に付けることができる。 (思判表力)音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に気づいて関心や興味を持って聴くことができる。 (学・人)音や音楽に気づき、教師と一緒に音楽活動を楽しむことができる。	
学期	時数	題材名	
1学期	35	オリエンテーション(1)	
		年間通しの題材【はじめましょう】【おわりましょう】【名前うた】【校歌】	
		歌唱:音楽に親しみ、安心して活動に参加しながら、声や体の動きで音に気付く【愛の挨拶】	
		器楽:楽器や音に親しみ、安心して活動に参加しながら、音が出ることに気付く【リズムでまねっこ】	
		身体表現:音楽や周囲の動きに親しみ、安心して活動に参加しながら、体を動かす【仔猫と知恵くらべのアリサ】【くるっく】【お腹をぽん】【ギリギリ】【ジャンジャン】	
		鑑賞:音楽に親しみ、安心して活動に参加しながら、音が鳴ることや音の変化に気付くことを目標とする。【今月の曲(学校行事や季節に合わせた曲を鑑賞する)】	
2学期	35	歌唱:音楽を聴き、声や体の動きを通して音に反応しながら、歌唱活動を楽しむ。【今月の歌(毎月ごとに新しい歌に取り組む)】	
		器楽:楽器や音に親しみ、安心して活動に参加しながら、音が出ることに気付く【ミュージックコンサートに向けて曲を決めて取り組む】	
		身体表現:音や教師の働きかけに応じて、手足や体を動かしながら、身体表現活動を楽しむ。【題材は、生徒実態に応じて決める】	
		鑑賞:他校の演奏を聴き、鳴っている音や楽器に気付きながら、楽しんで参加することができる。【開邦高校音楽科コースとの交流】	
3学期	35	歌唱:音楽に親しみをもち、声や体の動きで自分なりに音楽に関わろう。【卒業式のうた】	
		器楽:楽器に親しみをもち、音や振動を感じながら、自分なりに器楽活動に関わる【	
		身体表現:音楽や動きに親しみをもち、自分なりの体の動きで、身体表現活動しよう。【題材は、生徒実態に応じて決める】	
		鑑賞:音楽に親しみをもち、好きな音や音楽に期待しながら、自分なりに鑑賞しよう。【今月の曲(学校行事や季節に合わせた曲を鑑賞する)】	

令和8年度 中学部1～3年（Ⅱ課程Bグループ） 美術 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	3名（小学部1段階）		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） 様々な材料や画材があることを知る。 （思判表力） 掴む、握る、叩くなどの動作覚え表現を楽しむ。 （学・人） 主体的に表現活動に参加することができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	30	（知及技）描画する材料や用具を選んで使い表すこと。 （思判表力）画材を用いて何らかの表現活動をする事。 （学・人）絵画に興味を持ち、感性を豊かにし、豊かな情操を培う。	（知・技）描画する材料や用具を選んで使い表すことができたか。 （思・判・表）画材を用いて何らかの表現活動をする事ができたか。 （主学）絵画に興味を持ち、感性を豊かにし、豊かな情操を培うことができたか。	絵画表現	線を引く、絵をかくなどの活動 1. 描画材を掴む握る 2. 描画をする（ペン、絵の具）
	45	（知及技）造形する材料や用具を選んで使い表すこと。 （思判表力）材料を用いて何らかの表現活動をする事。 （学・人）粘土に興味を持ち、感性を豊かにし、豊かな情操を培う。	（知・技）造形する材料や用具を選んで使い表すことができたか。 （思・判・表）材料を用いて何らかの表現活動をする事ができたか。 （主学）粘土に興味を持ち、感性を豊かにし、豊かな情操を培うことができたか。	陶土を使った立体表現	粘土を握る、ちぎる、叩くなどの活動 1. 粘土を棒などで叩く 2. 粘土に触れて握る、ちぎる
3学期	30	（知及技）多様な材料や用具を選んで使い表すこと。 （思判表力）材料を用いて何らかの表現活動をする事。 （学・人）好きな素材を選択し、感性を豊かにし、豊かな情操を培う。	（知・技）多様な材料や用具を選んで使い表すことができたか。 （思・判・表）材料を用いて何らかの表現活動をする事ができたか。 （主学）好きな素材を選択し、感性を豊かにし、豊かな情操を培うことができたか。	卒業式装飾	材料をちぎる、切る、繋げるなどの活動 1. 多様な材料に触れる 2. 材料をちぎったり、切ったりする 3. 材料を繋げる
通年		（知及技）色や形の言葉を聞いて違いを理解すること。 （思判表力）色や形の言葉を発したり反応すること。 （学・人）言葉に興味を持って聞くこと。	（知・技）色や形の言葉を聞いて違いを理解することができたか。 （思・判・表）色や形の言葉を発したり反応することができたか。 （主学）言葉に興味を持って聞くことができたか。	色や形を表す言葉	言葉を聞いて理解する活動 1. 色についての言葉を理解する 2. 形についての言葉を理解する
留意点 引継ぎ等					

令和 8 年度 中学部 保健体育 年間指導計画

配当時数		児童生徒について			担当者
105		1年1名、2年1名 3年1名			
年間目標		(知及技) 教師の支援を受けながら、楽しく基本的な運動ができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができるようにする。 (思判表力) 基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現できるようにするとともに、健康な生活に向け、感じたことを他者に伝える力を養う。 (学・人) 簡単な合図や指示に従って、楽しく運動をしようしたり、健康に必要な事柄をしようしたりする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	36	○体づくり運動 ・教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体づくり運動ができる ・体づくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 ・簡単な合図や指示に従って、楽しく基本的な体づくり運動をしようとする。	【知・技】 ・各種の運動の楽しさを感じることができたか。また、簡単な動きができたか。 【思・判・表】 ・自己の気持ちを合図や反応などで他者に伝えることができたか。 【主学】 ・合図や言葉かけに応じて、基本的な体づくり運動をすることができたか。	校歌ダンス(準備体操) 5分間走 体ほぐし運動	・伸び伸びとした動作で用具などを用いた運動を行う ・教師が体の部位や力の入れ方、動作を伝え、体の動かし方を伝える。 ・動作や人数などの条件を変えて、歩いたり走ったりする運動を行う。
		○水泳 ・教師の支援を受けながら、楽しく水の中で運動し、その楽しさや感じたことを表現することができる。 ・簡単な合図や指示に従って、水のなかでの基本的な運動ができる。	【知・技】 ・楽しく水の中で基本的な運動ができたか。 【思・判・表】 ・水泳の楽しさや感じたことを表現することができたか。 【主学】 ・簡単な指示や合図を聞き安全に水の中での運動ができたか。	準備体操 水かけ 水中を歩く 動物のまね(ワニ、カエル) もぐる 浮く	・水をすくって体の様々な部分にかけたり、様々な方向に飛ばしたり、友達や教師とかけ合ったりする。 ・補助具や友達につかまり、体を伸ばした姿勢にして浮いて進む。

2 学期	47	○ダンス ・ダンスの楽しさや喜びに触れ、音楽に合わせて楽しく踊ることができ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 ・きまりを守り、仲間とともに安全に活動することができる。 ○球技(サウンドテーブルテニス) ・教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った運動やゲームができ、その楽しさを表現することができる。 ・きまりを守り、仲間とともに安全に活動することができる。	【知・技】 ・音楽に合わせて、楽しく踊ることができたか。 【思・判・表】 ・楽しみ方を工夫し、楽しさや感じたことを表現することができたか。 【学・人】 ・きまりを守ることができたか。 ・仲間と協力して安全に活動することができたか。 【知・技】 ・楽しくボールを使った運動やゲームをすることができたか。 【思・判・表】 ・運動やゲームに慣れ、楽しさや感じたことを表現することができたか。 【学・人】 ・きまりを守ることができたか。 ・安全に気を付けることができたか。	基本的な動き ・道具を使った動き ・ひと流れの動き 基本的なボール操作(さまざまな道具を使う) 簡易ゲーム	・歩く、腕を振る、跳ぶなどの動きをリズムに合わせて行う。 ・バチ、パーランクーを使って、叩く・バチを持って手を上げるなど乃動き。 ・基本的な動きと道具を使った動きを組み合わせひと流れの動きにする。 ・ボール、ラケットの形状を確かめる。 ・ボールを転がす ・ボールを手で止める。 ・仲間とキャッチボール ・ボールを投げる。 ・ボールを打つ。 ・簡単なルールでゲームを行う。

3 学 期	22	○球技(ビーンボウリング) ・教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った運動やゲームができ、その楽しさを表現することができる。 ・きまりを守り、仲間とともに安全に活動することができる。	【知・技】 ・楽しくボールを使った運動やゲームをすることができたか。 【思・判・表】 ・運動やゲームに慣れ、楽しさや感じたことを表現することができたか。 【学・人】 ・きまりを守ることができたか。・安全に気を付けることができたか。	基本的な用具操作 操作方法 簡易ゲーム	・ルール、ピンセット、ボールの形状を確認する。 ・ピンセットの使い方を知る。 ・ボールを転がすタイミングを知る。 ・簡単なルールでゲームを行う。
-------------	----	---	--	--	---

令和8年度 中学部1,2,3年（Ⅱ課程B）					職業家庭	年間指導計画
作業		児童生徒について		担当者	教科書/副教材	
70		中学部1～3年 A.T O.R Y.T			開隆堂 たのしい職業科 わたしの夢につながる たのしい家庭科 わたしの暮らしに生かす	
年間目標	(知及技) 生活や働く事に関心を持つことができる。					
	(思判表力) 将来の家庭生活や職業生活に必要な事柄に気づき、自分の気持ちを表現することができる。					
	(学・人)よりよい家庭生活や将来の職業生活に向けた態度を養う。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価基準	単元・題材名	単元・題材の活動内容	
1・2・3学期	2	職業家庭科のねらいを知ること。(知及技)	職業家庭科のねらいについて教師と一緒に確認できる(知・技) 【評価】聞き取り・観察	オリエンテーション	・職業・家庭科の時間のねらいを確認し、今年度の計画を立てる	
	30	・教師や身の回りの人に気づき、教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとする。(学・人) ・身の周りの集団に気づき、教師と一緒に参加しようとする。(学・人) ・集団の中での役割に関心を持つこと(学・人) ・身の回りにある生命や自然に気づき、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする。(思判表力) ・身の回りの生命や自然について関心を持つこと。(学・人) ・身の回りにあるものの仕組みや働きに気づき、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする(思判表力) ・身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心を持つこと。(知・技) ・身の回りの簡単な手伝いや仕事を教師と一緒にしようとする。(学・人) ・簡単な手伝いや仕事に関心を持つこと。(学・人)	・教師と一緒に簡単な挨拶ができる。表現しようとしている。(学・人) ・集団の動きに合わせて教師と一緒に参加しようとしている。(学・人) ・自分の役割に関心をもつことができる。役割がわかる。(学・人) ・教師と一緒に身の回りの生命や自然にふれ、感じたことを身振りや音声で伝えようとしている。(思・判・表) ・教師と一緒に道具を利用することができる。(知・技) ・教師と一緒に簡単な手伝いや仕事をする(学・人)数国道 【評価】聞き取り・観察	校内就業体験 栽培 木工 リサイクル製品の製作 清掃	・販売学習 ・栽培学習 ・調理実習 ・清掃道具の名前をしよう ・清掃道具を使ってみよう ・事務用品	
	4	・情報機器の初歩的な操作の仕方を知ること(知及技)	・教師と一緒に情報機器(CDラジカセ、タブレット)の簡単な操作ができる。(知・技) 【評価】聞き取り・観察	情報機器の活用 CDラジカセの使用 タブレットの使用	・CDラジカセの操作やタブレットの起動を行う	
1・2・3学期	10	・身の回りの簡単な日課に気づき、教師と一緒に日課に沿って行動しようすることができる。(学・人)(思判表力) ・簡単な日課について、関心を持つこと(学・人) ・簡単な掃除をする。(知及技) ・幼児との関わりができる(知及技)(思判表力)(学・人)	・教師と一緒に自分の日課などについてスケジュール表を作ることができる。(学・人)(思・判・表) ・健康やリラクスの方法について知り実践しようとする。(学・人)(知・技) ・家庭生活のなかでの家族との関わりやについて表現できる。(思・判・表)(学・人) ・家庭や地域における役割について伝えることができる(思・判・表) ・幼児にやさしく接することができる(思・判・表)(知・技)(学・人) 【評価】聞き取り・観察	・スケジュール管理 ・幼児との関わり方	・学校の日、休日のスケジュール表をつくろう ・小さい子と遊ぼう ・健康的な生活や余暇の過ごし方を知ろう ・地域の行事に参加しよう	
	20	・教師と一緒に手足を洗ったり、拭いたりすることができる。(知及技) ・教師と一緒に簡単な調理に取り組むことができる。(知及技) ・食事の役割や栄養について関心をもつことができる。(知及技)(学・人) ・教師と一緒に衣服等をたたむことができる。(知及技) ・教師と一緒に服やタオルなどの整理整頓ができる。(知及技) ・教師と一緒に簡単な清掃に取り組むことができる。(知及技)	・健康な生活と食事の役割について興味をもつことができる。(知・技) ・教師と一緒に簡単な調理の計画を考えることができる(思・判・表) ・教師と一緒に、調理出来る。(知・技) ・教師と一緒に日常の服の手入れが出来る。(洋服をたたむ等)(知・技) ・場に応じた日常着の手入れの仕方などについて理解し、実践出来る(学・人) 国数英社 【評価】聞き取り・観察	日常生活環境の管理 簡単な調理 日常の衣服の管理・整頓	健康な生活食事の役割について考えよう 調理実習 ・簡単な調理 ・電子レンジ ・お湯を注ぐ 日常着の手入れ(衣替え、夏服、冬服、普段着、礼服など) ・服のたたみ方やハンガーの使用	
	4	・教師と一緒に簡単な買い物をする事ができる。(知及技)(学・人)	・自分の欲しいものや調理実習に必要なものを、教師と一緒に買い物をする(知・技)(学・人) ・教師と一緒に支払いをすることができる。(知・技)(学・人) 社数 【評価】聞き取り・観察	買い物学習	・日常生活の中で必要なものについて考えよう ・じょうずな買い物をしよう	

配当時数		生徒について	担当者
35		II 課程B 3名	
年間目標		自分や友達、周りの人との関わりについて考え、よいことに気付き、よりよい生活をしようとする気持ちを育てる。	
学期	時数	学習内容	単元・題材・活動内容 等
1	13	B 主として人との関わりに関すること	【B 礼儀】「挨拶」 挨拶の大切さについて考え、ていねいな挨拶の仕方を知り、場面に 応じて挨拶しようとする気持ちを育てる。
		C 主として集団や社会との関わりに関すること	【C よりよい学校生活・集団生活】「学校の好きなところ」 学校の好きな場所を写真に撮ったり、みんなに話したりすること で、学校のよいところに気付き、学校が好きな気持ちを育てる。
		C 主として集団や社会との関わりに関すること	【C 勤労、公共の精神】「就業体験」 就業体験を通して、働くことのよさやみんなのために働くこ とに気付き、すすんで仕事をしようとする気持ちを育てる。
		D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	【D 生命の尊さ】「平和」 慰霊の日の学習を通して、命の大切さや平和の大切さに気付き、命 を大事にしようとする気持ちを育てる。
2	14	A 主として自分自身に関すること	【A 個性の伸長】「よさを伸ばす」 自分のよいところやなおしたほうがよいところに気付き、よいとこ ろをのばそうとする気持ちを育てる。
		B 主として人との関わりに関すること	【B 友情、信頼】「友達のすてきなところ」友達の気持ちに気付 き、相手のことを考えて関わることの大切さを知り、友達と仲良く しようとする気持ちを育てる。
		C 主として集団や社会との関わりに関すること	【C 勤労、公共の精神】「楽しく働く」みんなのために働くこと のよさに気付き、すすんで仕事をしようとする気持ちを育てる。
		D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	【D 生命の尊さ】「私たちの命」 自分や周りの人の命について考え、命の大切さに気付き、自他の命 を大切にしようとする気持ちを育てる。
3	8	A 主として自分自身に関すること	【A 自分のがんばり・責任】 植物を育てる活動を通して、自分の行動を振り返り、最後まで世話 をすることや、やりとげることの大切さに気付き、責任をもって取 り組もうとする態度を育てる。
		B 主として人との関わりに関すること	【B 人のかかわり】「感謝をつたえよう」 育てたものを家族やお世話になった人に渡すことを通して、相手 を思う気持ちや感謝の気持ちを表そうとする態度を育てる。
		C 主として集団や社会との関わりに関すること	【C 勤労】「みんなのために役立つ・働く」 育てたものを人のために役立てることを通して、働くことのよさに 気付き、みんなのために行動しようとする気持ちを育てる。
		D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	【D 自然愛護】「20日ネギを育てよう」 植物を育てる活動を通して、自然や生命の大切さに気付き、大切に 育てようとする気持ちを育てる。

配当時数		生徒について	担当者
35		1, 2, 3年 II 課程B (3名)	
年間目標		(知及技) 課題の発見と解決に必要な知識及び技能を養い、学習の意義や価値を理解するようにする。 (思判表力) 実社会や実生活と自己とのかかわりから疑問点を見出し、自分の課題を解決しようと取り組むことができるようにする。 (学・人) 学習に積極的に取り組むとともに、互いの良さを知り、新たな考え方を学び、よりよい変化を実現しようとする態度を養う。	
学期	時数	学習内容	学習目標及び評価の観点
1	13	オリエンテーション	(知・技) 総合の活動の雰囲気や流れに触れ、教師とともに活動に参加することができる。
		進路学習② (キャリアパスポート)	(思・判・表) 教師と一緒に1学期の目標を自分なりの方法で考えたり、選んだりし、気持ちを表そうとする。
		校内就業体験学習に向けて	・実施要項を確認し、校内就業体験の意義や取り組みについて理解できる(知)
		校内就業体験学習	・校内就業体験を通して、正しい職業観、労働観を身につける。(知)
		平和学習	(知・技) 慰霊の日や平和に関する活動の雰囲気に触れ、教師とともに活動に参加することができる。
		キャリアパスポート② (1学期の振り返り)	(思・判・表) 教師と一緒に1学期の活動を振り返りながら、自分なりの方法で感じたことに反応したり、選んだりし、気持ちを表そうとする。
2	14	学習環境を整えよう	(主) 2学期を迎え、学習環境の活動に関わりながら、教師と一緒にロッカーや本棚の整理に取り組もうとする。
		文化祭に向けて	(学・人) 文化祭の活動に関わろうとし、教師や友達と一緒に取り組みながら、自分なりに参加しようとする。
		校外学習に向けて	(知・技) 教師と一緒に校外学習の行き先や活動内容に触れ、雰囲気や流れを知ることができる。
		進路学習③ (進路講話)	(学・人) 教師と一緒に話を聞いて、参加することができる。
		交流学習 1 (南風原中学校)	(思・判・表) 他校との交流に関わり、相手や活動の雰囲気に触れながら、反応したり自分なりに表そうとしたりする。
		ウォークラリーに向けて	(知・技) 教師と一緒にウォークラリーの活動に触れ、移動や活動の流れに参加することができる。
		交流学習 2 (居住地交流)	(思・判・表) 他の中学校との交流活動に関わりながら、相手や活動の雰囲気に触れ、反応したり自分なりに表そうとしたりする。
		キャリアパスポート② (2学期の振り返り)	(思・判・表) 教師と一緒に2学期の活動を振り返りながら、自分なりの方法で感じたことに反応したり、選んだりし、気持ちを表そうとする。
		2学期の行事のまとめ(キャリアパスポート)	・行事における自分の役割達成を振り返る。(主)
3	8	学習環境を整えよう (清掃活動)	・2学期お世話になった教室を整え、清掃を行う。(主)
		新学期の学習環境を整えよう (清掃活動)	・3学期に向けて、学習環境を整える。(主)
		キャリアパスポート⑤ (3学期の目標)	(思・判・表) 教師と一緒に3学期の目標を自分なりの方法で考えたり、選んだりし、気持ちを表そうとする。
		キャリアパスポート⑥ (進路について考えよう)	(知・技) 教師と一緒に高等部の見学をしたり時間割を知ったり、活動の様子や流れを知ることができる。
		キャリアパスポート⑥ (3学期の振り返り)	(思・判・表) 教師と一緒に3学期の活動を振り返りながら、自分なりの方法で感じたことに反応したり、選んだりし、気持ちを表そうとする。

配当時数		生徒について	担当者
35		1, 2, 3年 II 課程B (3名)	
年間目標		(知及技) 他者と集団活動に参加し、行動することを身につける。 (思判表力) 集団や自己の生活などの話し合いに参加する。 (学・人) 集団活動を通して、人間関係をよりよく形成する。	
学期	時数	学習内容	学習目標及び評価の観点
1	13	学級開き	(学・人) 学級の約束や生活のきまりを確認し、時間割や係活動の内容や自分の役割を知ることができる。
		係活動を決めよう	(思・判・表) (学・人) 話し合いを通して係活動を決定し、学級の一員として役割と責任を果たそうとする態度を育てる。
		春の遠足	(学・人) 新しい先生、友達と親睦をはかることができる。
		生徒会活動① (歓迎会)	(学・人) 中学部生徒の前で教師と一緒に自己紹介することができる。会に参加し、みんなと一緒に歓迎する気持ちや歓迎されてうれしい気持ちを教師と一緒に感じようとする。
		生徒会活動② (生徒総会)	(学・人) 生徒総会に参加し、教師や友達と一緒に活動に関わろうとし、その場で過ごししながら自分なりに参加しようとする。
		火災避難訓練	(知・技) 避難訓練の意味や雰囲気を知り、教師とともに安全に避難することができる。
		交流及び共同学習① (沖縄ワールド)	(知・技) (学・人) 伝統的なおりものの活動に関わりながら、素材や作業に触れ、教師や友達と一緒に取り組み、自分なりに参加しようとする。
		生徒会活動③ (合同レクを考えよう)	(思・判・表) 合同レクリエーションに参加し、活動に関わりながら、自分なりに感じたことを表そうとする。
		1学期を振り返ろう	(思・判・表) (学・人) 1学期の学校生活を振り返り、よりよい生活につなげるために、夏休みの過ごし方について知る。
2	14	文化祭に向けて	(思・判・表) 文化祭の活動に関わりながら、雰囲気に触れ、感じたことに反応したり、自分なりに表そうとする。
		交流及び共同学習② (校外学習)	(知・技) (思・判・表) (学・人) 校外学習の行き先や活動内容に触れながら、関わろうとし、感じたことに反応したり、自分なりに参加しようとしたりする。
		保健講話	(学・人) 保健講話の活動に関わり、健康や安全に関する話に触れながら、教師と一緒に生活の中で気をつけようとする態度を育て
		総合防災避難訓練	(知・技) 地震や津波、火災などの避難訓練に関わり、災害時の音や動きに触れながら、教師とともに避難することができる。
		生徒会活動④ (合同レクを考えよう)	(思・判・表) (学・人) 合同レクリエーションに関わり、活動に触れながら、感じたことに反応したり、自分なりに参加しようとしたりする。
		2学期を振り返ろう	2学期の学校生活を振り返り、よりよい生活につなげるために、長期休みの過ごし方について考える。(思・判・表) (主)
3	8	文化に触れよう (ムーティー作りとみんなのやくわり)	(知) 沖縄の伝統のムーティーが作られる理由について知り、活動に進んで参加し、自分の役割に取り組もうとする。
		生徒会活動⑤ (生徒会長選挙)	(知) (思・判・表) 生徒会選挙に参加し、候補者の話や活動に触れながら、関心のあるものに反応したり、自分なりに選んだりしようとする。
		生徒会活動⑥ (生徒会長認証式)	(思・判・表) (学・人) 認証式に参加し、生徒会活動に関わりながら、活動の雰囲気に触れ、感じたことに反応したり、自分なりに参加しようとしたりする
		交流及び共同学習③ (校外学習)	(知・技) (思・判・表) (学・人) 校外学習の行き先や活動内容に触れながら、関わろうとし、感じたことに反応したり、自分なりに参加しようとしたりする。
		卒業式リハーサル/卒業式	(学・人) 卒業式に参加し教師や友達と一緒に落ち着いて卒業式に参加することができる。